

志摩市
男女共同参画に関するアンケート
調査結果報告書

令和3年10月

志 摩 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	回答者属性	2
2	男女平等について	7
3	家庭生活について	21
4	職業生活・女性の活躍について	32
5	社会活動などについて	57
6	DVなどの暴力について	60
7	男女共同参画社会について	67
8	防災・災害復興対策について	71
9	性のあり方の多様性について	73
10	ダイバーシティ（多様性）推進について	75
III	調査票	79

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第4次志摩市男女共同参画推進プラン」の策定にあたり、策定および事業を効果的に進めるうえでの資料を得ることを目的として実施したものです。

2 調査対象

志摩市在住の18歳～79歳の方、1,000人を無作為抽出

3 調査期間

令和3年7月28日から令和3年8月20日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
1,000通	350通	35.0%

6 調査結果の表示方法

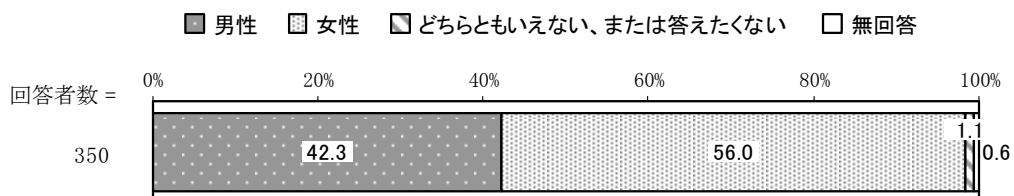
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

II 調査結果

1 回答者属性

F 1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

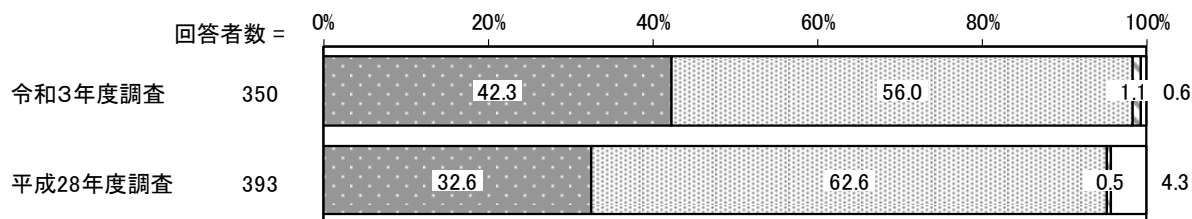
「男性」の割合が42.3%、「女性」の割合が56.0%となっています。



※以下の集計では、「どちらともいえない、または答えたくない」を「その他」と表記しています。

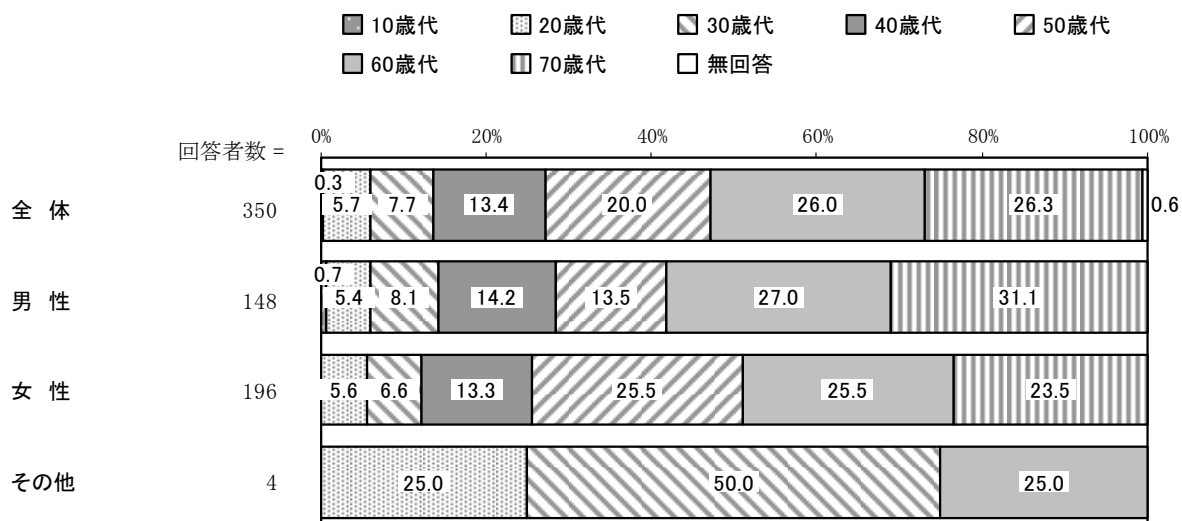
【前回比較】

平成28年度調査と比較すると、「男性」の割合が増加し、「女性」の割合が減少しています。



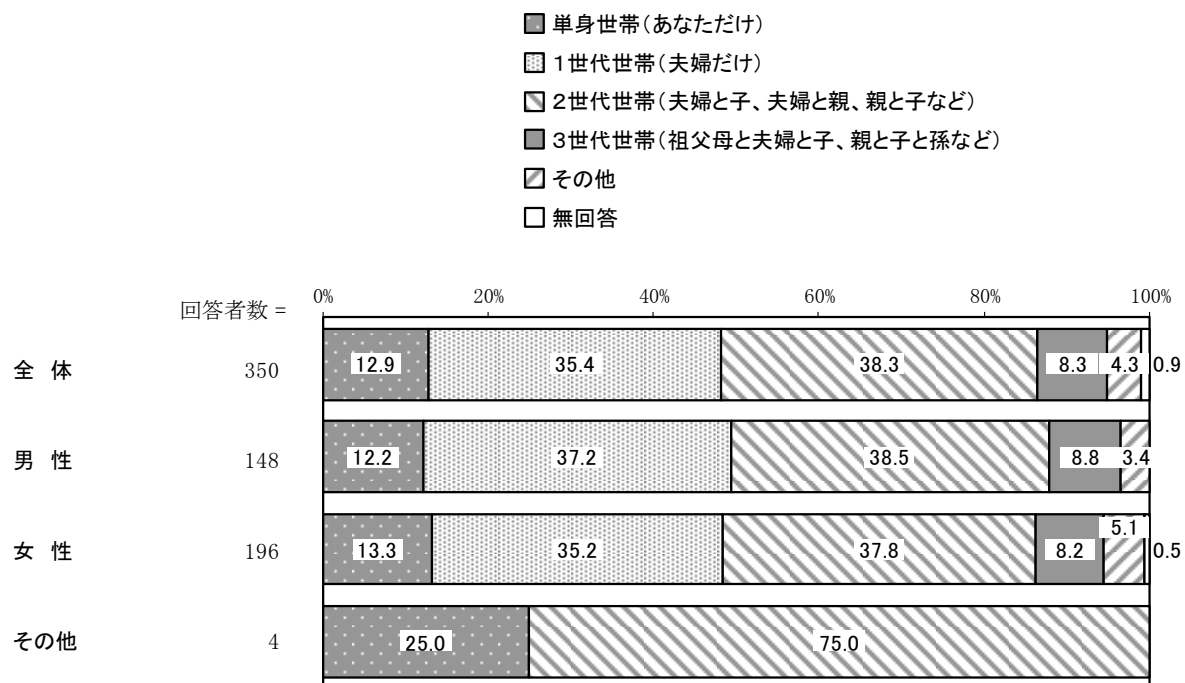
F 2 あなたの年齢をお答えください。(令和3年6月30日現在)(1つに○)

「70歳代」の割合が26.3%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が26.0%、「50歳代」の割合が20.0%となっています。



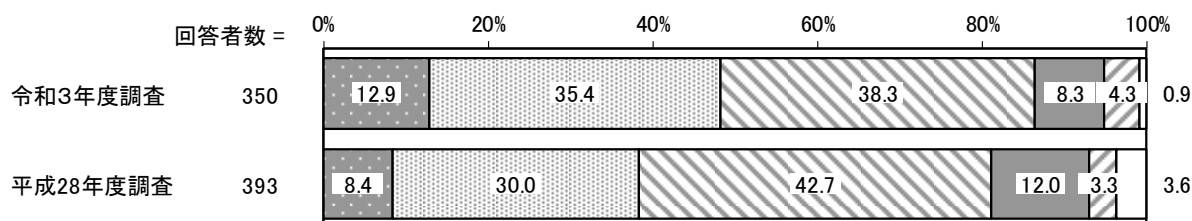
F 3 あなたが現在生活しているご家庭の家族構成をお答えください。(1つに○)

「2世代世帯(夫婦と子、夫婦と親、親と子など)」の割合が38.3%と最も高く、次いで「1世代世帯(夫婦だけ)」の割合が35.4%、「単身世帯(あなただけ)」の割合が12.9%となっています。



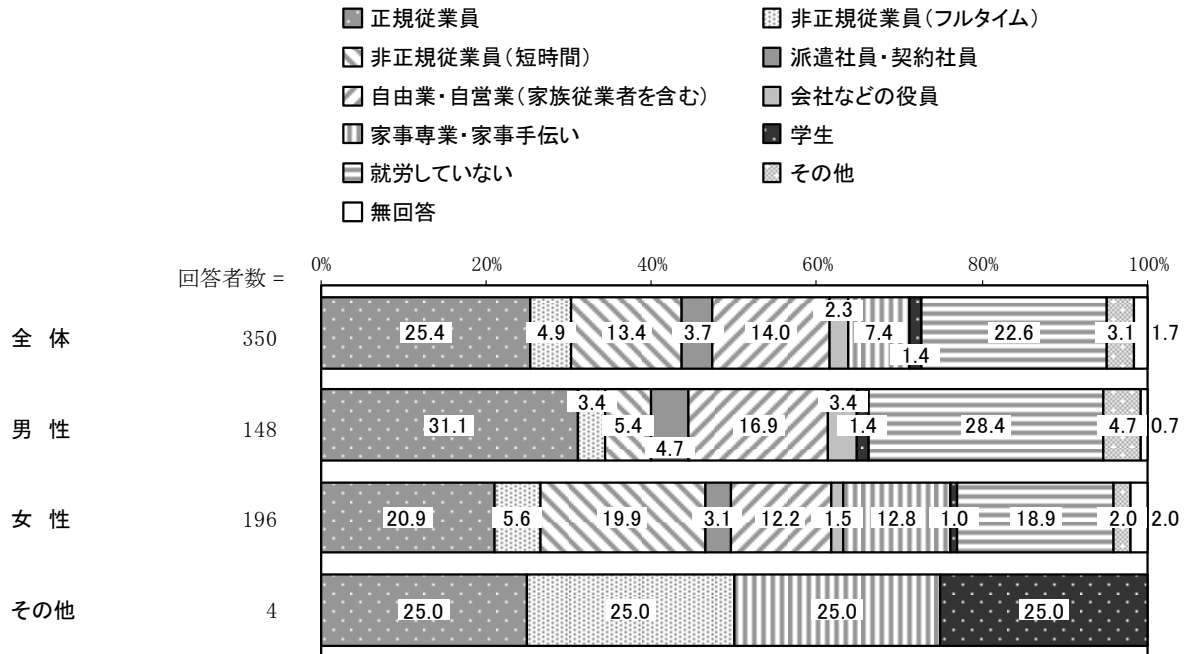
【前回比較】

平成28年度調査と比較すると、「1世代世帯(夫婦だけ)」の割合が増加し、「2世代世帯(夫婦と子、夫婦と親、親と子など)」の割合が減少しています。



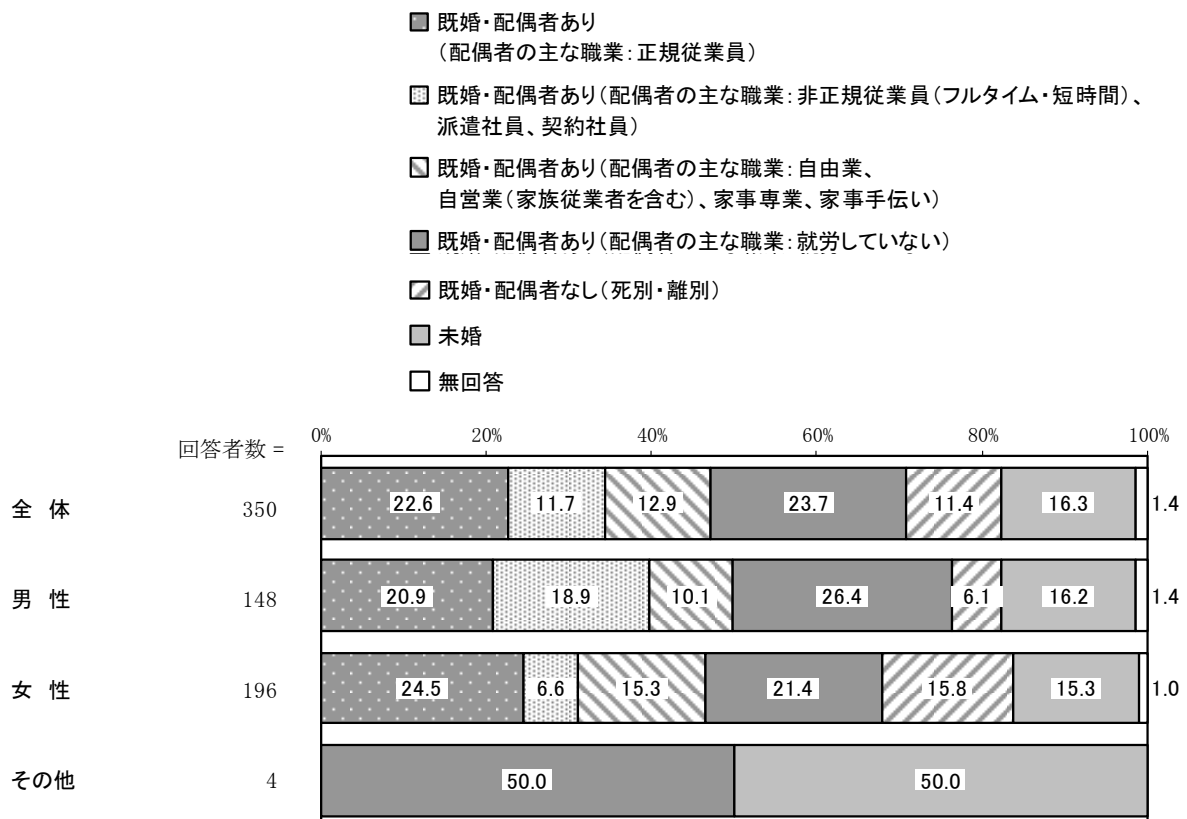
F 4 あなたの職業形態をお答えください。(1つに○) (産前・産後休暇、育児・介護休暇等を取得中の方も働いているものとお考えください。)

「正規従業員」の割合が25.4%と最も高く、次いで「就労していない」の割合が22.6%、「自由業・自営業(家族従業者を含む)」の割合が14.0%となっています。



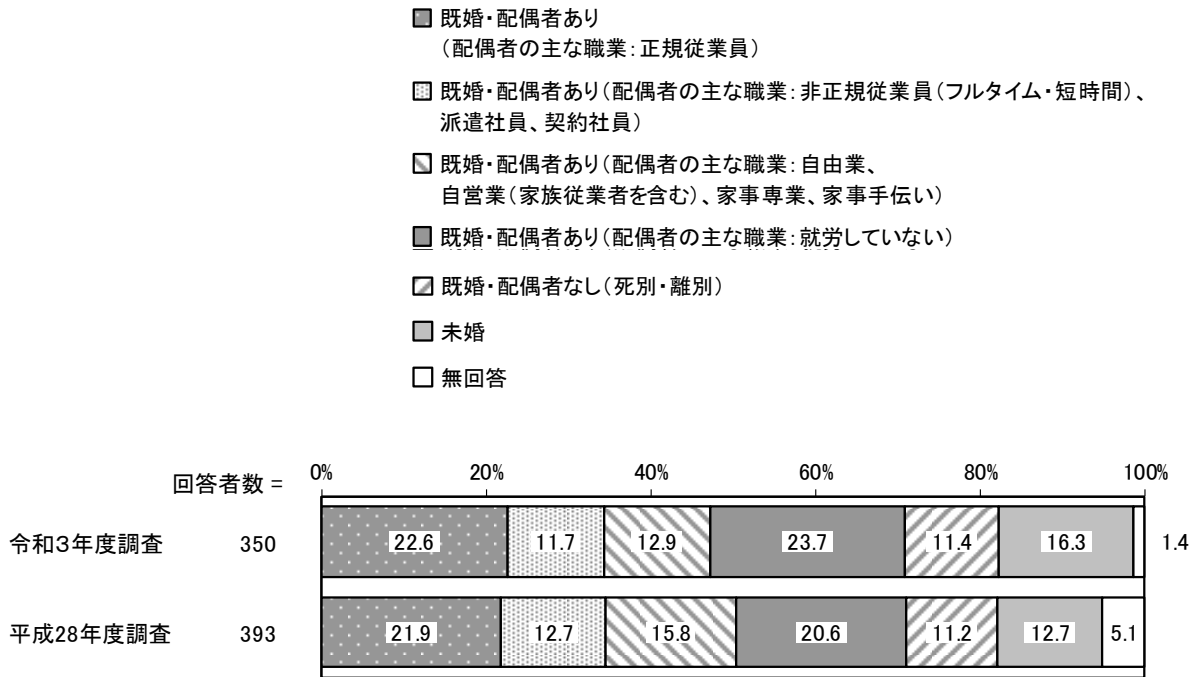
F 5 あなたは結婚していますか。(1つに○)

「既婚・配偶者あり(配偶者の主な職業: 就労していない)」の割合が23.7%と最も高く、次いで「既婚・配偶者あり(配偶者の主な職業: 正規従業員)」の割合が22.6%、「未婚」の割合が16.3%となっています。



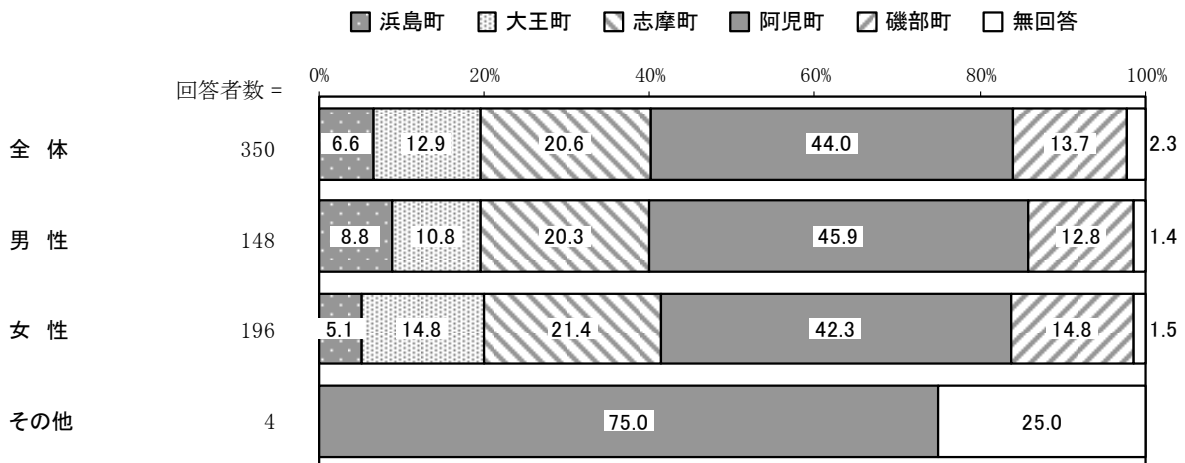
【前回比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



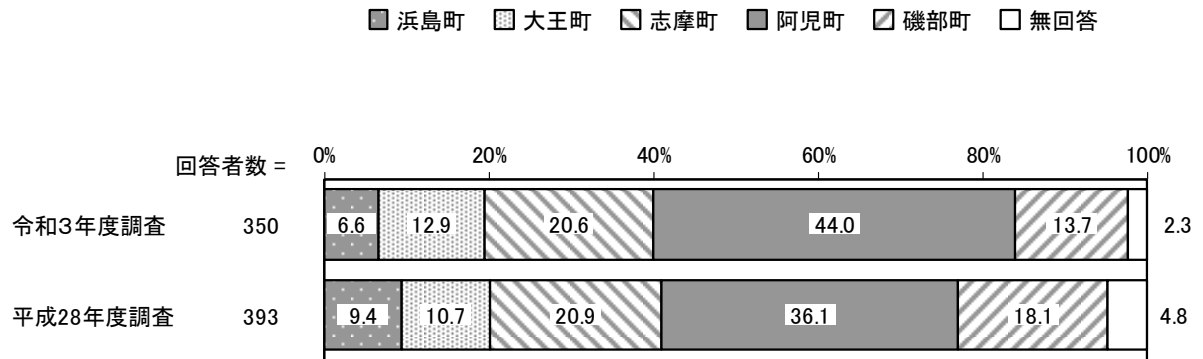
F 6 あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つに○)

「阿児町」の割合が 44.0% と最も高く、次いで「志摩町」の割合が 20.6%、「磯部町」の割合が 13.7% となっています。



【前回比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「阿児町」の割合が増加しています。

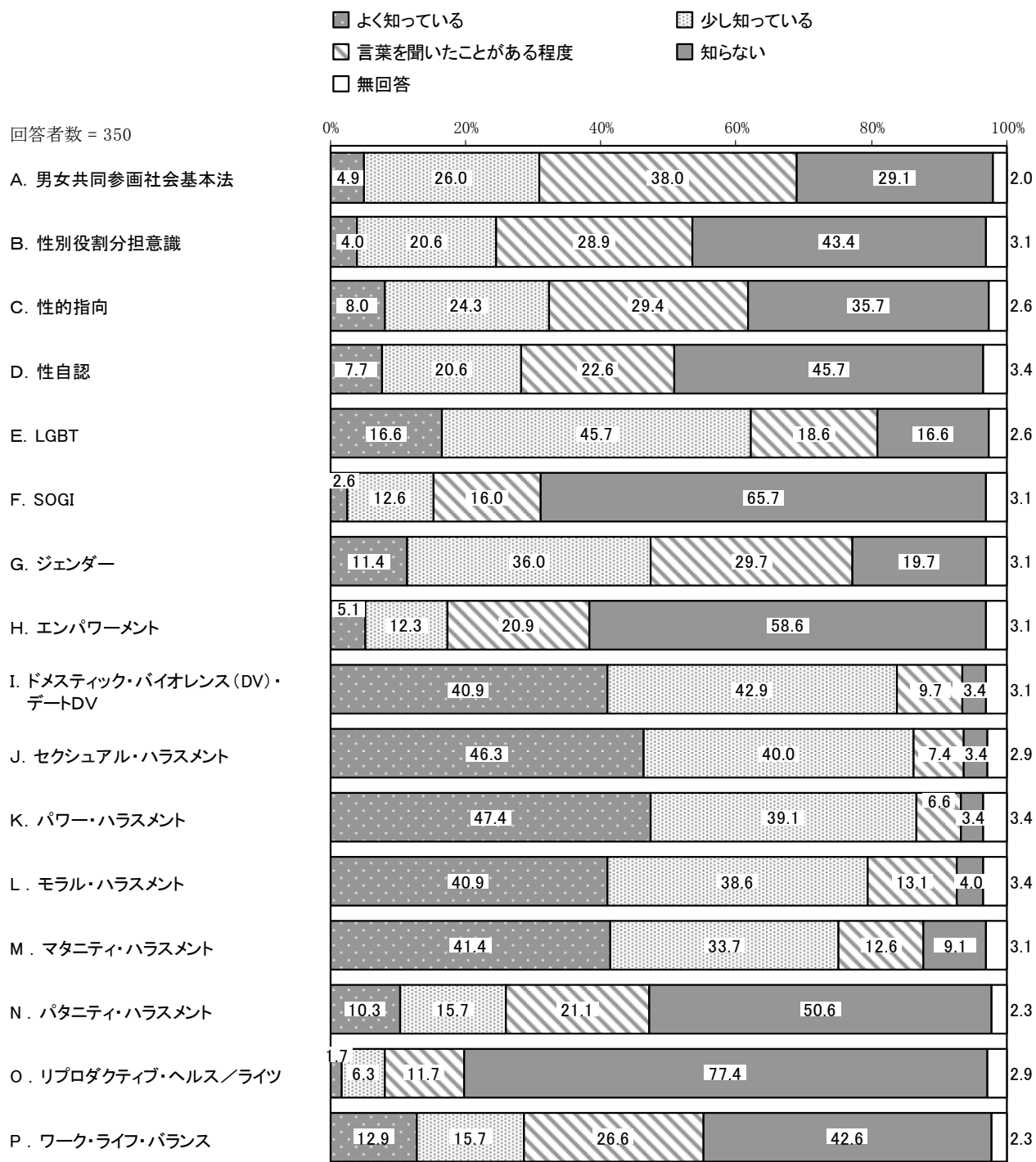


2 男女平等について

問1 次のA～Pのそれぞれの項目についてご存知ですか。(それぞれ1つに○)

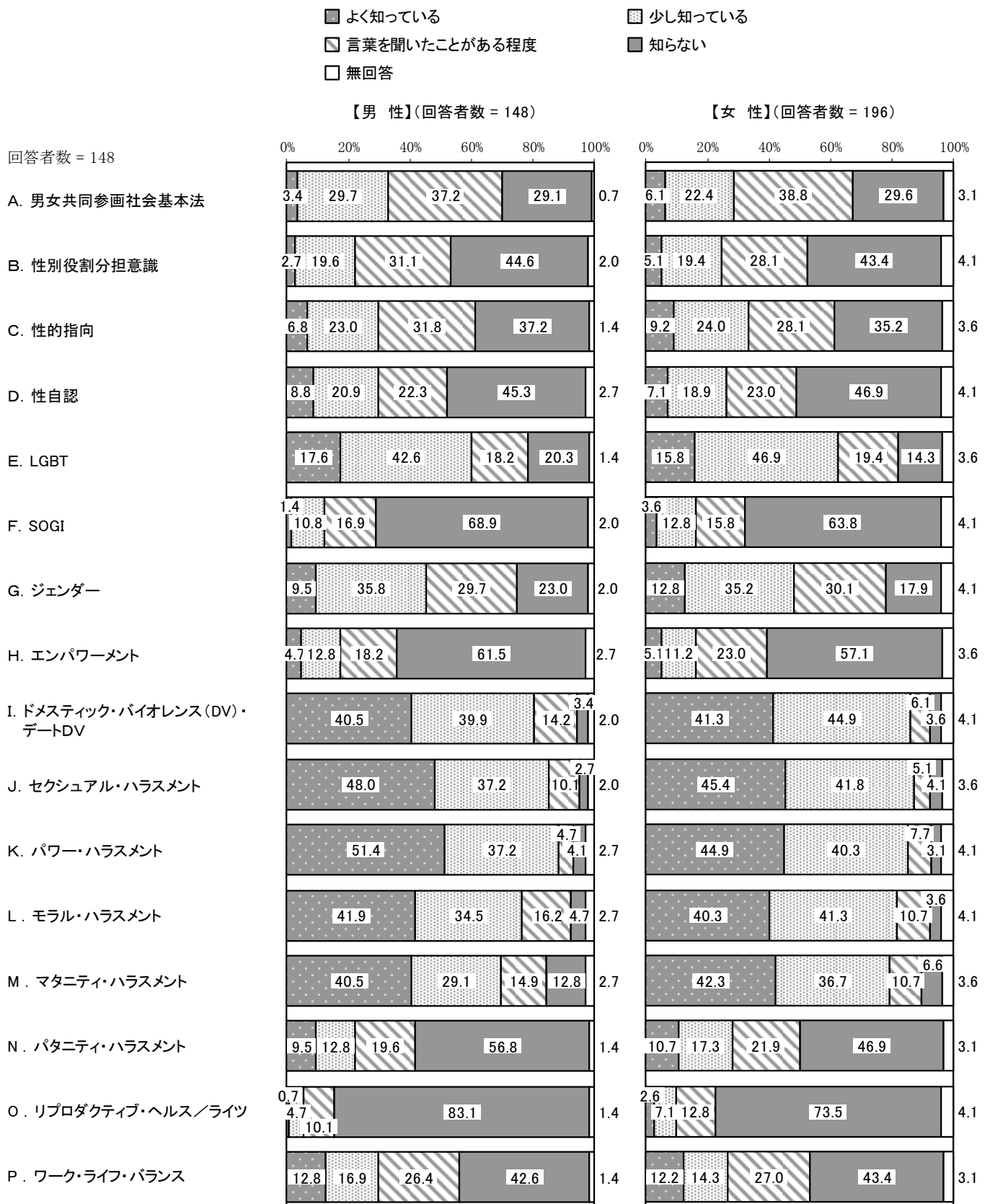
『I. ドメスティック・バイオレンス (DV)・デートDV』『J. セクシュアル・ハラスメント』『K. パワー・ハラスメント』で「よく知っている」と「少し知っている」をあわせた“知っている”の割合が高く、8割を超えています。また、『L. モラル・ハラスメント』で“知っている”の割合が約8割となっています。

一方、『F. SOGI』で「知らない」の割合が高く、6割半ばとなっています。



【性別】

性別でみると、『I. ドメスティック・バイオレンス (DV)・デートDV』『L. モラル・ハラスメント』『M. マタニティ・ハラスメント』『N. パタニティ・ハラスメント』では、男性に比べ、女性で“知っている”の割合が高くなっています。



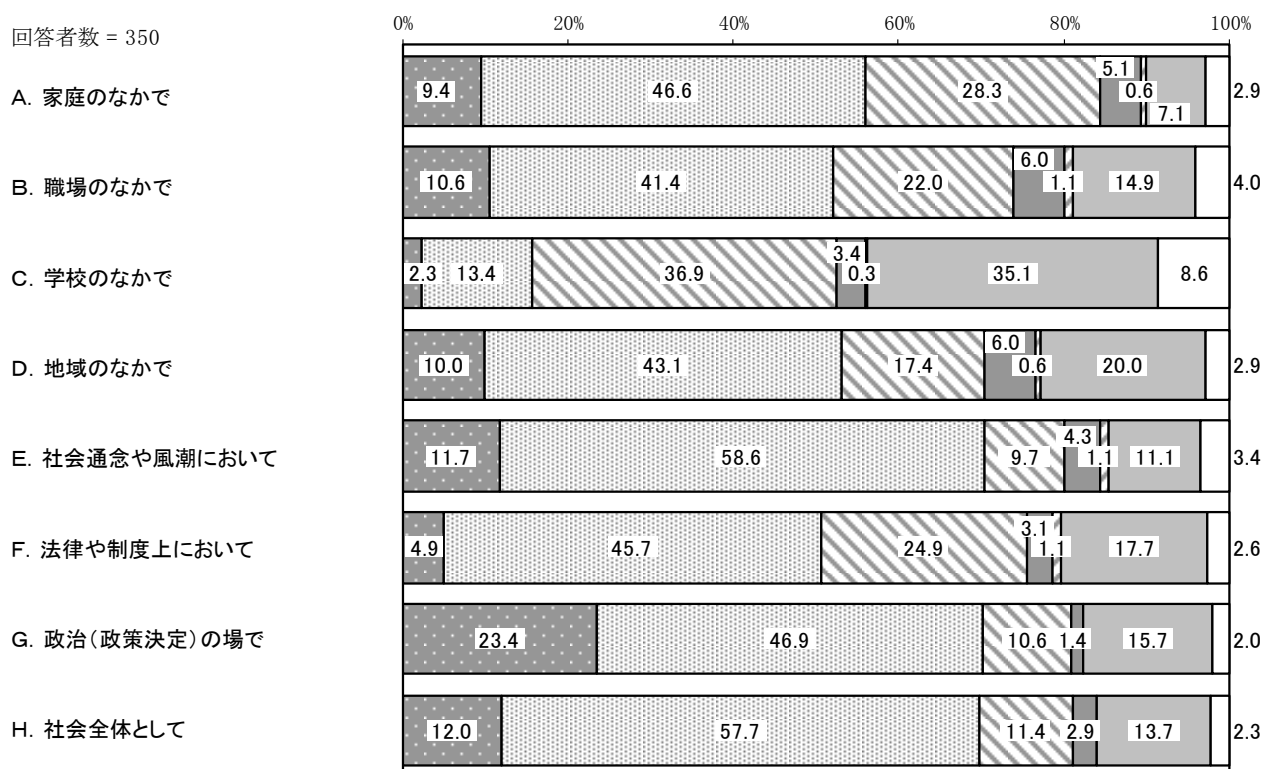
問2 あなたは、次のA～Hの分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。（それぞれ1つに○）

『E. 社会通念や風潮において』『G. 政治（政策決定）の場で』『H. 社会全体として』で「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」をあわせた“男性の方が優遇されている”の割合が高く、約7割となっています。

また、『C. 学校のなかで』で「平等になっている」の割合が高く、3割半ばとなっています。

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかと言えば男性の方が優遇されている
- ▩ 平等になっている
- どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 無回答

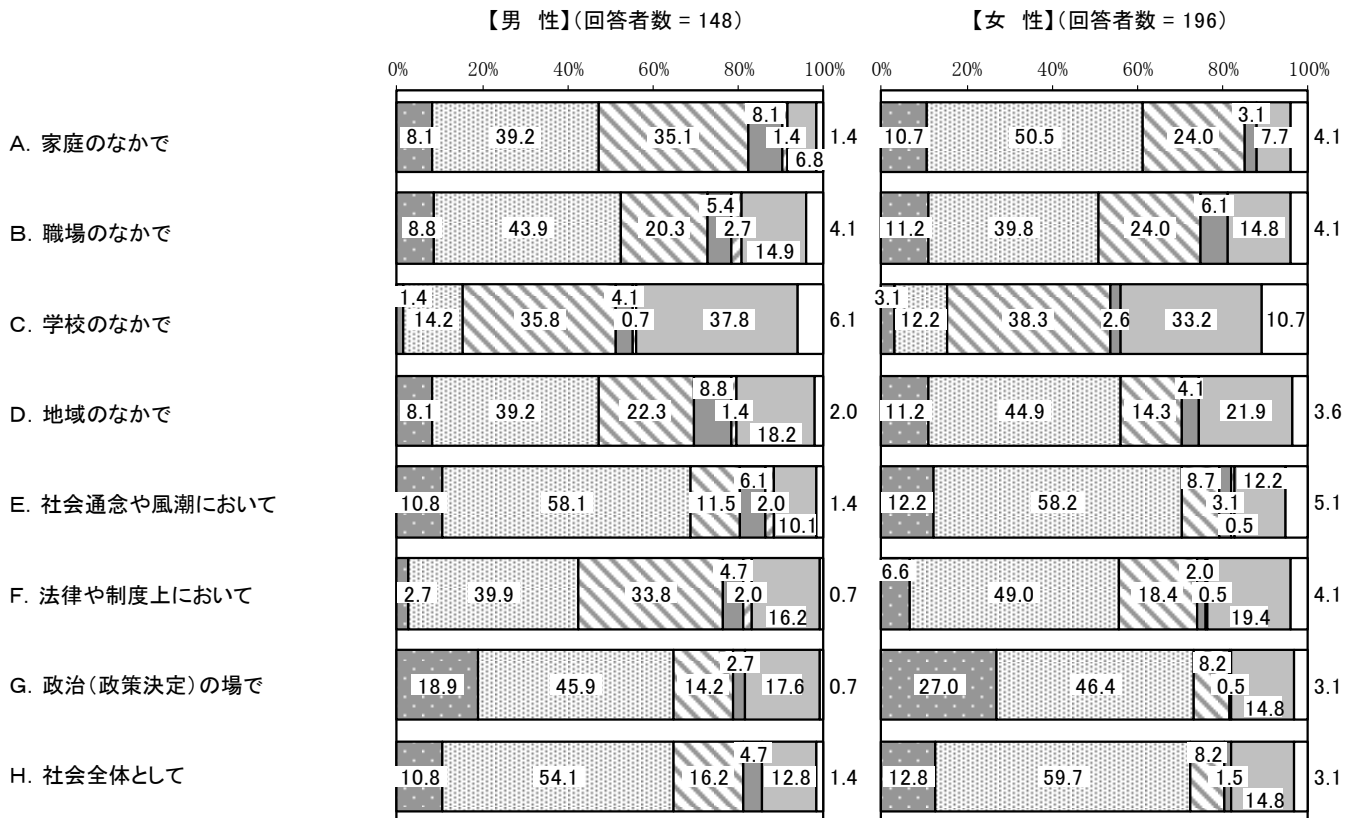
回答者数 = 350



【性別】

性別でみると、『A. 家庭のなかで』『D. 地域のなかで』『F. 法律や制度上において』『G. 政治（政策決定）の場で』『H. 社会全体として』では、男性に比べ、女性で“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。また、『A. 家庭のなかで』『D. 地域のなかで』『F. 法律や制度上において』『G. 政治（政策決定）の場で』『H. 社会全体として』では、女性に比べ、男性で「平等になっている」の割合が高くなっています。

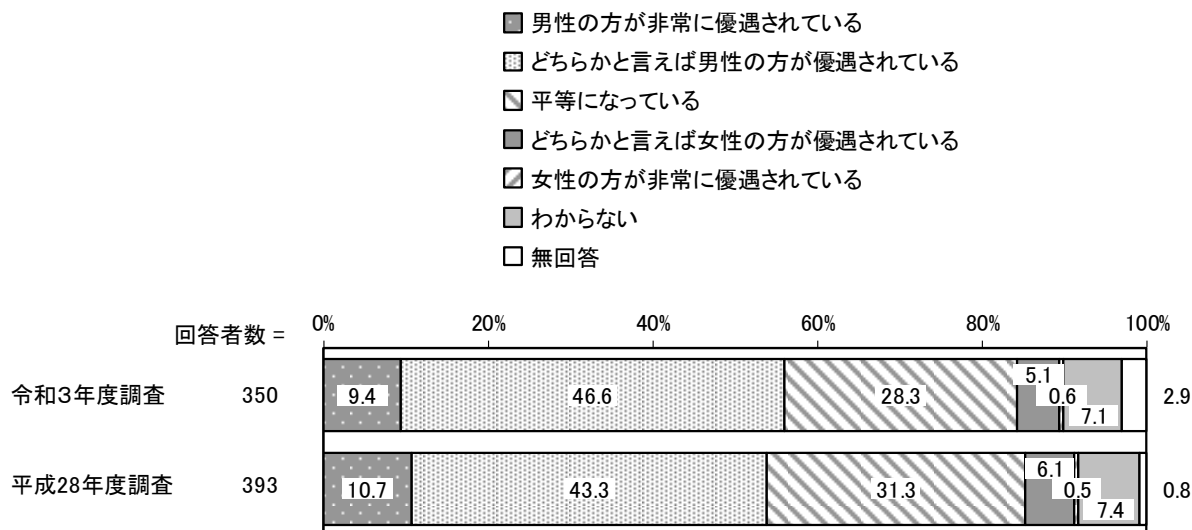
- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかと言えば男性の方が優遇されている
- ▩ 平等になっている
- どちらかと言えば女性の方が優遇されている
- ▩ 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 無回答



A. 家庭の中で

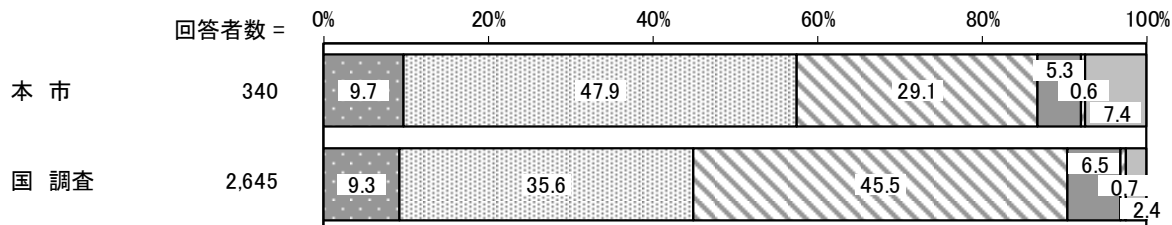
【前回比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



【国 比較】

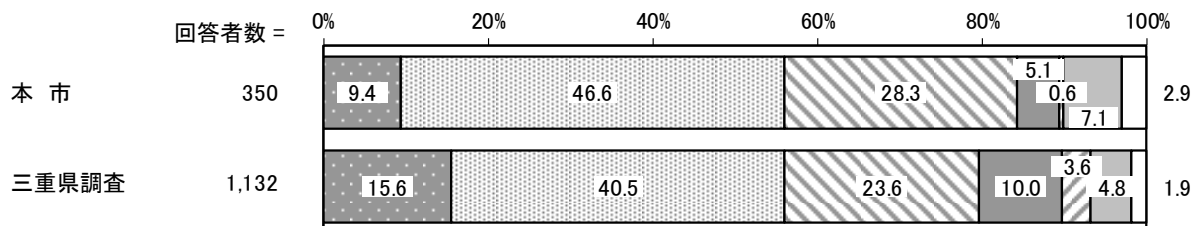
国の調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」の割合が高く、「平等になっている」の割合が低くなっています。



※国の調査では「無回答」がないので、「無回答」を除いて集計しています。

【県 比較】

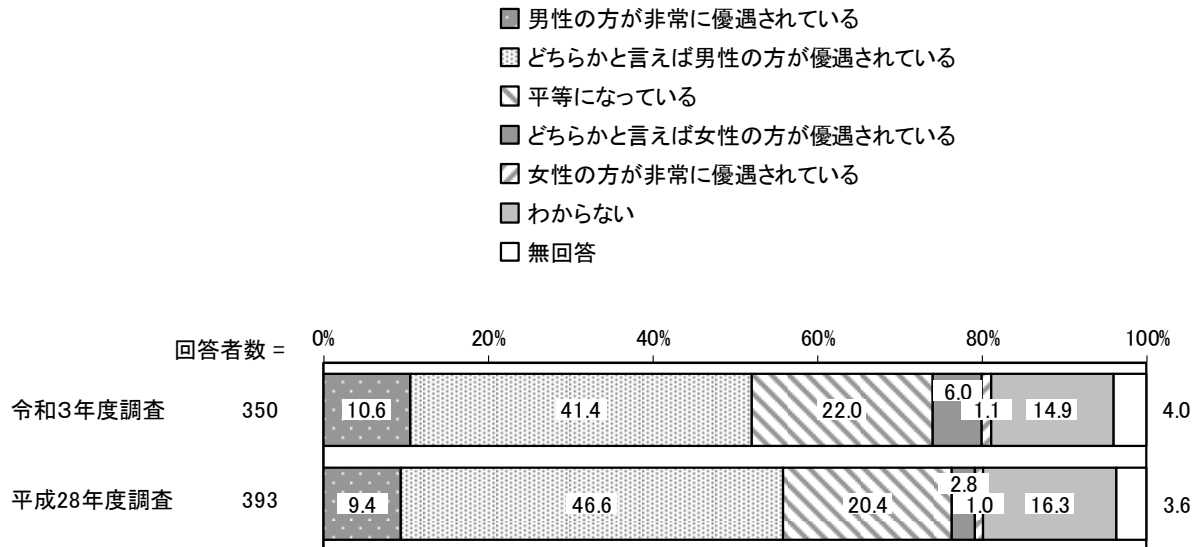
三重県調査と比較すると、「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」をあわせた“女性の方が優遇されている”の割合が低くなっています。



B. 職場の中で

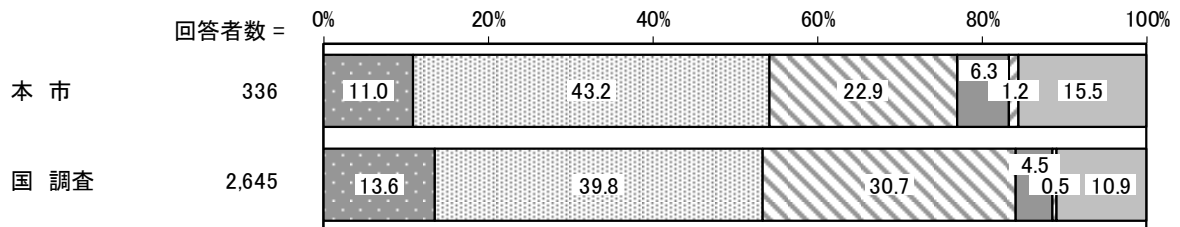
【前回比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



【国 比較】

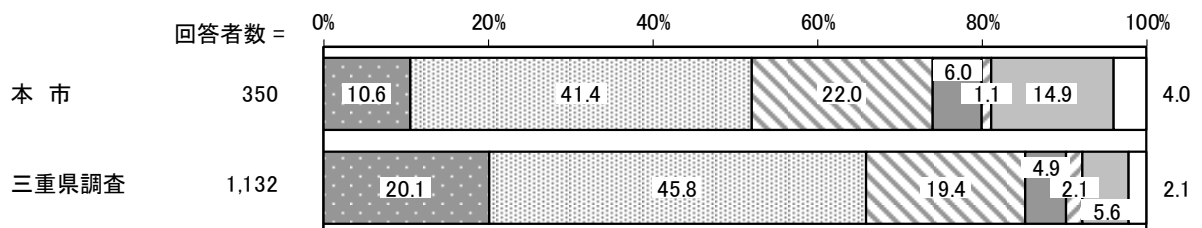
国の調査と比較すると、「平等になっている」の割合が低くなっています。



※国の調査では「無回答」がないので、「無回答」を除いて集計しています。

【県 比較】

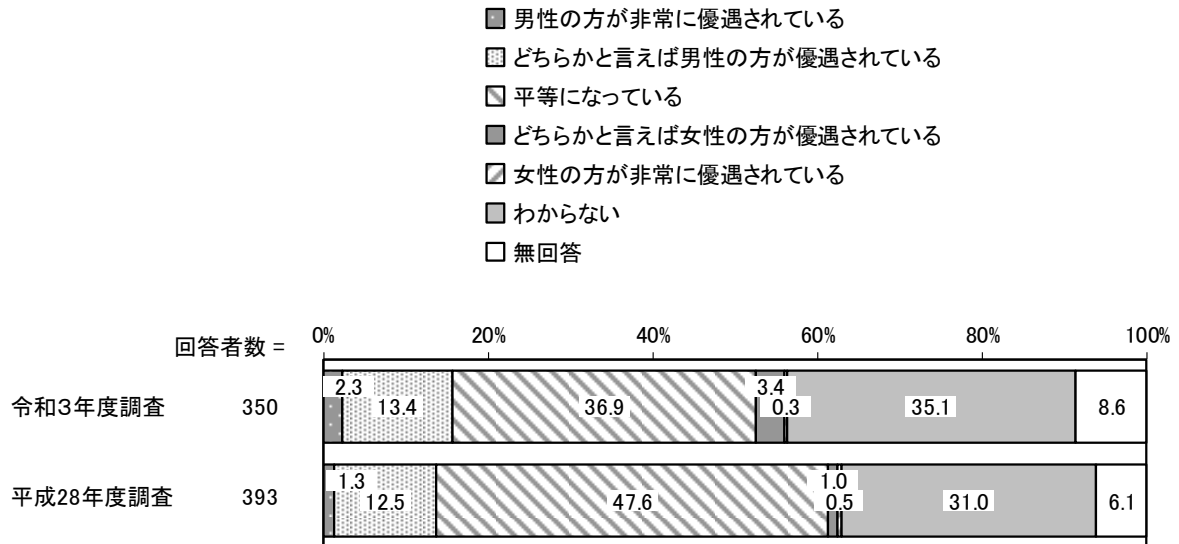
三重県調査と比較すると、“男性の方が優遇されている”の割合が低くなっています。



C. 学校の中で

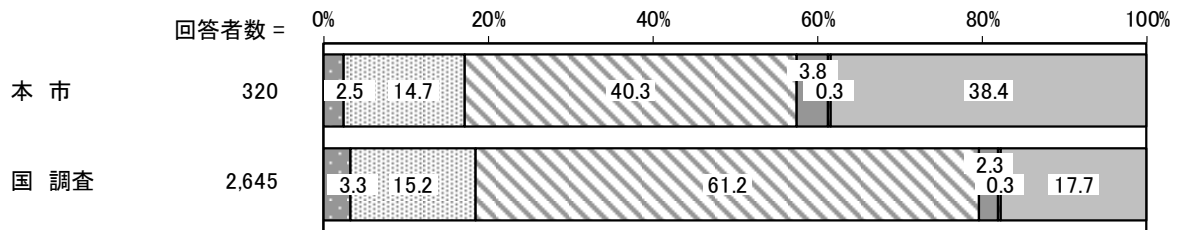
【前回比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「平等になっている」の割合が低くなっています。



【国 比較】

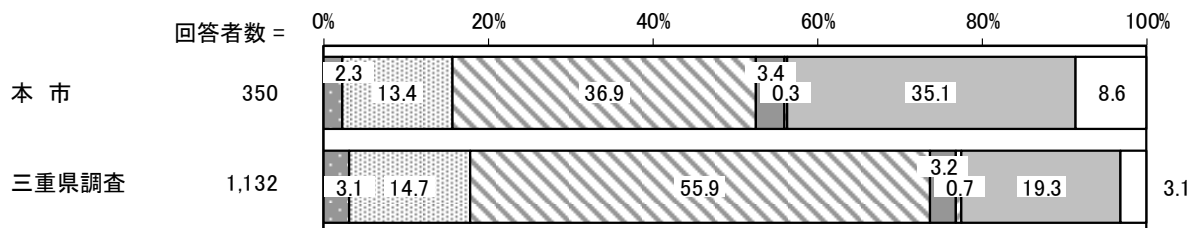
国の調査と比較すると、「平等になっている」の割合が低くなっています。



※国の調査では「無回答」がないので、「無回答」を除いて集計しています。

【県 比較】

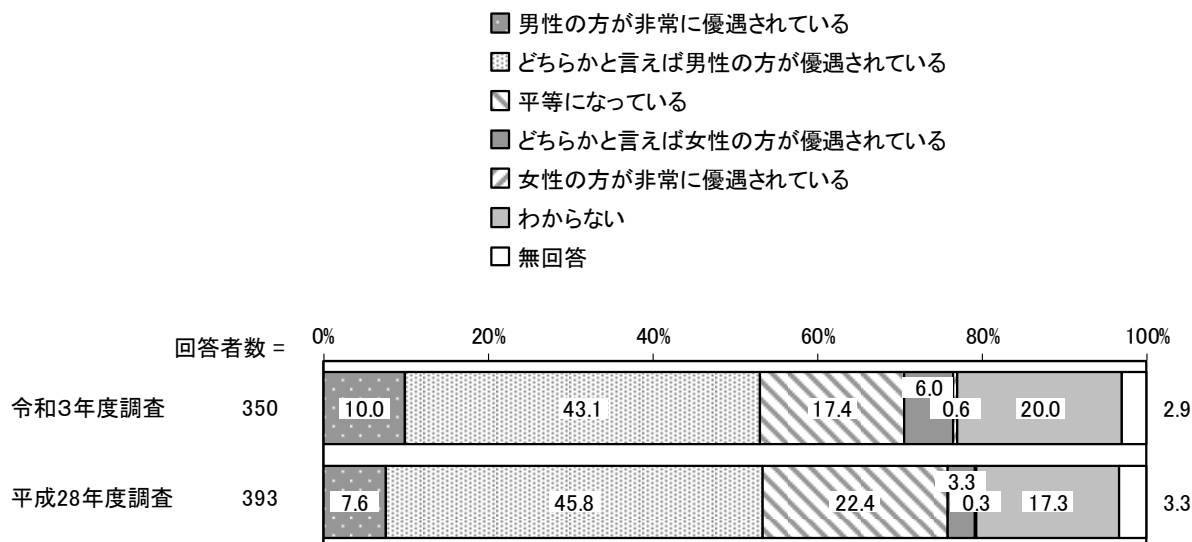
三重県調査と比較すると、「平等になっている」の割合が低くなっています。



D. 地域の中で

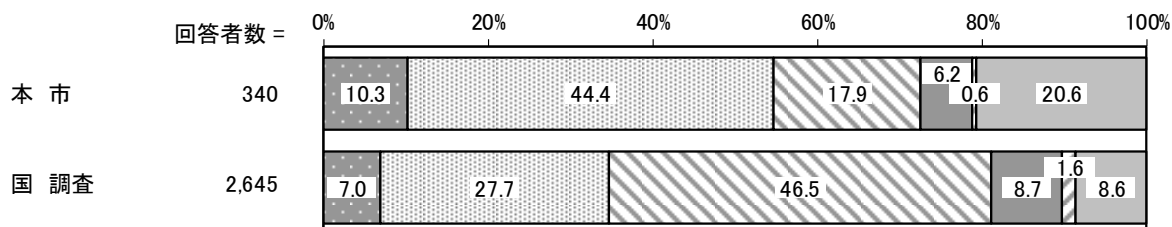
【前回比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「平等になっている」の割合が低くなっています。



【国 比較】

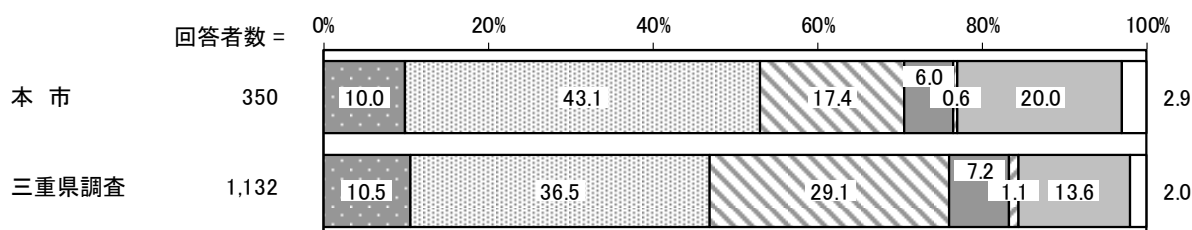
国の調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」の割合が高く、「平等になっている」の割合が低くなっています。



※国の調査では「無回答」がないので、「無回答」を除いて集計しています。

【県 比較】

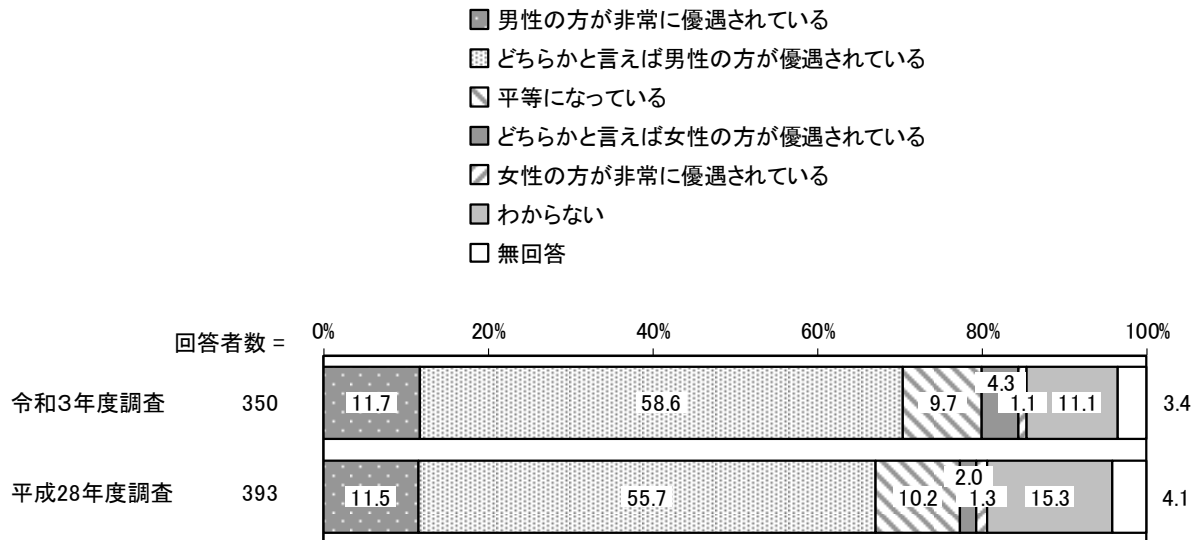
三重県調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。



E. 社会通念や風潮において

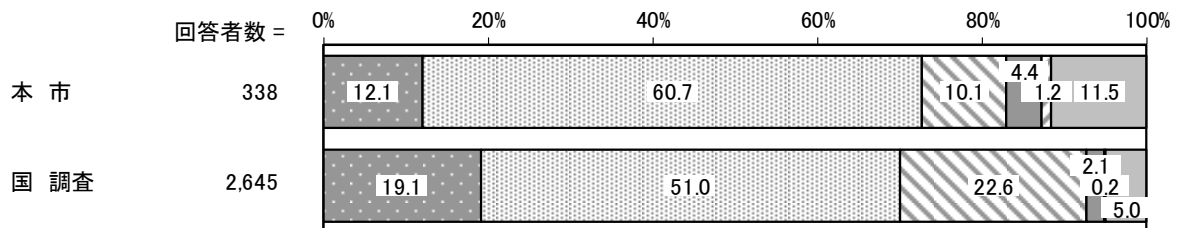
【前回比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



【国 比較】

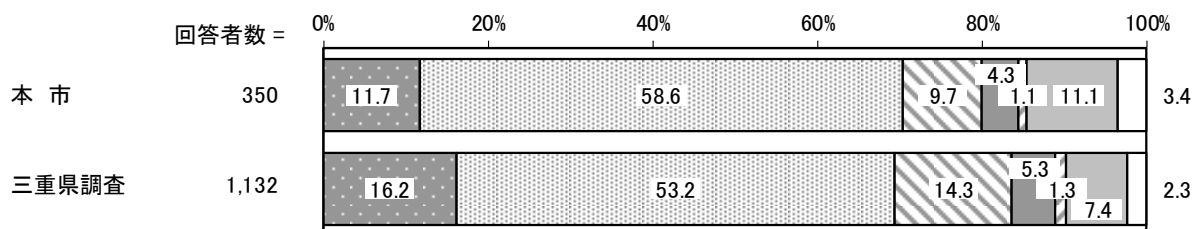
国の調査と比較すると、「平等になっている」の割合が低くなっています。



※国の調査では「無回答」がないので、「無回答」を除いて集計しています。

【県 比較】

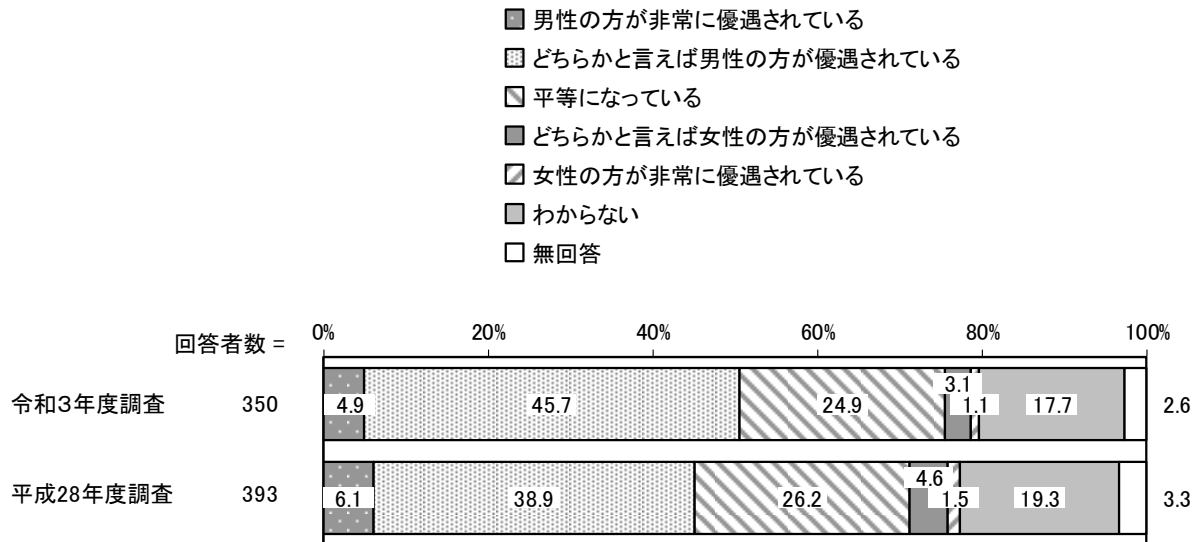
三重県調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



F. 法律や制度上において

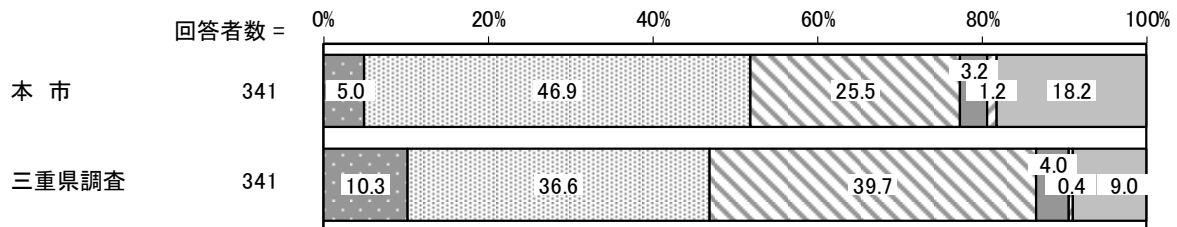
【前回比較】

平成 28 年度調査と比較すると、“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。



【国 比較】

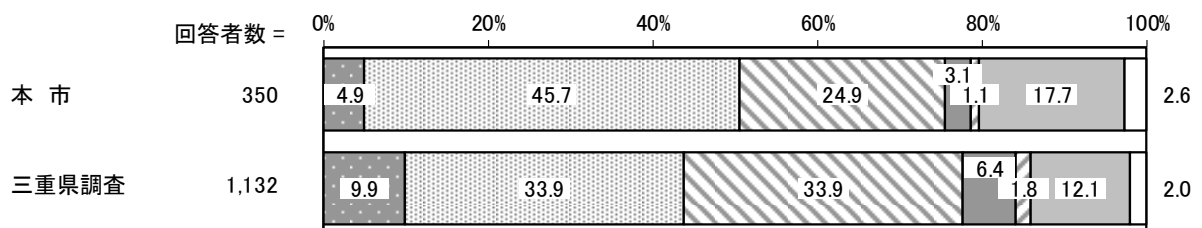
国の調査と比較すると、“男性の方が優遇されている”の割合が高く、「平等になっている」の割合が低くなっています。



※国の調査では「無回答」がないので、「無回答」を除いて集計しています。

【県 比較】

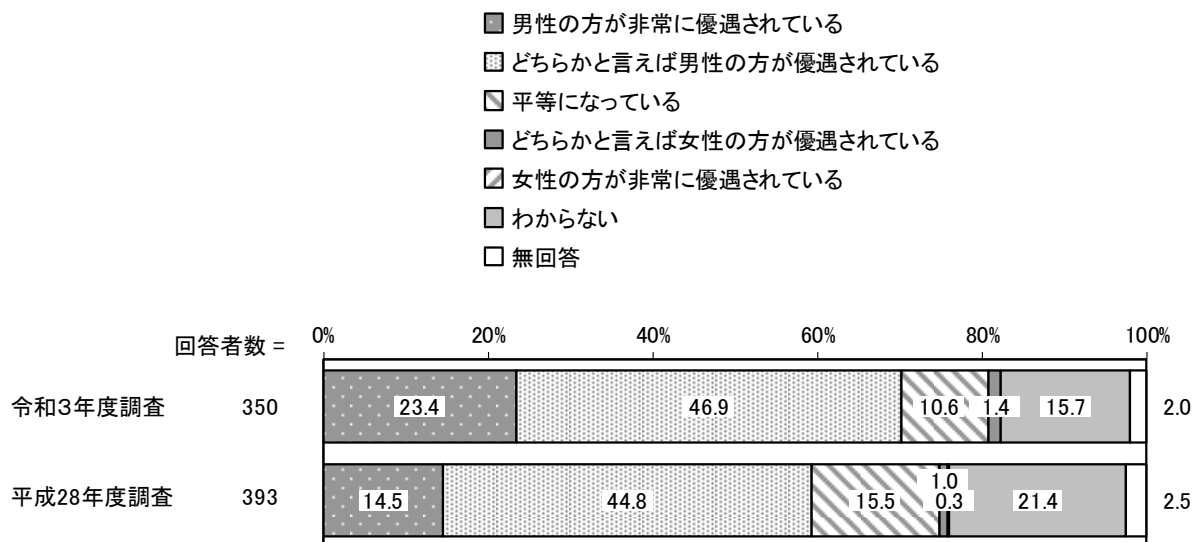
三重県調査と比較すると、“男性の方が優遇されている”の割合が高く、「平等になっている」の割合が低くなっています。



G. 政治（政策決定）の場で

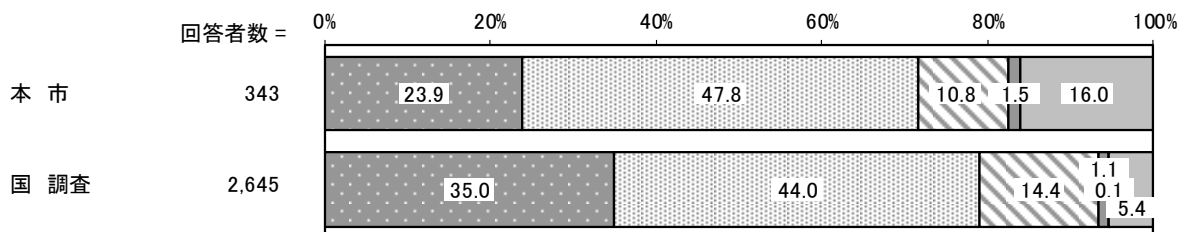
【前回比較】

平成 28 年度調査と比較すると、“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。



【国 比較】

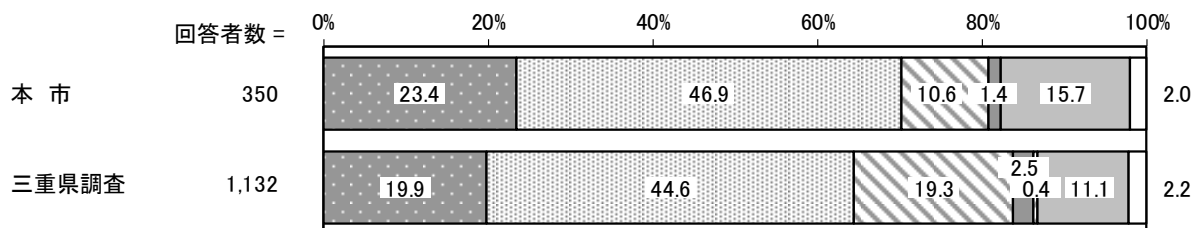
国の調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



※国の調査では「無回答」がないので、「無回答」を除いて集計しています。

【県 比較】

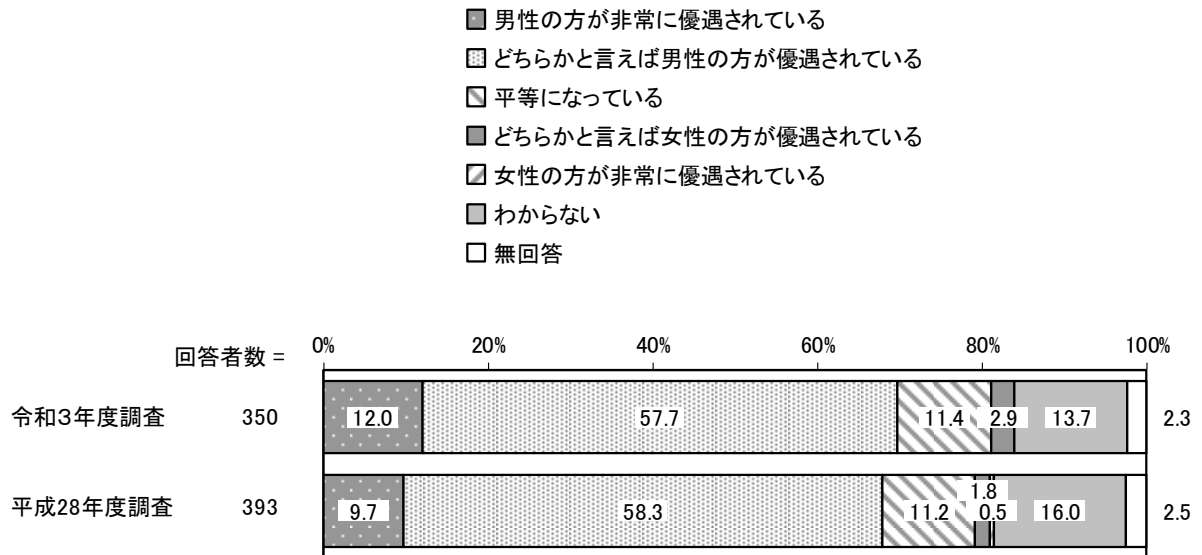
三重県調査と比較すると、“男性の方が優遇されている”の割合が高く、「平等になっている」の割合が低くなっています。



H. 社会全体として

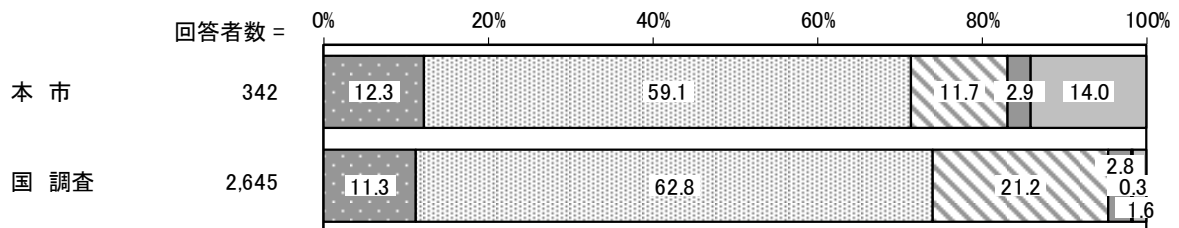
【前回比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



【国 比較】

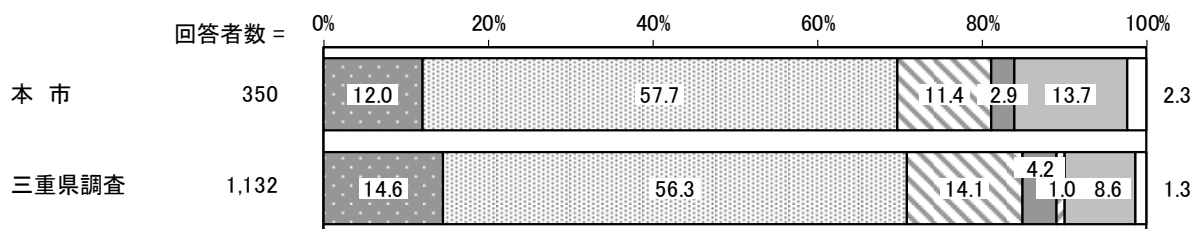
国の調査と比較すると、「平等になっている」の割合が低くなっています。



※国の調査では「無回答」がないので、「無回答」を除いて集計しています。

【県 比較】

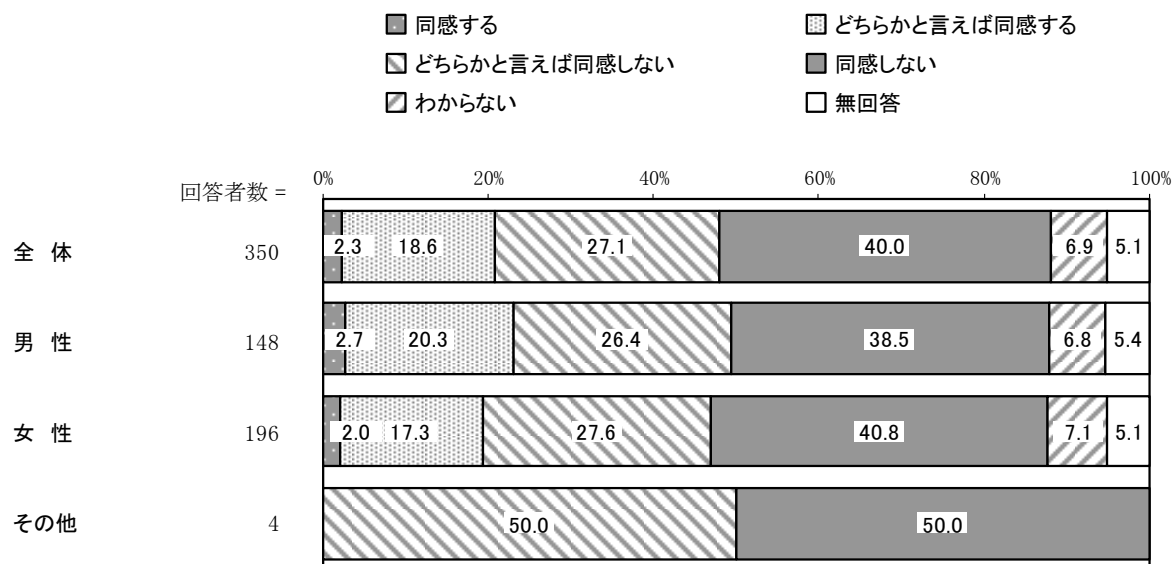
三重県調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。
(1つに○)

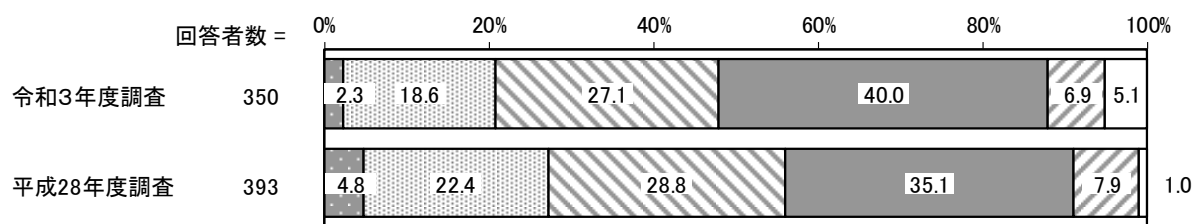
「同感する」と「どちらかと言えば同感する」をあわせた“同感する”の割合が20.9%、「どちらかと言えば同感しない」と「同感しない」をあわせた“同感しない”の割合が67.1%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。



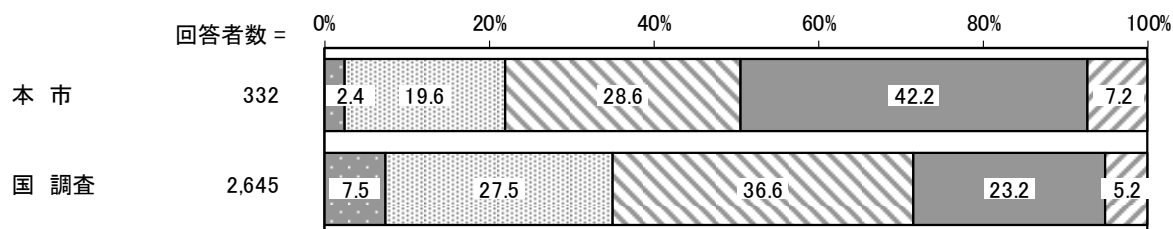
【前回比較】

平成28年度調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



【国比較】

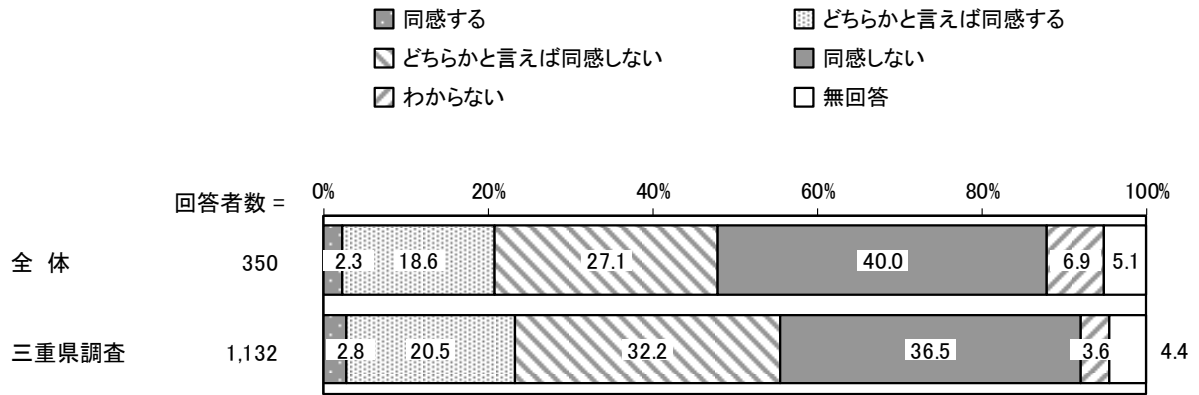
国の調査と比較すると、「同感しない」の割合が高く、「同感する」の割合が低くなっています。



※国の調査では「無回答」がないので、「無回答」を除いて集計しています。

【県 比較】

三重県調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



3 家庭生活について

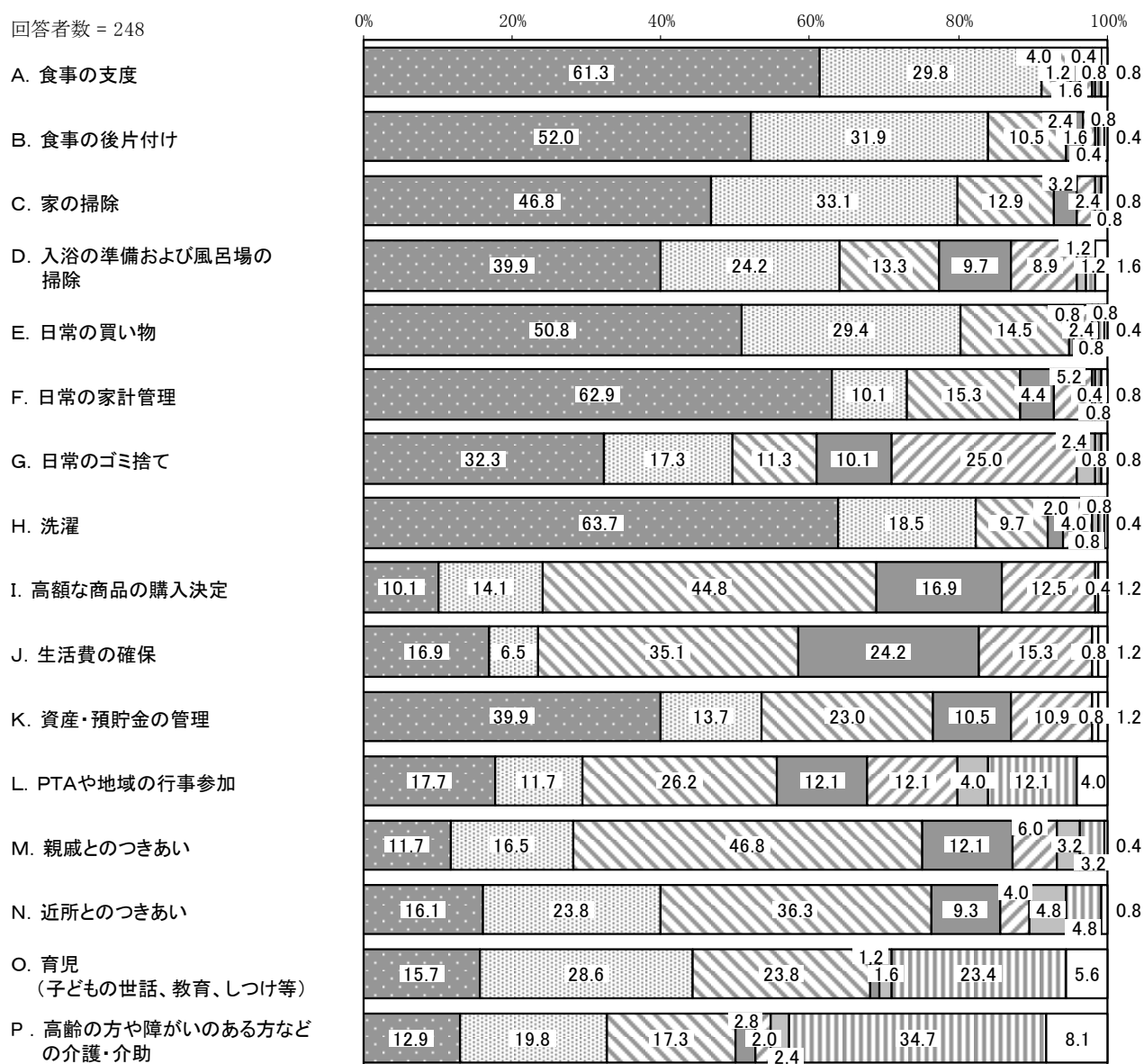
問4は、結婚されている方にお聞きします。

問4 次のA～Pの項目について、あなたの家庭では夫婦の間でどのように行っていますか。(それぞれ1つに○)

『A. 食事の支度』『F. 日常の家計管理』『H. 洗濯』で「ほとんど妻がしている」の割合が高く、約6割となっています。また、『I. 高額な商品の購入決定』『M. 親戚とのつきあい』で「平等に分担している」の割合が高く、4割半ばとなっています。

- ほとんど妻がしている
- 妻が中心だが夫も手伝う
- 平等に分担している
- 夫が中心だが妻も手伝う
- ほとんど夫がしている
- 夫婦ともほとんどしない(親、子ども、その他の人がしている)
- その他(該当する家事などが無い等)
- 無回答

回答者数 = 248



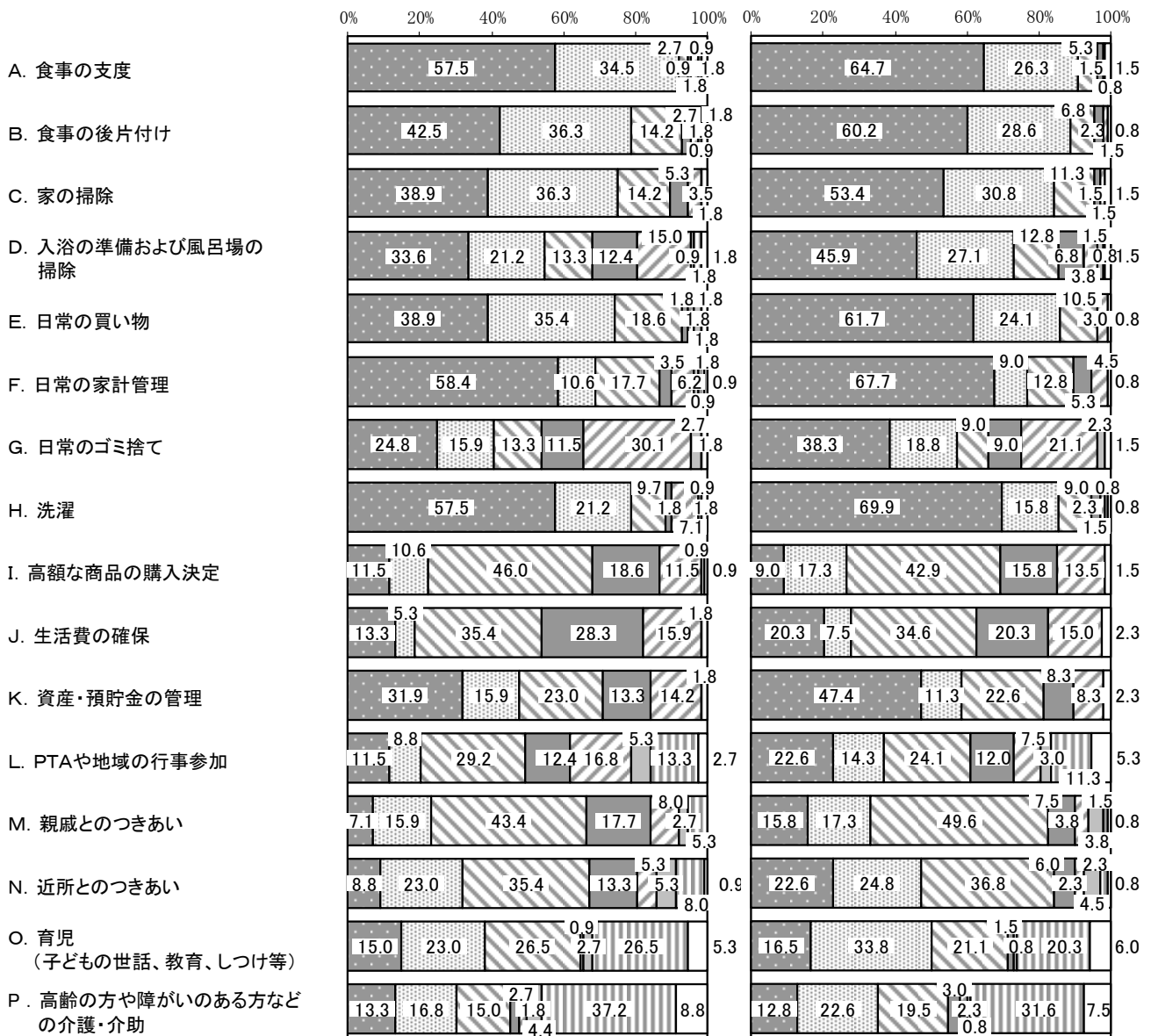
【性別】

性別でみると、『D. 入浴の準備および風呂場の掃除』『I. 高額な商品の購入決定』『O. 育児(子どもの世話、教育、しつけ等)』『P. 高齢の方や障がいのある方などの介護・介助』で、男性に比べ、女性で「妻が中心だが夫も手伝う」の割合が高くなっています。

- ほとんど妻がしている
- ▨ 妻が中心だが夫も手伝う
- ▩ 平等に分担している
- 夫が中心だが妻も手伝う
- ▨ ほとんど夫がしている
- ▩ 夫婦ともほとんどしない(親、子ども、その他の人がしている)
- その他(該当する家事などが無い等)
- 無回答

【男性】(回答者数 = 113)

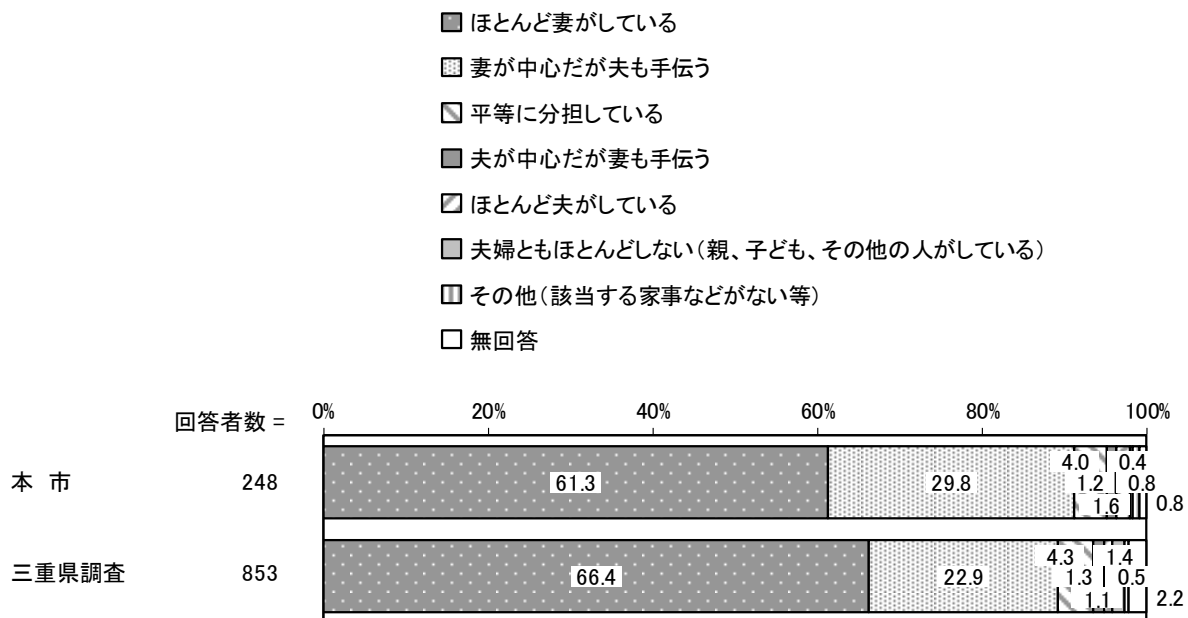
【女性】(回答者数 = 133)



A. 食事の仕度

【県 比較】

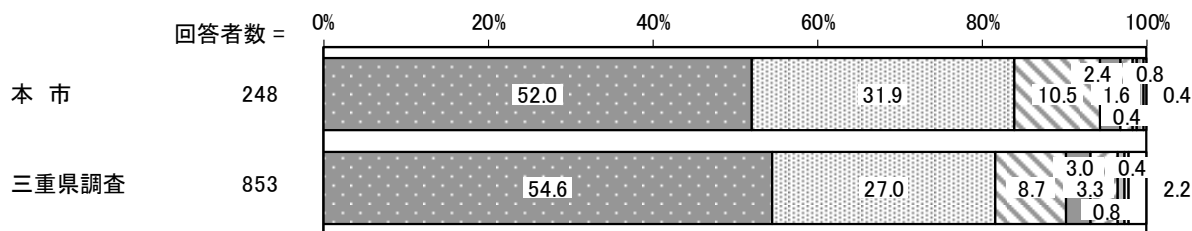
三重県調査と比較すると、「ほとんど妻がしている」の割合が低くなっています。



B. 食事の後片付け

【県 比較】

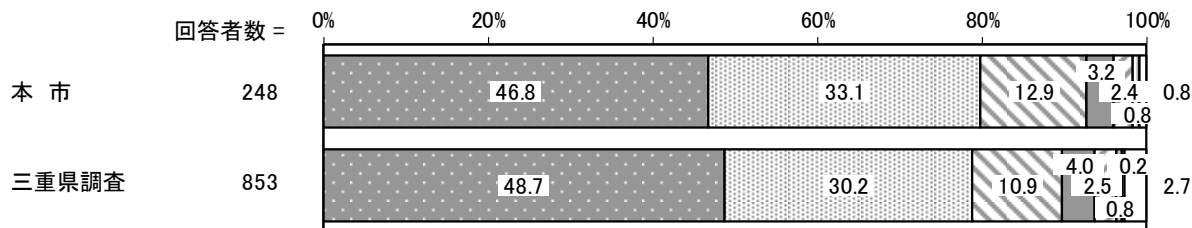
三重県調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



C. 家の掃除

【県 比較】

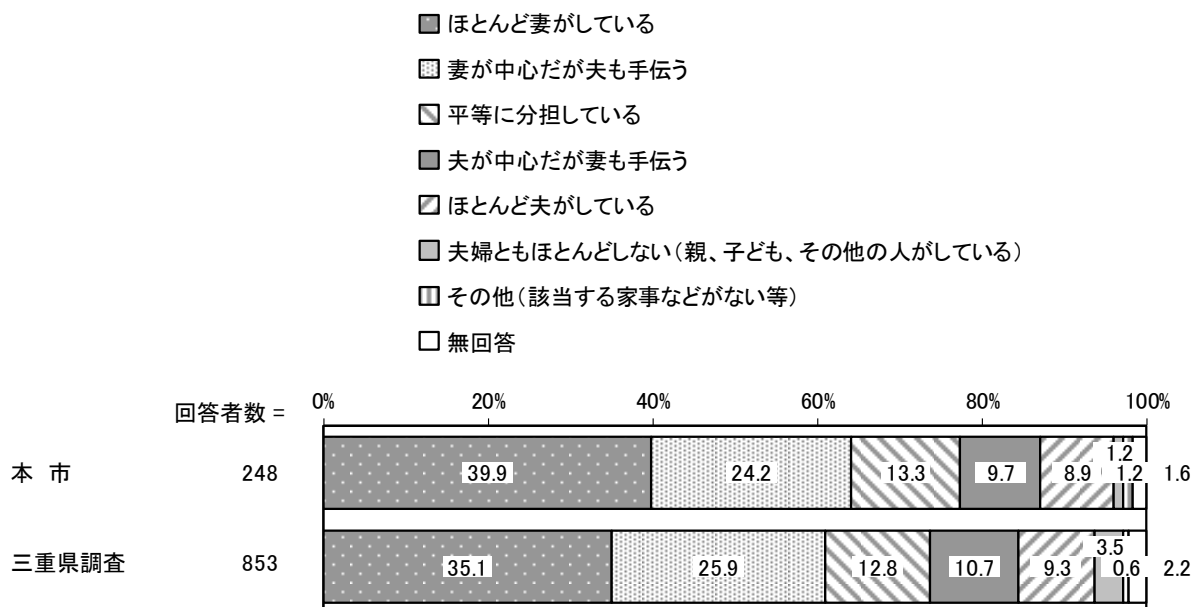
三重県調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



D. 入浴の準備および風呂場の掃除

【県 比較】

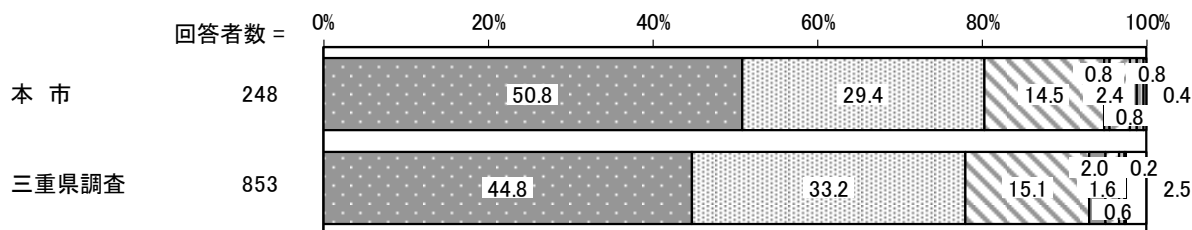
三重県調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



E. 日常の買い物

【県 比較】

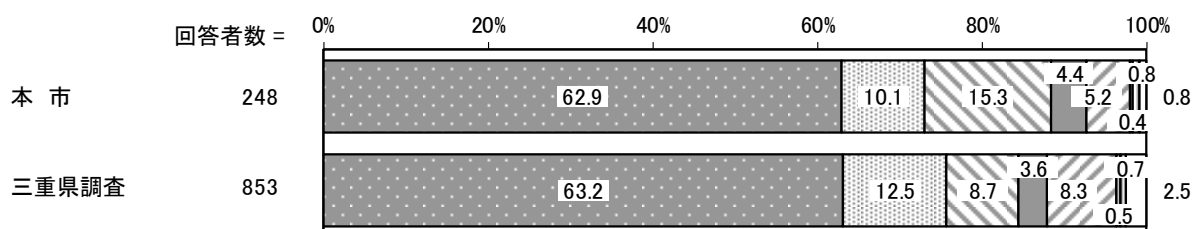
三重県調査と比較すると、「ほとんど妻がしている」の割合が高くなっています。



F. 日常の家計管理

【県 比較】

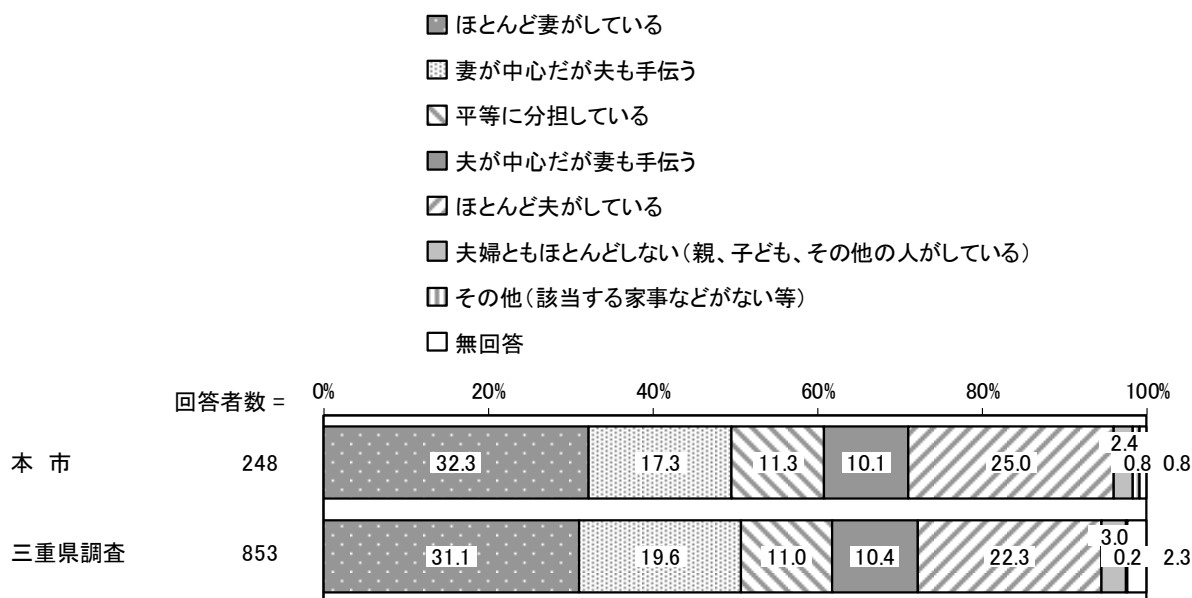
三重県調査と比較すると、「平等に分担している」の割合が高くなっています。



G. 日常のゴミ捨て

【県 比較】

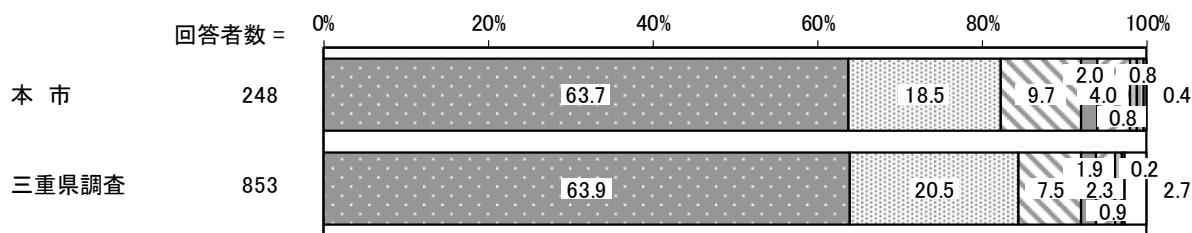
三重県調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



H. 洗濯

【県 比較】

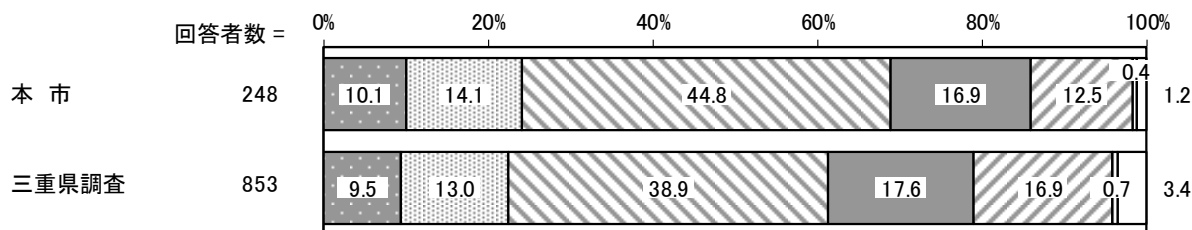
三重県調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



I. 高額な商品の購入決定

【県 比較】

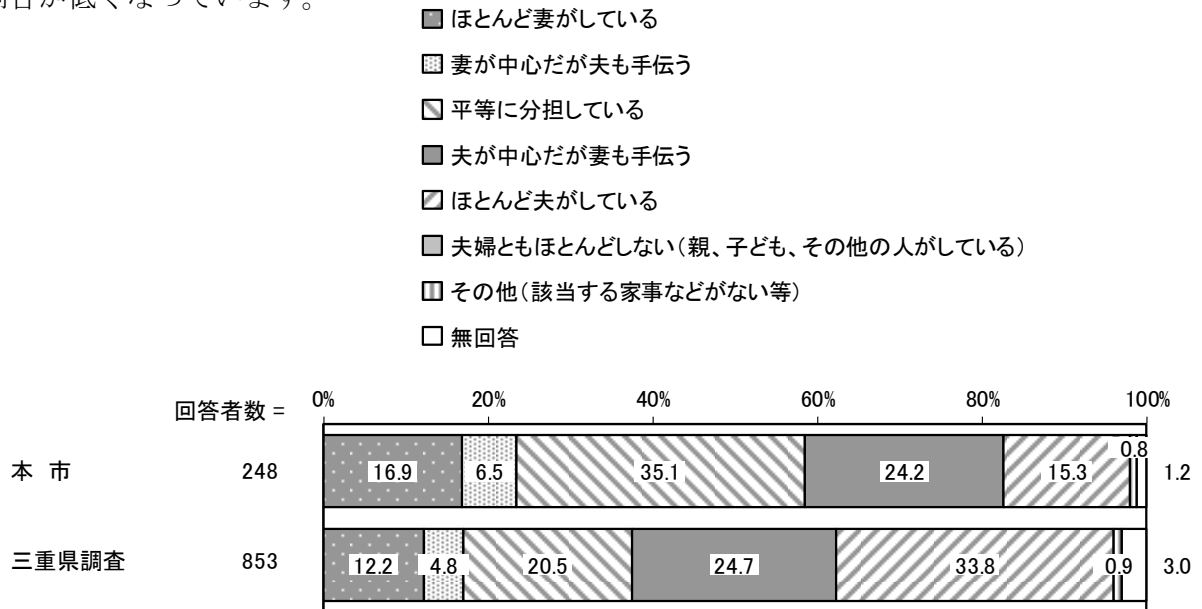
三重県調査と比較すると、「平等に分担している」の割合が高くなっています。



J. 生活費の確保

【県 比較】

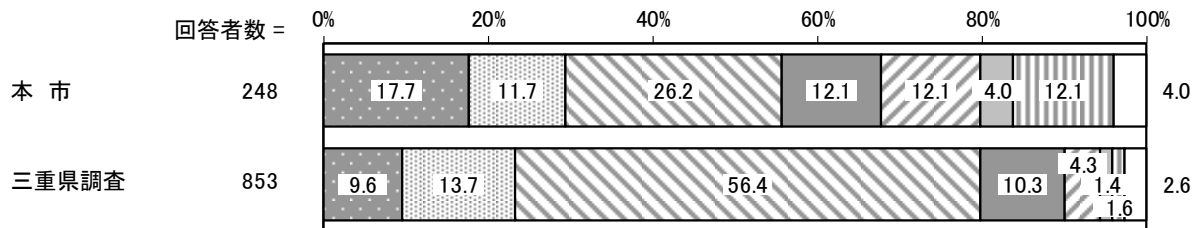
三重県調査と比較すると、「平等に分担している」の割合が高く、「ほとんど夫がしている」の割合が低くなっています。



L. P T A や地域の行事参加

【県 比較】

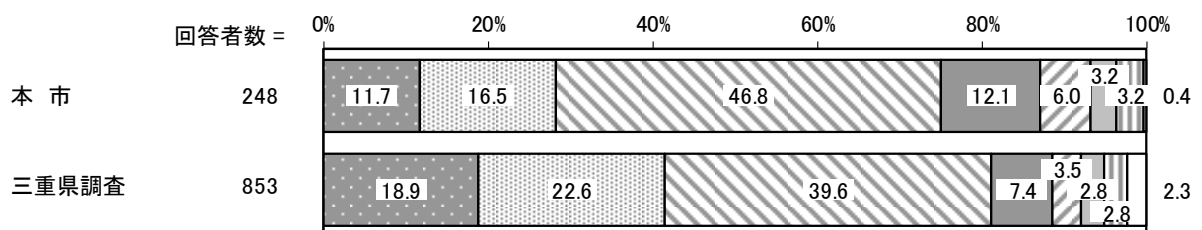
三重県調査と比較すると、「ほとんど妻がしている」「ほとんど夫がしている」「その他(該当する家事などが無い等)」の割合が高く、「平等に分担している」の割合が低くなっています。



M. 親戚とのつきあい

【県 比較】

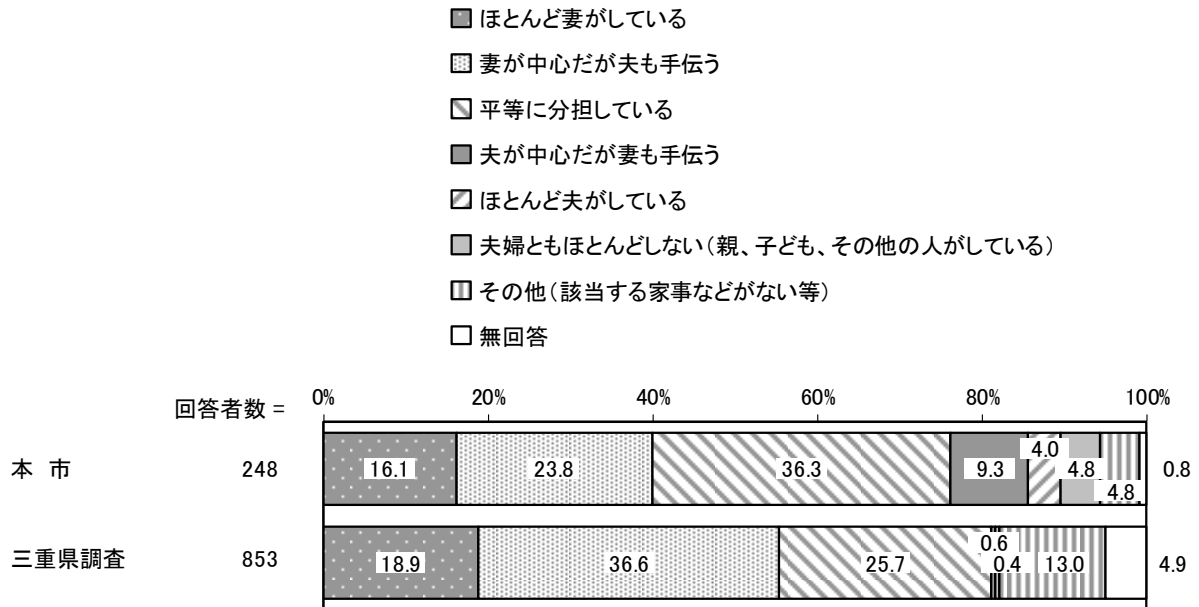
三重県調査と比較すると、「平等に分担している」の割合が高く、「ほとんど妻がしている」「妻が中心だが夫も手伝う」の割合が低くなっています。



N. 近所とのつきあい

【県 比較】

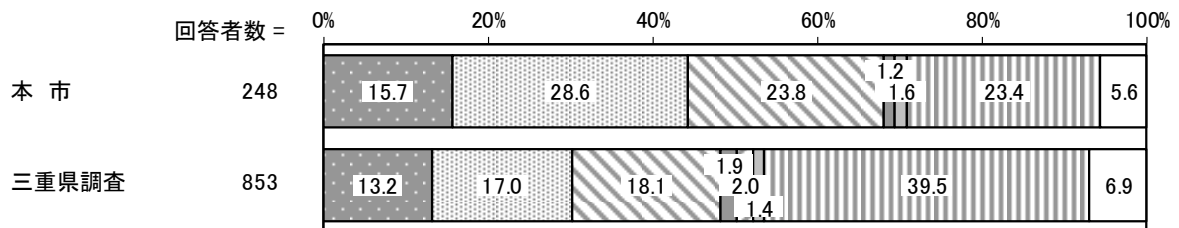
三重県調査と比較すると、「平等に分担している」「夫が中心だが妻も手伝う」の割合が高く、「妻が中心だが夫も手伝う」「その他（該当する家事などが無い等）」の割合が低くなっています。



O. 育児（子どもの世話、教育、しつけ等）

【県 比較】

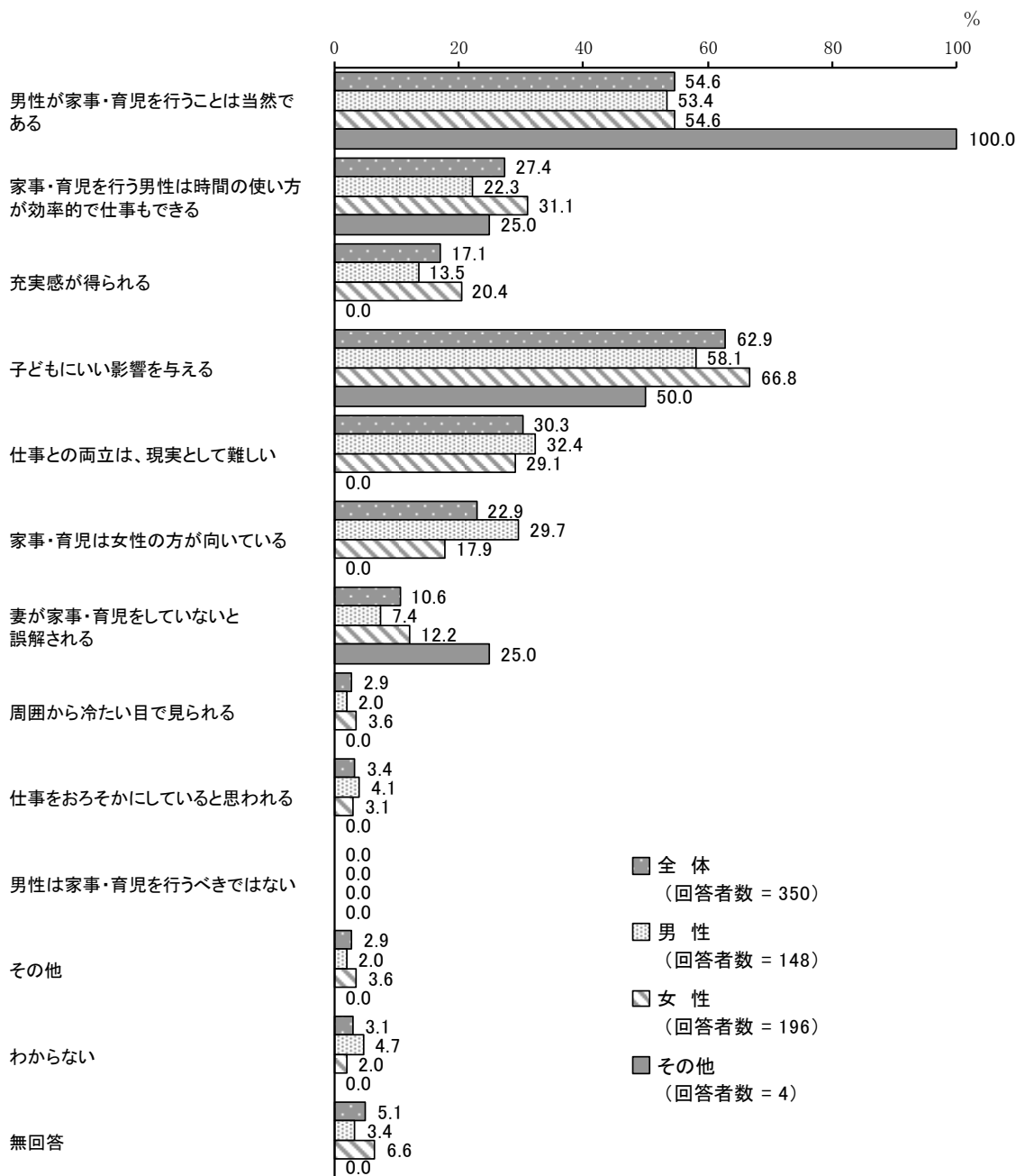
三重県調査と比較すると、「妻が中心だが夫も手伝う」「平等に分担している」の割合が高く、「その他（該当する家事などが無い等）」の割合が低くなっています。



問5 男性が家事・育児を行うことについて、どのようなイメージをお持ちですか。
(〇はいくつでも)

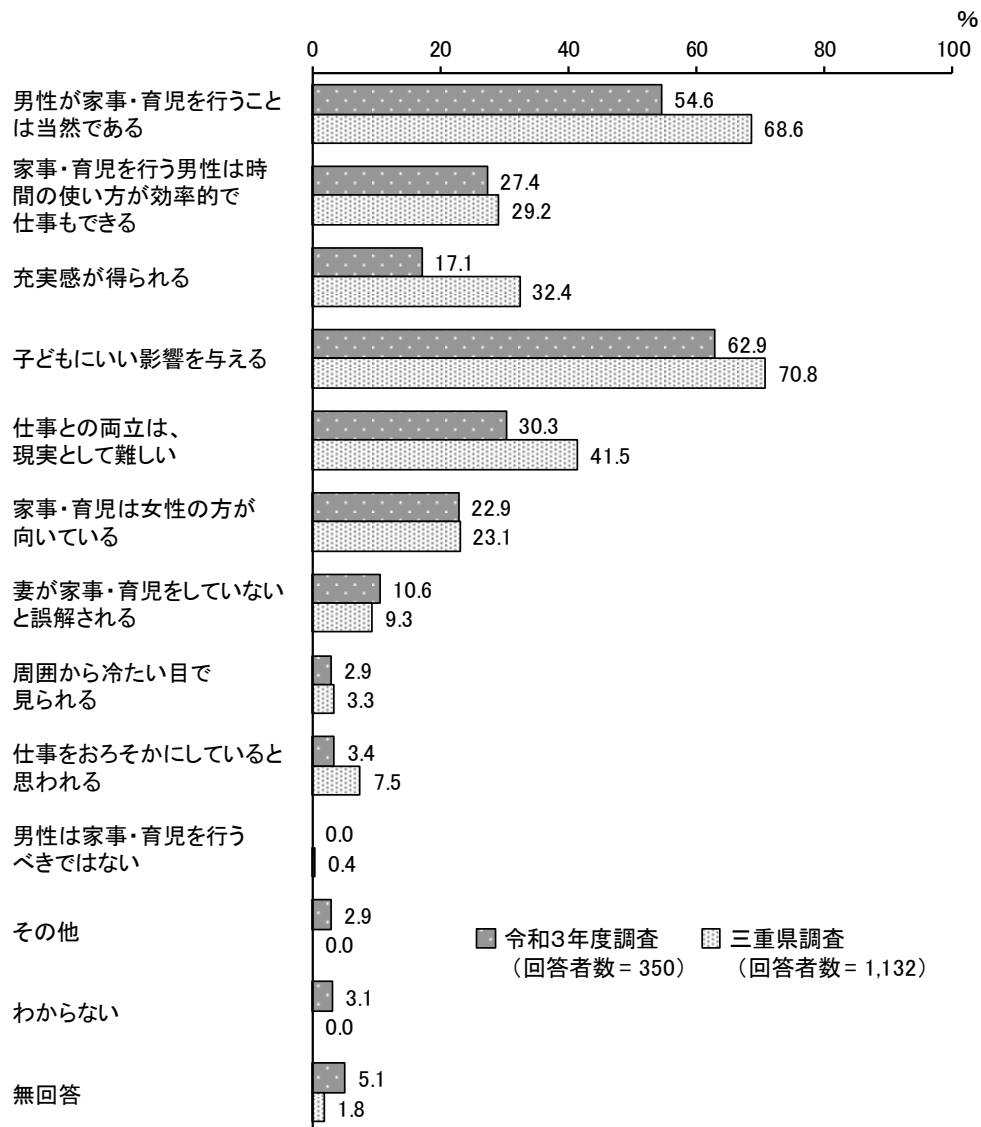
「子どもにいい影響を与える」の割合が62.9%と最も高く、次いで「男性が家事・育児を行うことは当然である」の割合が54.6%、「仕事との両立は、現実として難しい」の割合が30.3%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「家事・育児は女性の方が向いている」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「家事・育児を行う男性は時間の使い方が効率的で仕事もできる」「充実感が得られる」「子どもにいい影響を与える」の割合が高くなっています。



【県 比較】

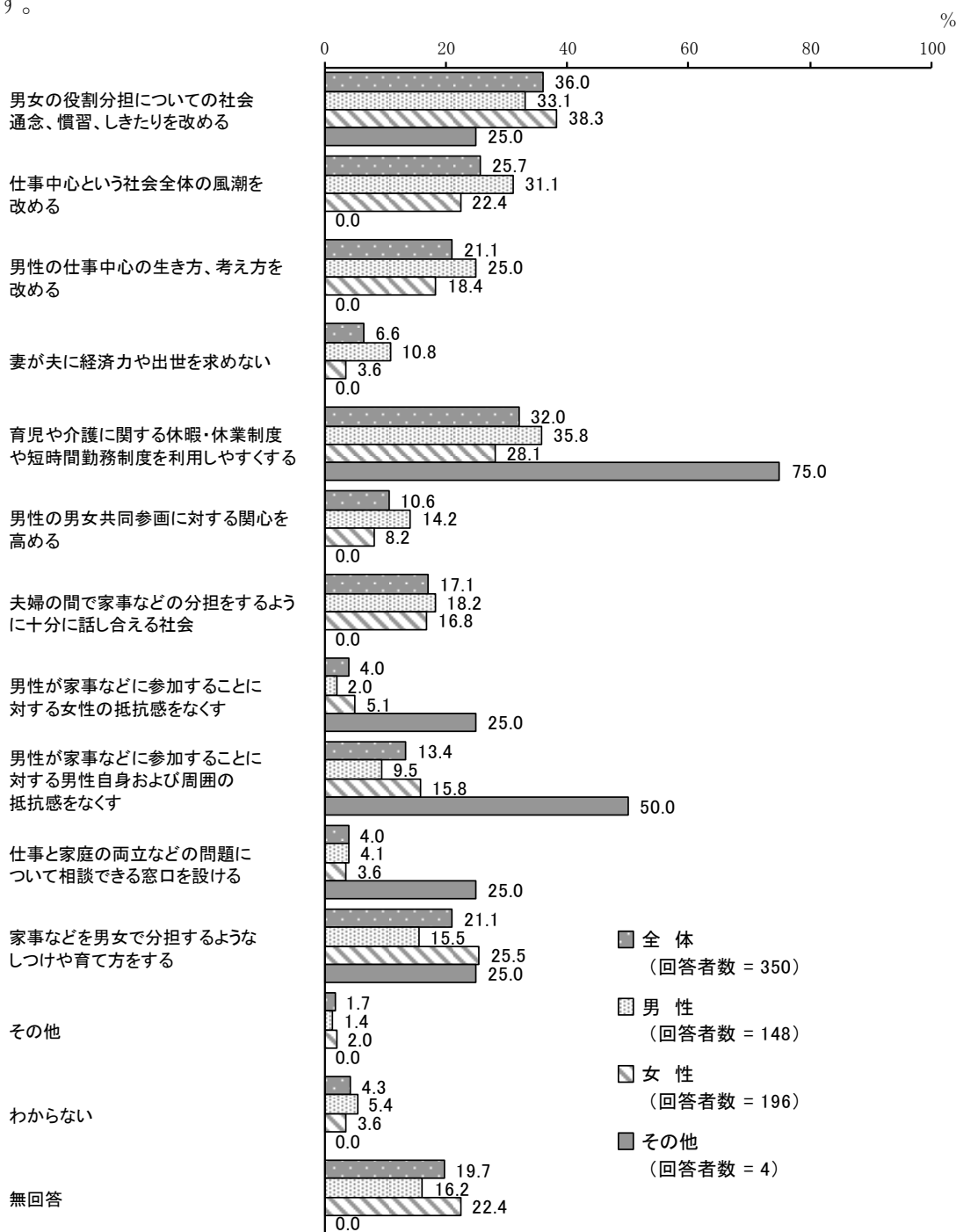
三重県調査と比較すると、「男性が家事・育児を行うことは当然である」「充実感が得られる」「子どもにいい影響を与える」「仕事との両立は、現実として難しい」の割合が低くなっています。



問6 今後、男性が女性とともに家事、育児、介護、地域活動などに積極的に参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

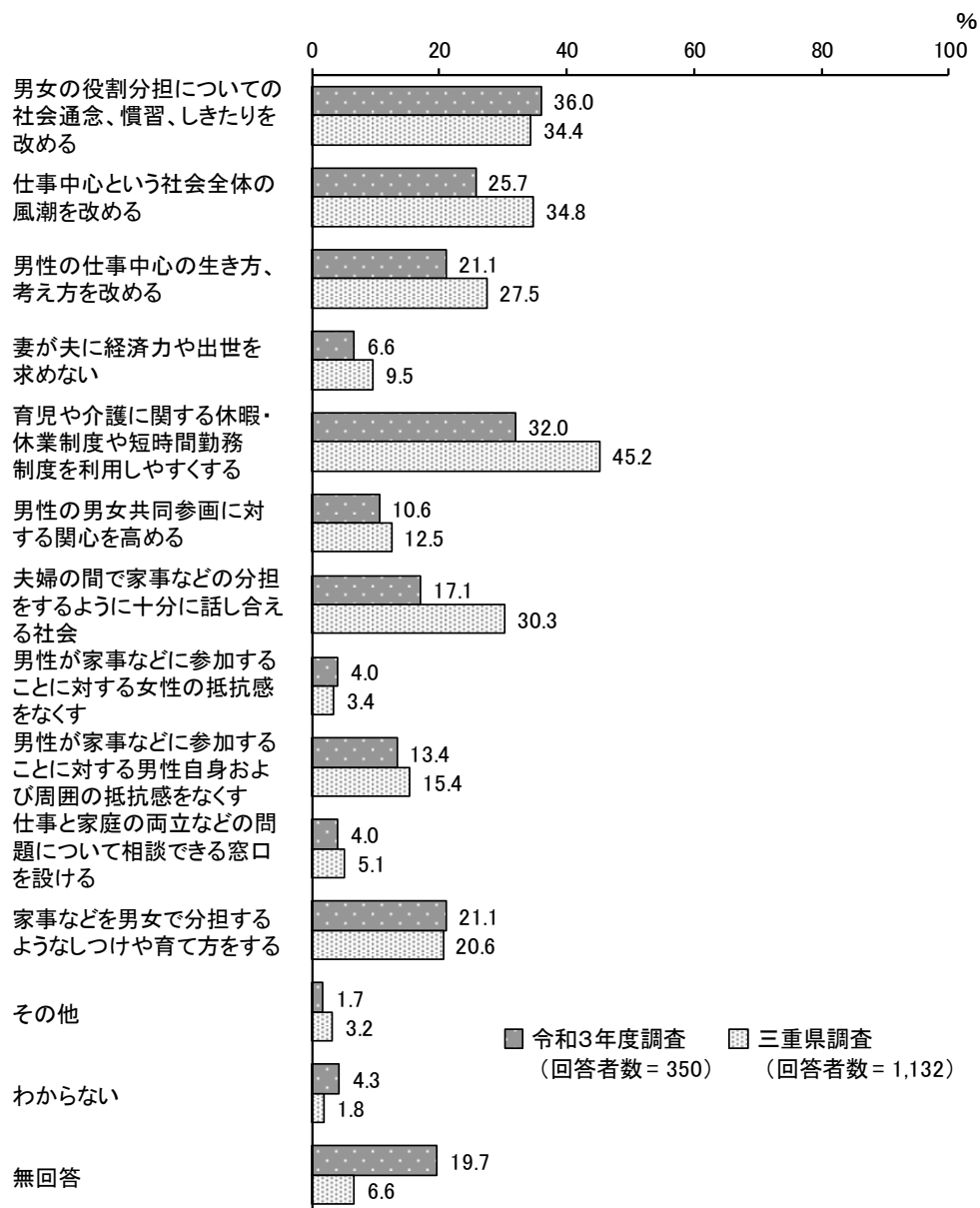
「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める」の割合が36.0%と最も高く、次いで「育児や介護に関する休暇・休業制度や短時間勤務制度を利用しやすくする」の割合が32.0%、「仕事中心という社会全体の風潮を改める」の割合が25.7%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「仕事中心という社会全体の風潮を改める」「男性の仕事中心の生き方、考え方を改める」「妻が夫に経済力や出世を求めない」「育児や介護に関する休暇・休業制度や短時間勤務制度を利用しやすくする」「男性の男女共同参画に対する関心を高める」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める」「男性が家事などに参加することに対する男性自身および周囲の抵抗感をなくす」「家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をする」の割合が高くなっています。



【県 比較】

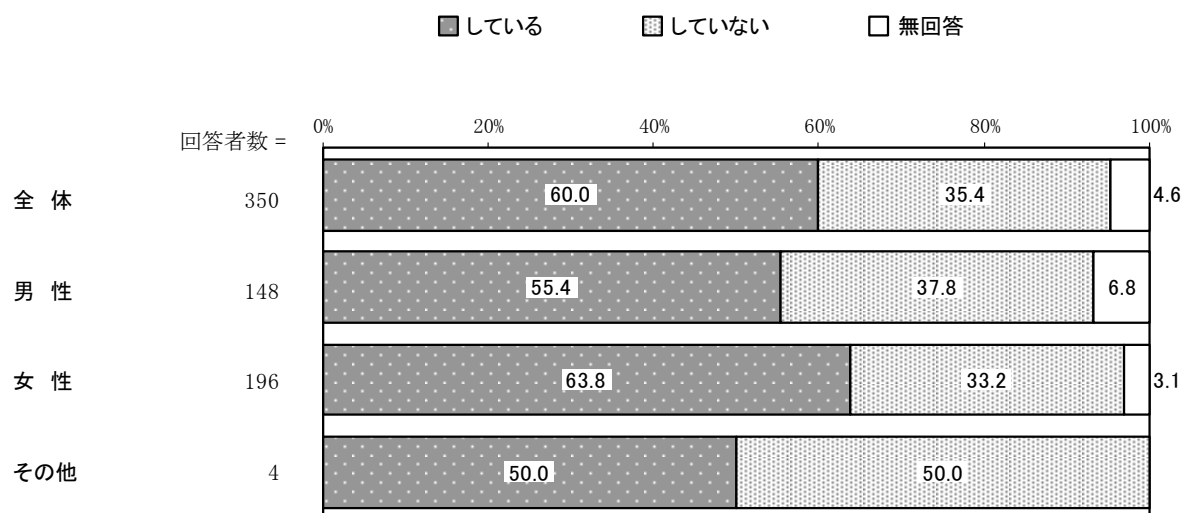
三重県調査と比較すると、「仕事中心という社会全体の風潮を改める」「育児や介護に関する休暇・休業制度や短時間勤務制度を利用しやすくする」「夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話し合える社会」の割合が低くなっています。



4 職業生活・女性の活躍について

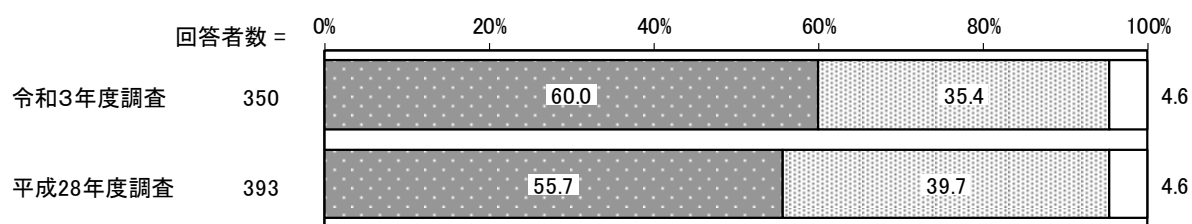
問7 あなたは、現在収入を得る仕事(産前・産後休暇、育児・介護休業中も含む)をしていますか。(1つに○)

「している」の割合が60.0%、「していない」の割合が35.4%となっています。
性別で見ると、男性に比べ、女性で「している」の割合が高くなっています。



【前回比較】

平成28年度調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。

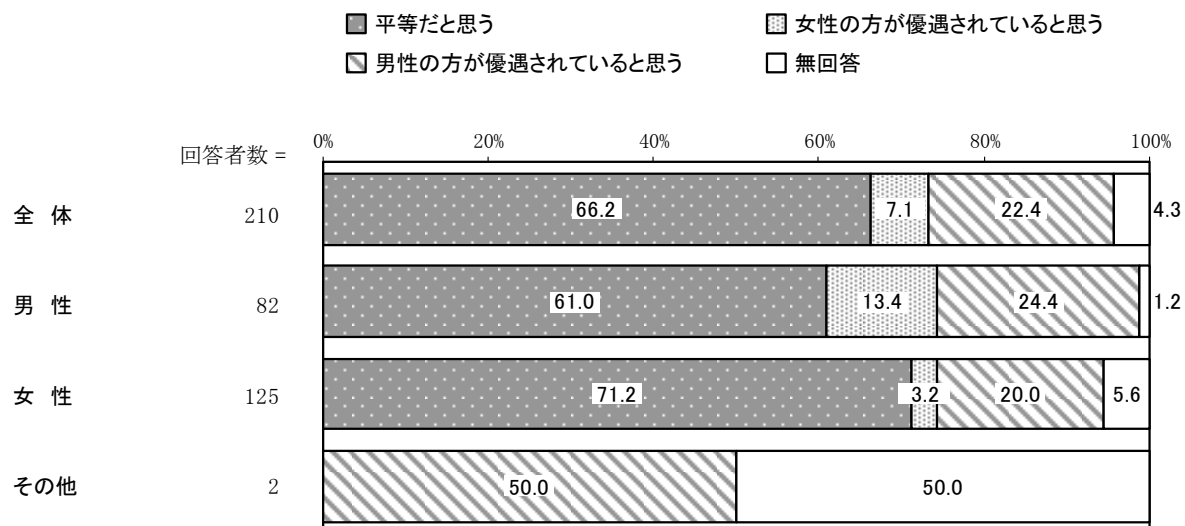


問7-1は、問7で「している」と回答された方にお聞きします。

問7-1 あなたの働いているところでは、女性と男性は平等だと思いますか。(1つに○)

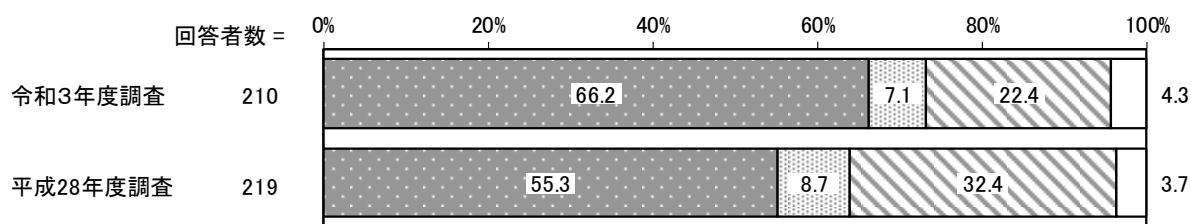
「平等だと思う」の割合が66.2%と最も高く、次いで「男性の方が優遇されていると思う」の割合が22.4%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「女性の方が優遇されていると思う」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「平等だと思う」の割合が高くなっています。



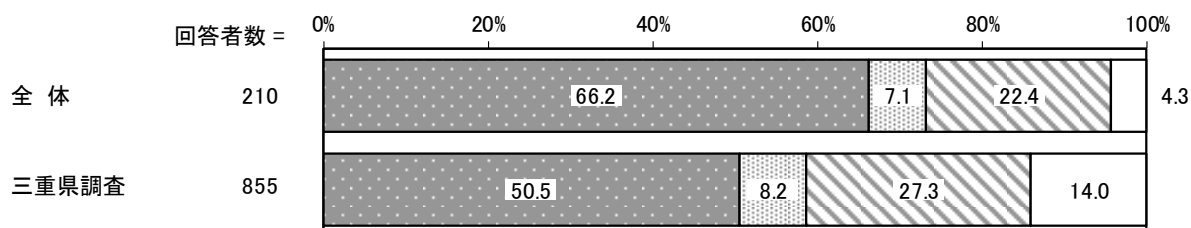
【前回比較】

平成28年度調査と比較すると、「平等だと思う」の割合が増加し、「男性の方が優遇されていると思う」の割合が減少しています。



【県比較】

三重県調査と比較すると、「平等だと思う」の割合が高くなっています。

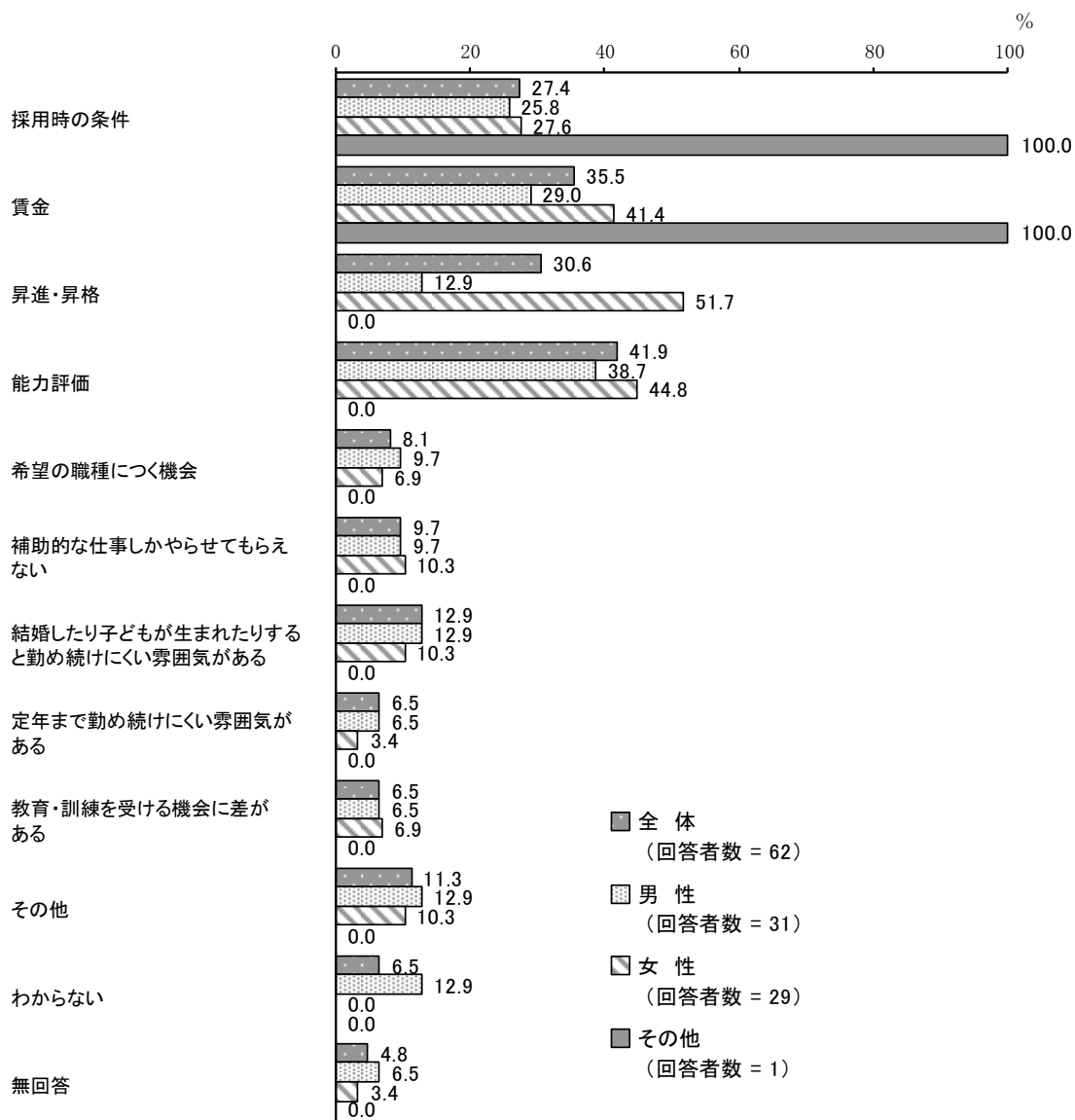


問7-2は、問7-1で「2. 女性の方が優遇されている」「3. 男性の方が優遇されている」と回答された方にお聞きします。

問7-2 あなたの働いているところでは、女性と男性は平等だと思わないのは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

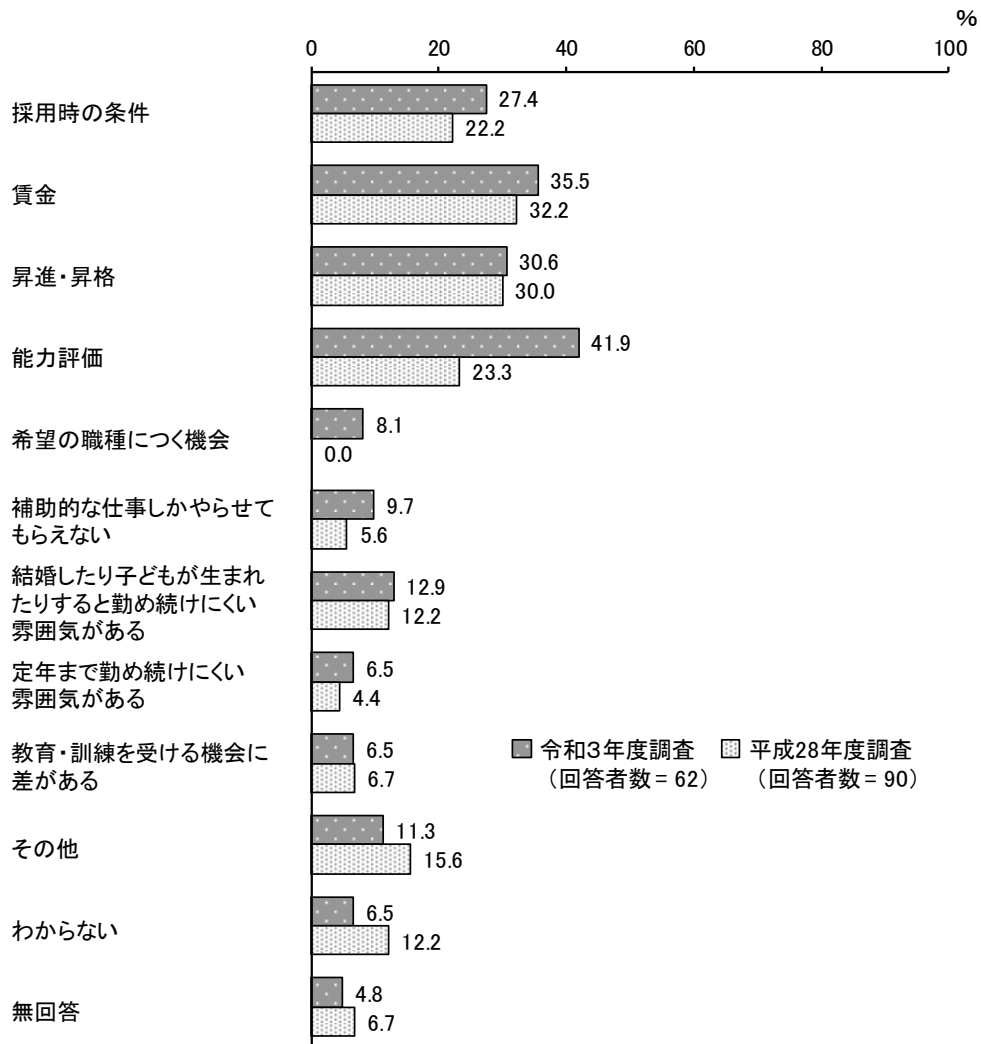
「能力評価」の割合が41.9%と最も高く、次いで「賃金」の割合が35.5%、「昇進・昇格」の割合が30.6%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「賃金」「昇進・昇格」「能力評価」の割合が高くなっています。



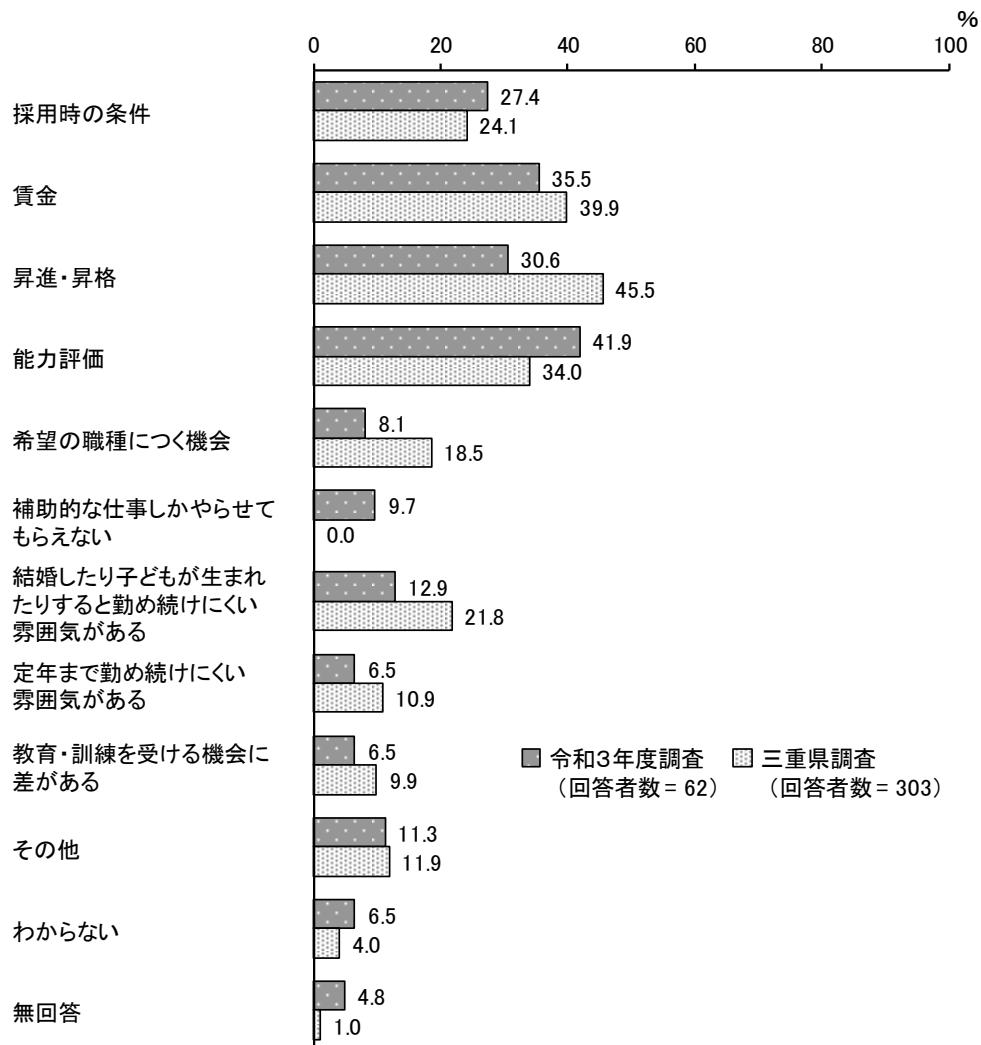
【前回比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「採用時の条件」「能力評価」の割合が増加しています。



【県 比較】

三重県調査と比較すると、「能力評価」の割合が高く、「昇進・昇格」「希望の職種につく機会」「結婚したり子どもが生まれたりすると勤め続けにくい雰囲気がある」の割合が低くなっています。

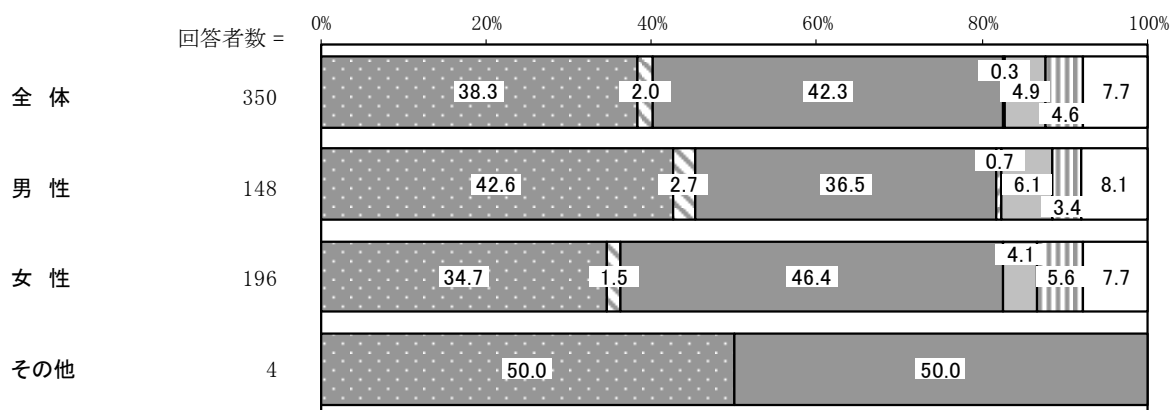


問8 女性の職業へのかかわり方について、あなたはどのような形が最も望ましいと思いますか。(1つに○)

「子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」の割合が42.3%と最も高く、次いで「子どもが生まれた後も、職業を続ける」の割合が38.3%となっています。

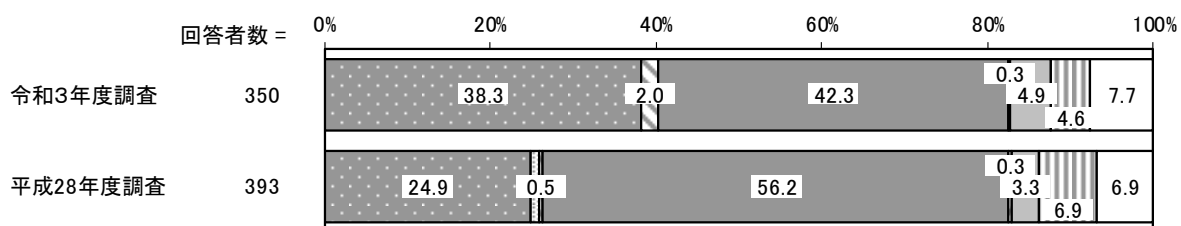
性別でみると、女性に比べ、男性で「子どもが生まれた後も、職業を続ける」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」の割合が高くなっています。

- 子どもが生まれた後も、職業を続ける
- 結婚するまでは職業を持つが、その後は持たない
- 子どもができるまでは職業を持つが、その後は持たない
- 子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ
- 職業は一生持たない
- その他
- わからない
- 無回答



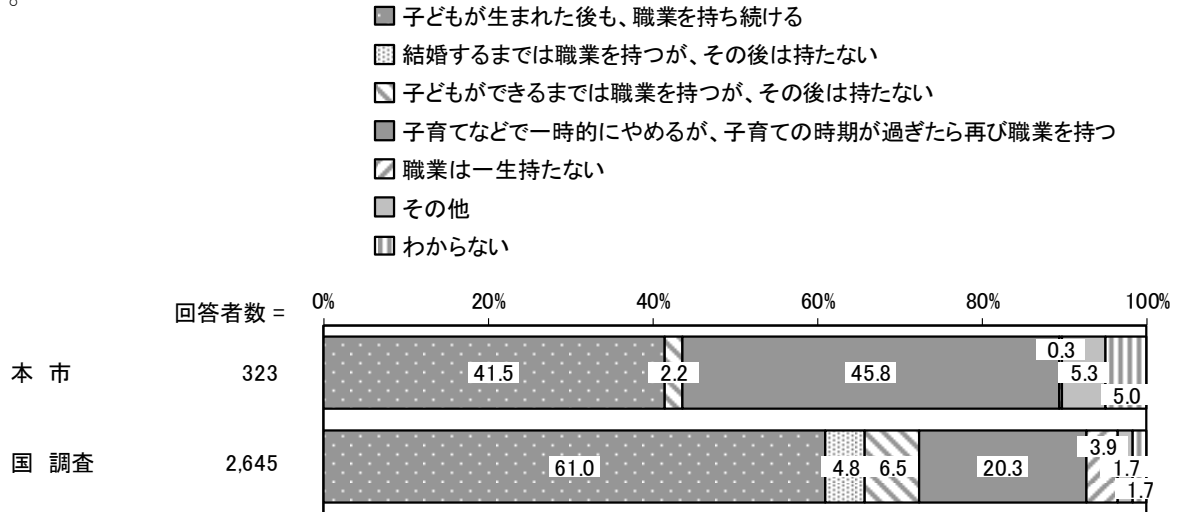
【前回比較】

平成28年度調査と比較すると、「子どもが生まれた後も、職業を続ける」の割合が増加し、「子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら職業を持つ」の割合が減少しています。



【国 比較】

国の調査と比較すると、「子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」の割合が高く、「子どもが生まれた後も、職業を持ち続ける」の割合が低くなっています。

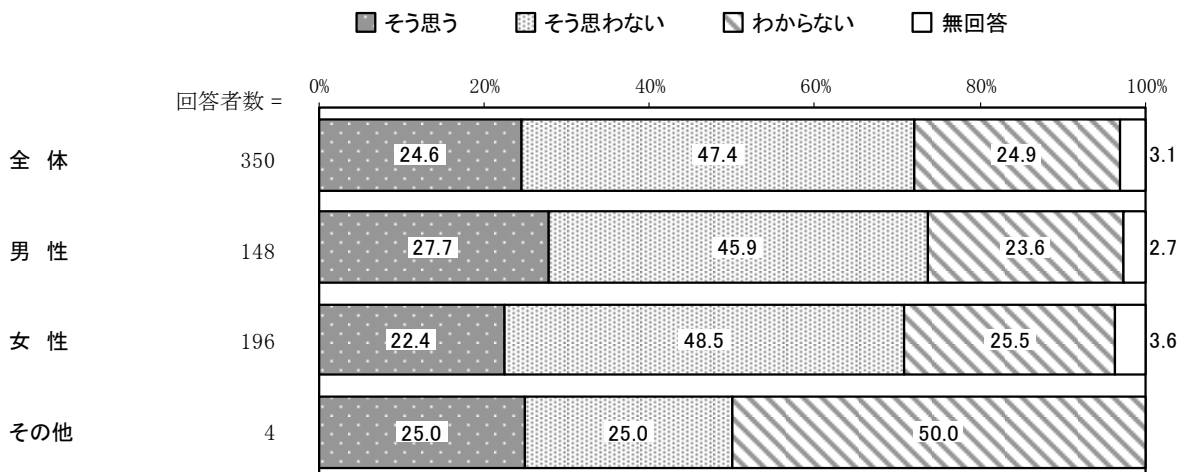


※国の調査では「無回答」がないので、「無回答」を除いて集計しています。

問9 あなたは、現在の女性は働きやすい状況にあると思いますか。(1つに○)

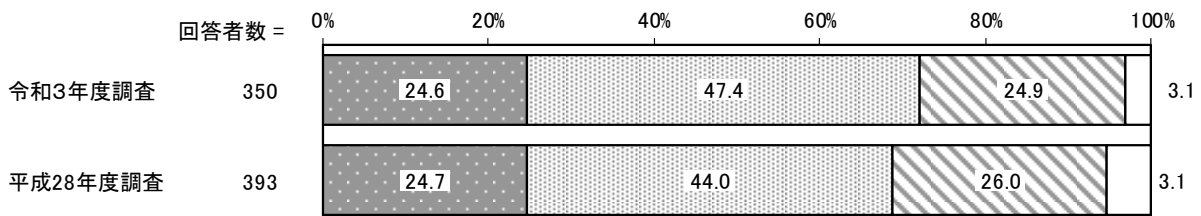
「そう思わない」の割合が47.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が24.9%、「そう思う」の割合が24.6%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「そう思う」の割合が高くなっています。



【前回比較】

平成28年度調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。

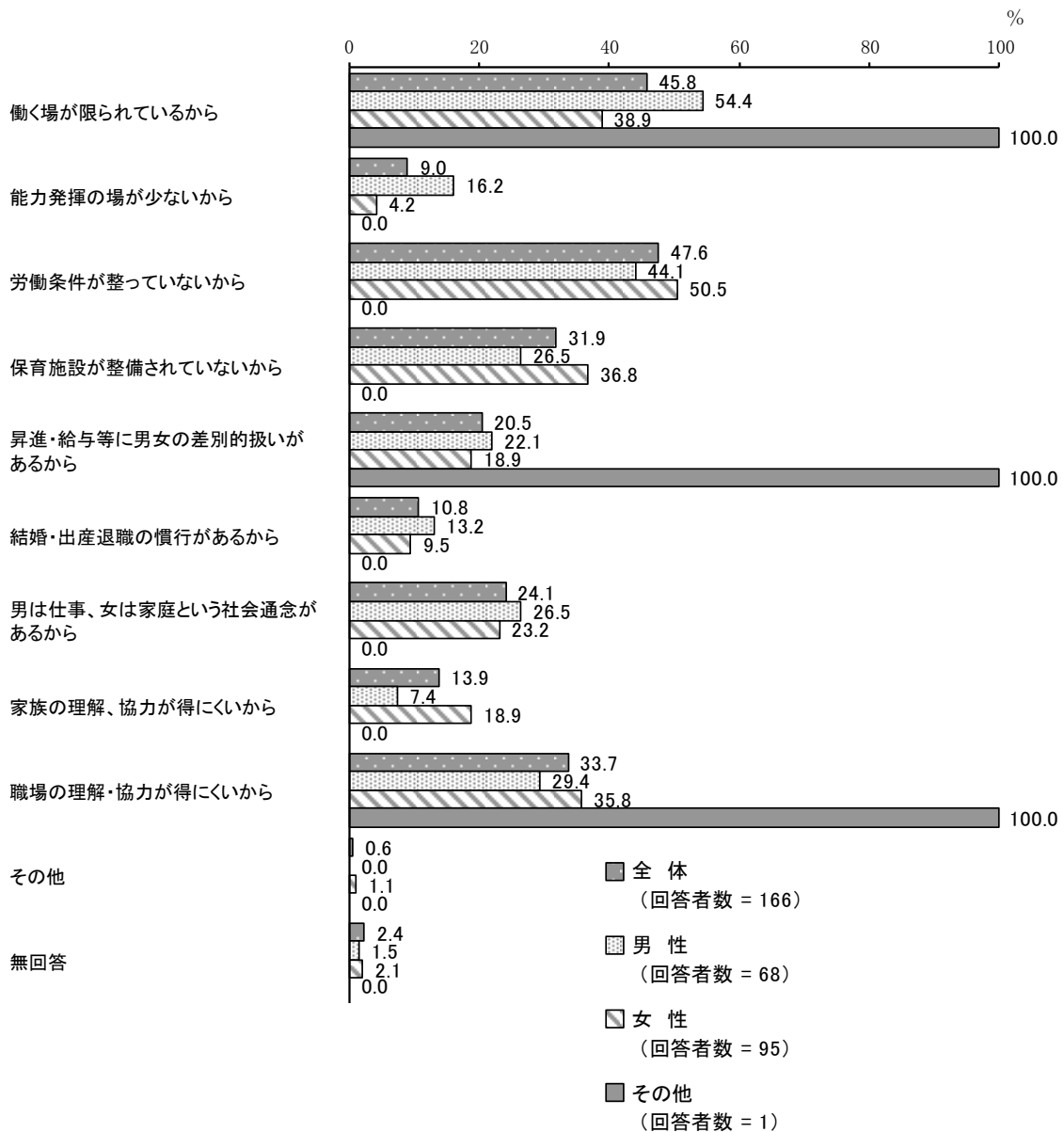


問9-1は、問9で「そう思わない」と回答された方にお聞きします。

問9-1 そう思わない理由は何ですか。(〇は3つまで)

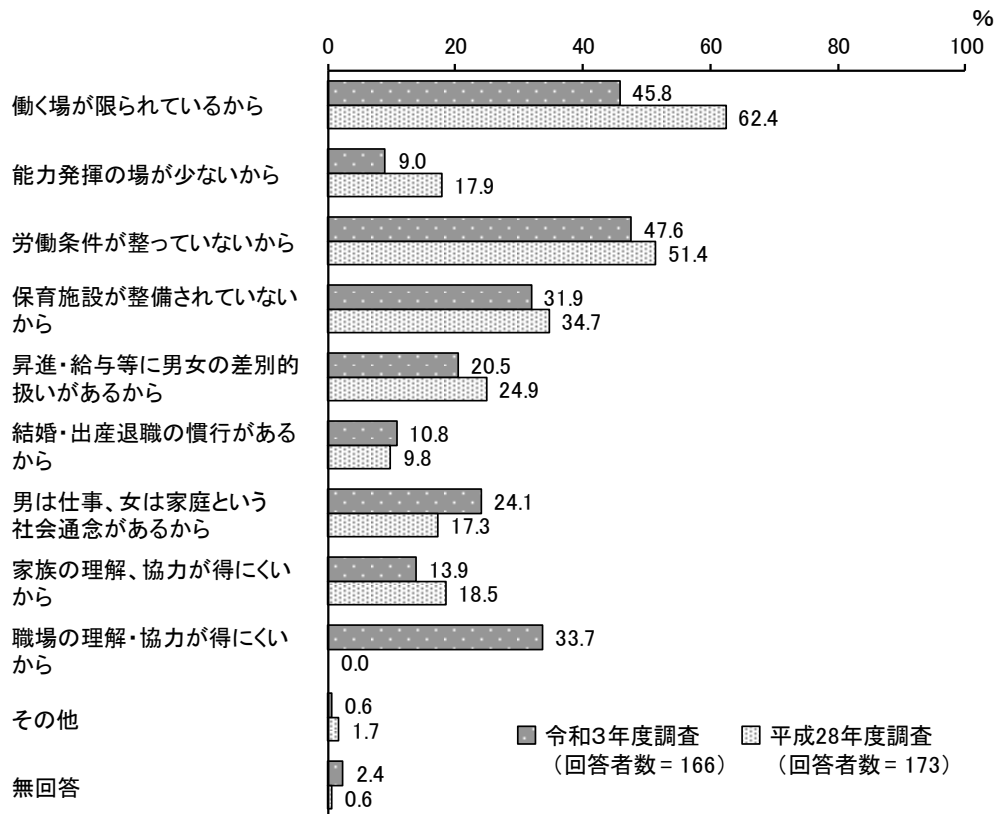
「労働条件が整っていないから」の割合が47.6%と最も高く、次いで「働く場が限られているから」の割合が45.8%、「職場の理解・協力が得にくいから」の割合が33.7%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「働く場が限られているから」「能力発揮の場が少ないから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「労働条件が整っていないから」「保育施設が整備されていないから」「家族の理解、協力が得にくいから」「職場の理解・協力が得にくいから」の割合が高くなっています。



【前回比較】

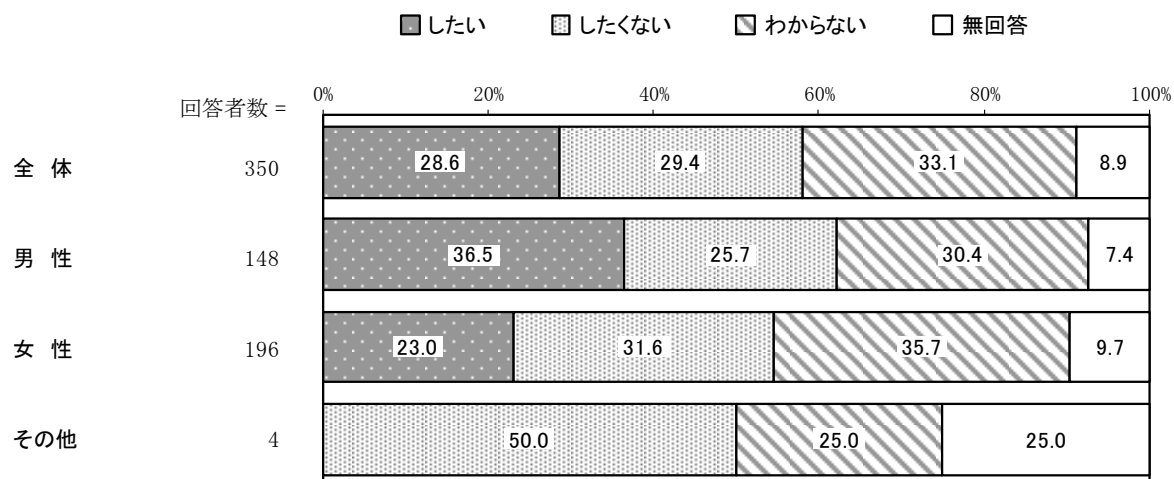
平成28年度調査と比較すると、「男は仕事、女は家庭という社会通念があるから」の割合が増加し、「働く場が限られているから」「能力発揮の場が少ないから」の割合が減少しています。



問 10 あなたは職場での昇進や、キャリアアップをしたいと思いますか。(1つに○)

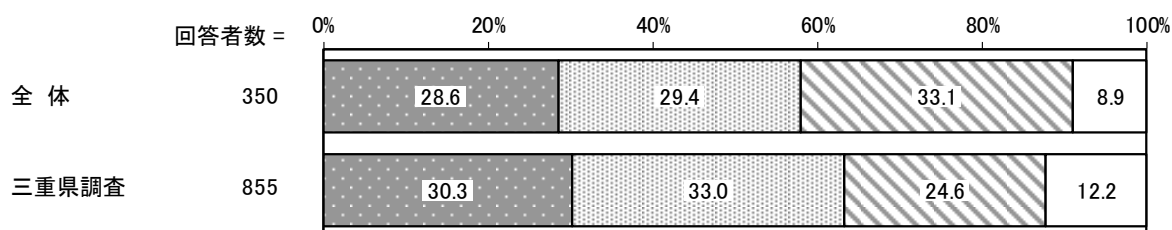
「わからない」の割合が33.1%と最も高く、次いで「したくない」の割合が29.4%、「したい」の割合が28.6%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「したい」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「したくない」の割合が高くなっています。



【県 比較】

三重県調査と比較すると、「わからない」の割合が高くなっています。

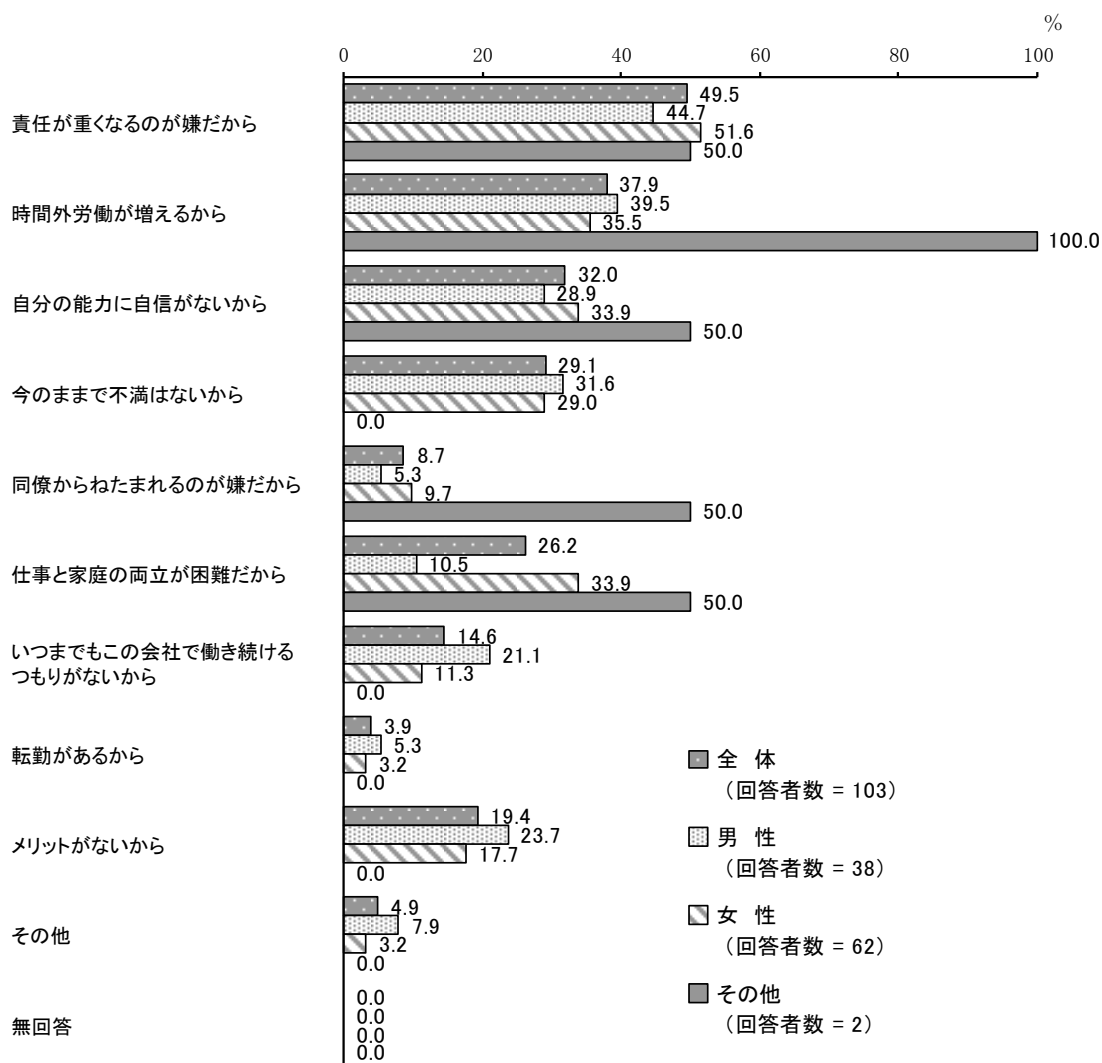


問 10-1 問 10 で「したくない」に○をつけた方にお聞きします。

問 10-1 その理由は何ですか。(○はいくつでも)

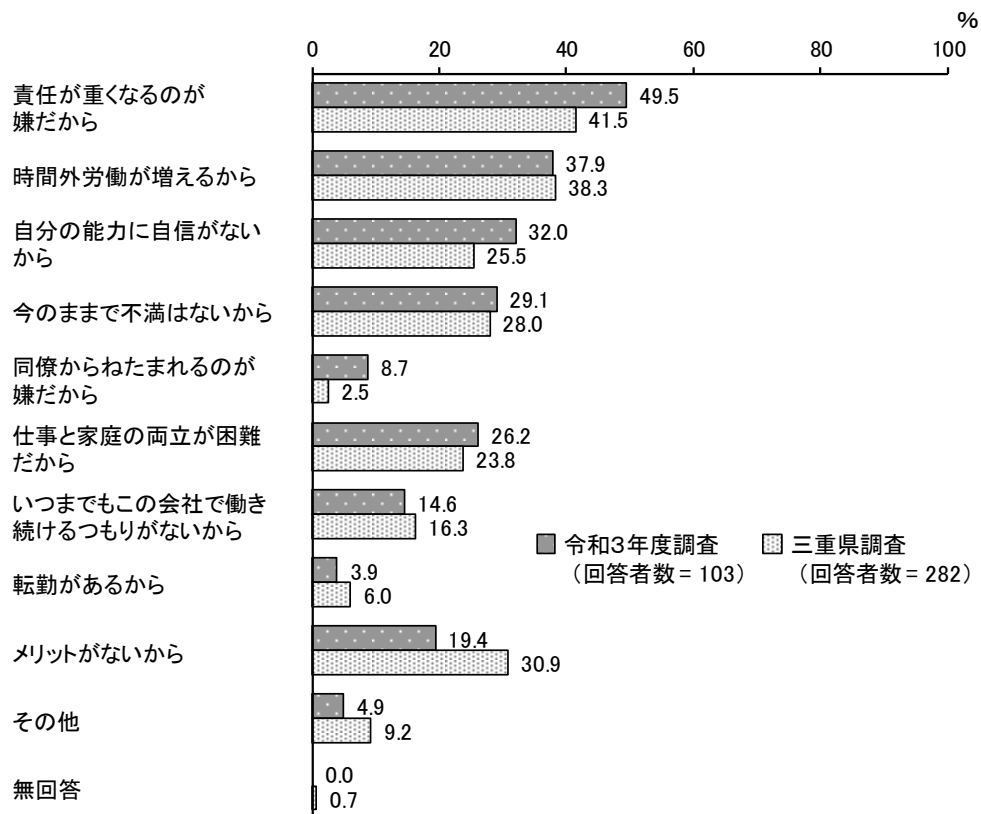
「責任が重くなるのが嫌だから」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「時間外労働が増えるから」の割合が 37.9%、「自分の能力に自信がないから」の割合が 32.0%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「いつまでもこの会社で働き続けるつもりがないから」「メリットがないから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「責任が重くなるのが嫌だから」「自分の能力に自信がないから」「仕事と家庭の両立が困難だから」の割合が高くなっています。



【県 比較】

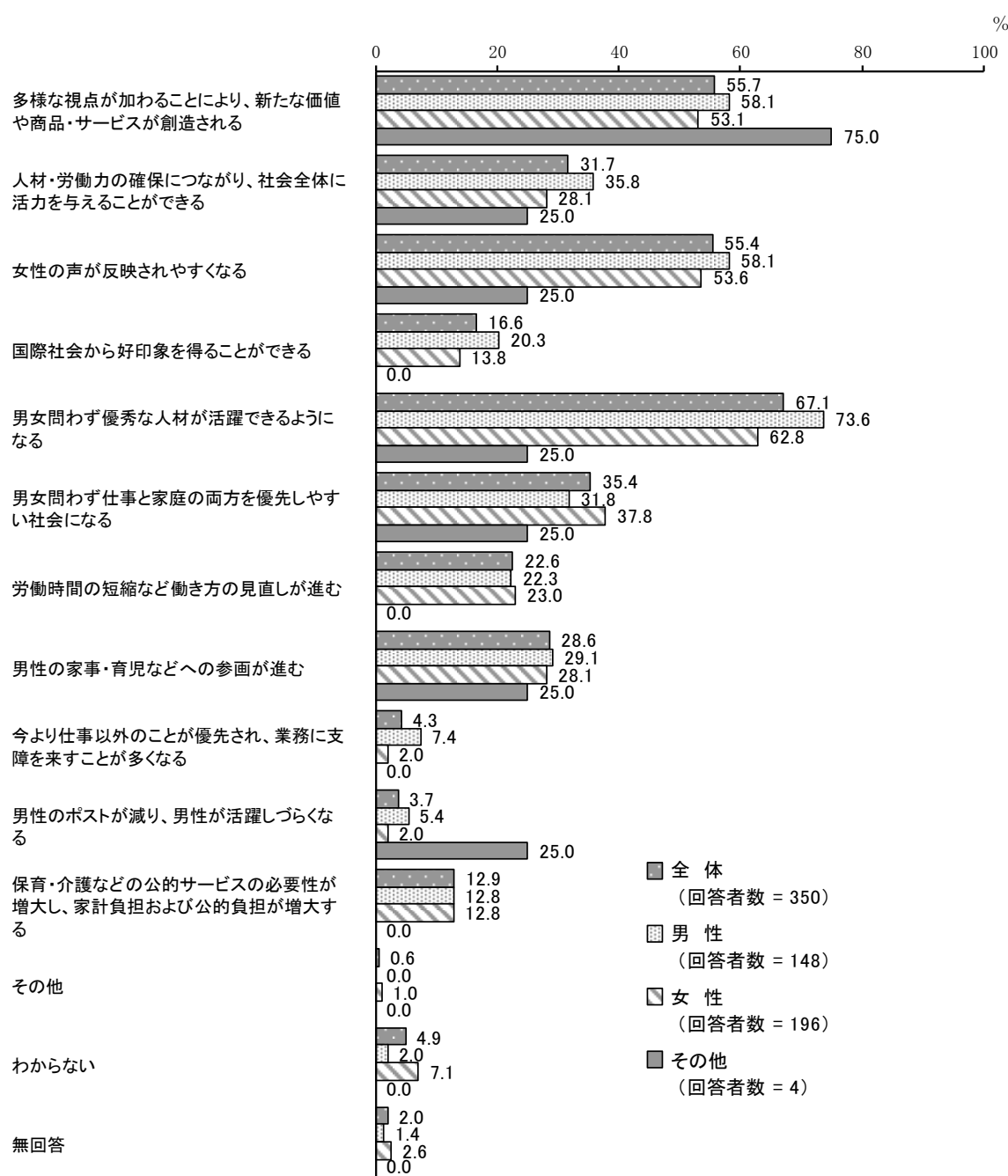
三重県調査と比較すると、「責任が重くなるのが嫌だから」の割合が高く、「メリットがないから」の割合が低くなっています。



問11 あなたは、政治・経済・地域社会などの各分野で女性の参画が進み、女性のリーダーが増えるとどのような影響があると思いますか。(〇はいくつでも)

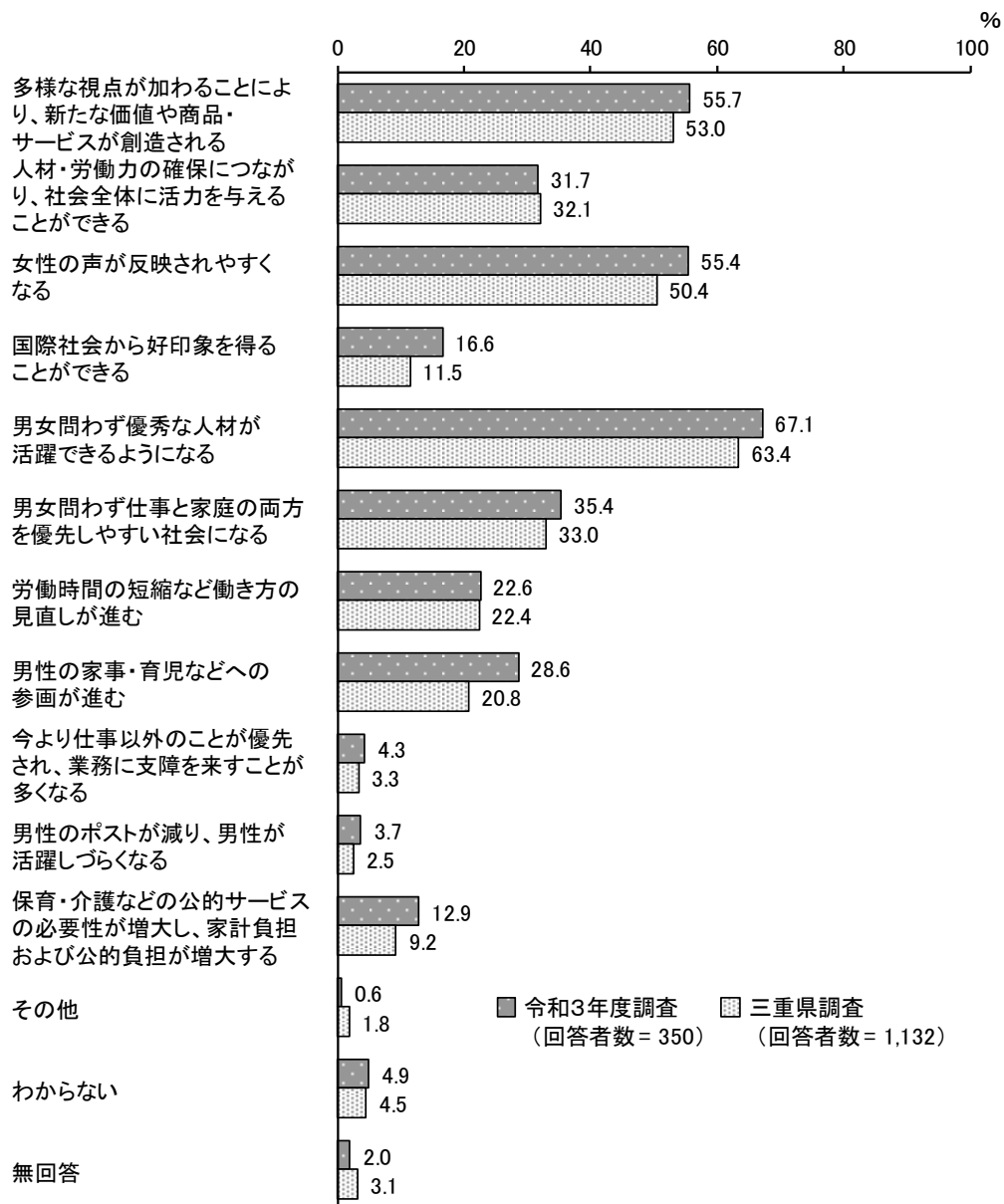
「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」の割合が67.1%と最も高く、次いで「多様な視点加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される」の割合が55.7%、「女性の声が反映されやすくなる」の割合が55.4%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「多様な視点加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される」「人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる」「国際社会から好印象を得ることができる」「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」「今より仕事以外のことが優先され、業務に支障を来すことが多くなる」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる」の割合が高くなっています。



【県 比較】

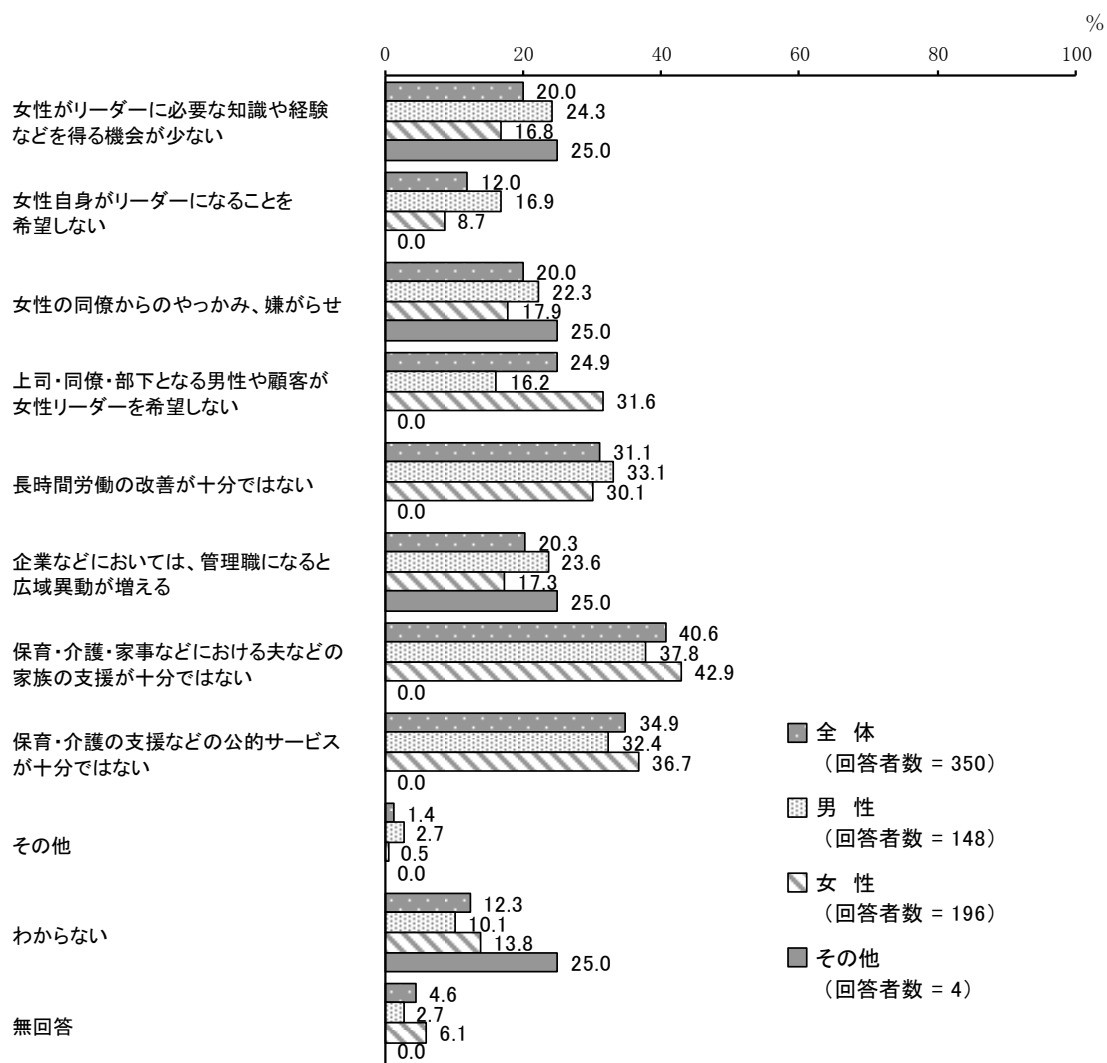
三重県調査と比較すると、「女性の声が反映されやすくなる」「国際社会から好印象を得ることができる」「男性の家事・育児などへの参画が進む」の割合が高くなっています。



問 12 あなたは、政治・経済・地域社会などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

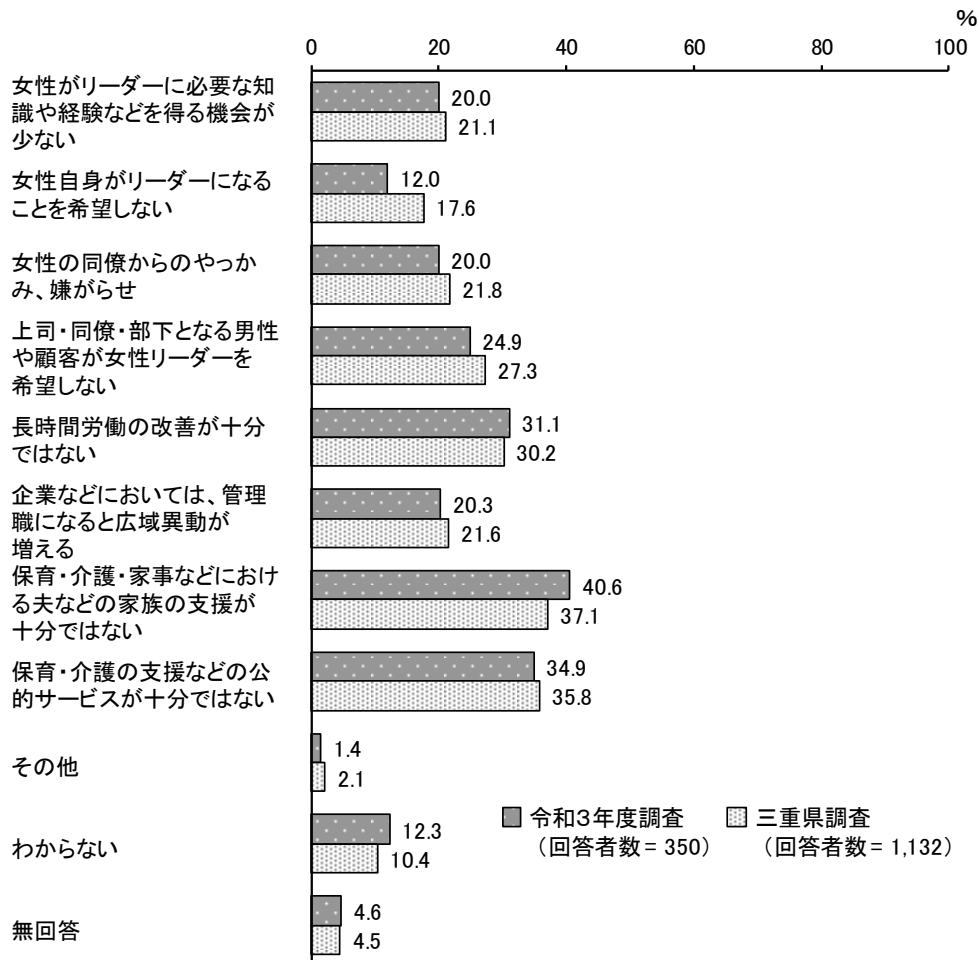
「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではない」の割合が40.6%と最も高く、次いで「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではない」の割合が34.9%、「長時間労働の改善が十分ではない」の割合が31.1%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「女性がリーダーに必要な知識や経験などを得る機会が少くない」「女性自身がリーダーになることを希望しない」「企業などにおいては、管理職になると広域異動が増える」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しない」「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではない」の割合が高くなっています。



【県 比較】

三重県調査と比較すると、「女性自身がリーダーになることを希望しない」の割合が低くなっています。

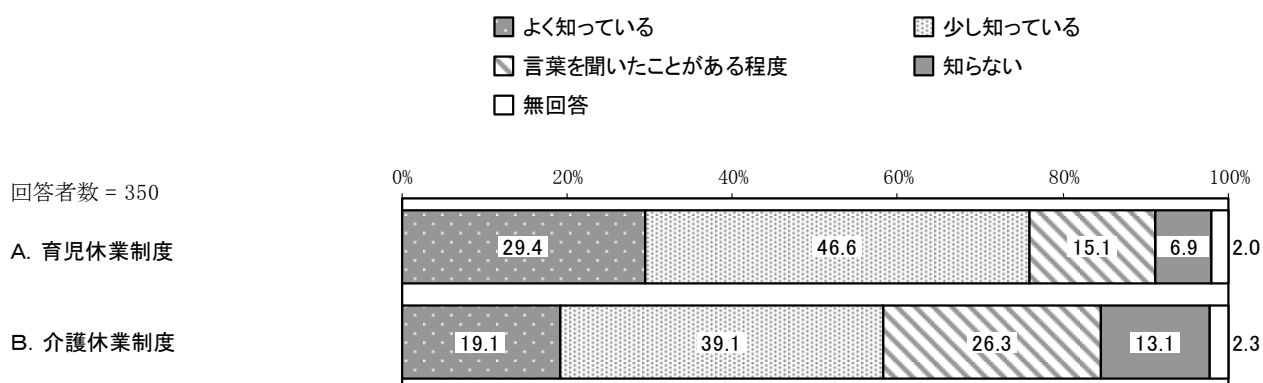


問 13 あなたは、次の制度の内容についてご存知ですか。A、Bのそれぞれの項目について認知状況、取得状況を1つずつ選び○をつけて下さい。(1つに○)

《認知状況》

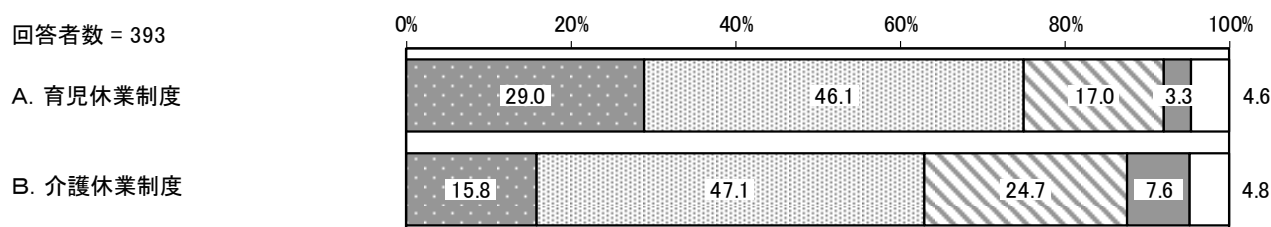
『A. 育児休業制度』では、「よく知っている」と「少し知っている」をあわせた“知っている”の割合が76.0%、「言葉を聞いたことがある程度」の割合が15.1%、「知らない」の割合が6.9%となっています。

『B. 介護休業制度』では、“知っている”の割合が58.2%、「言葉を聞いたことがある程度」の割合が26.3%、「知らない」の割合が13.1%となっています。



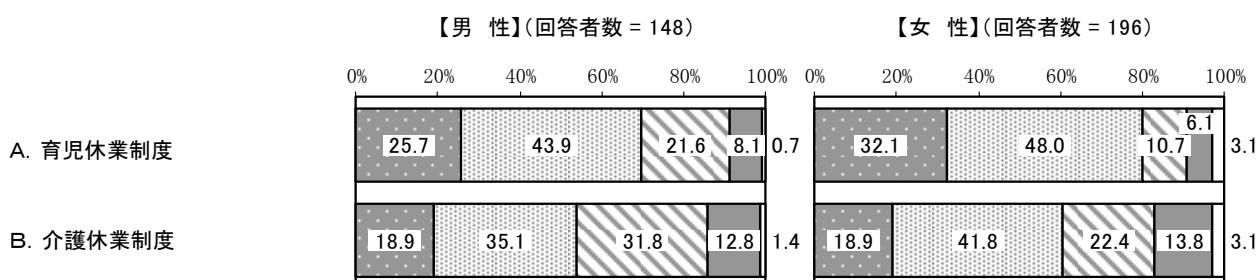
【前回比較】

平成28年度調査と比較すると、『B. 介護休業制度』で「知らない」の割合が増加し、「少し知っている」の割合が減少しています。



【性別】

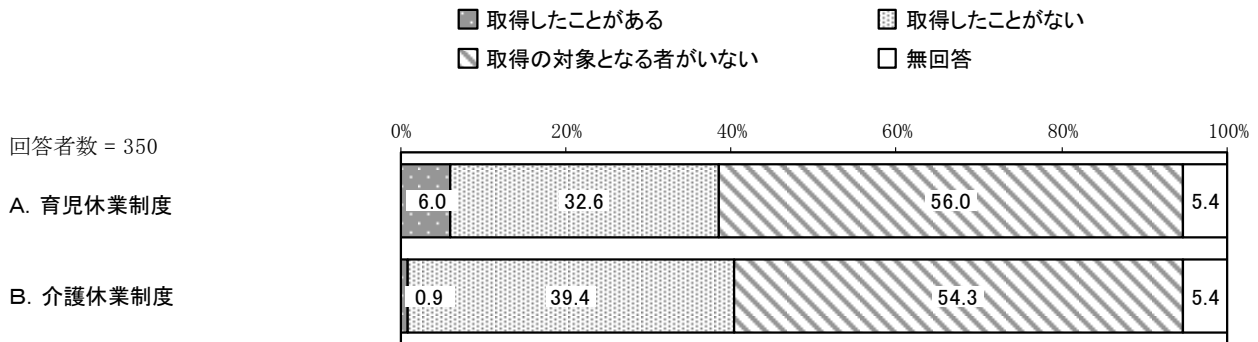
性別でみると、『A. 育児休業制度』『B. 介護休業制度』ともに、男性に比べ、女性で“知っている”の割合が高くなっています。



《取得状況》

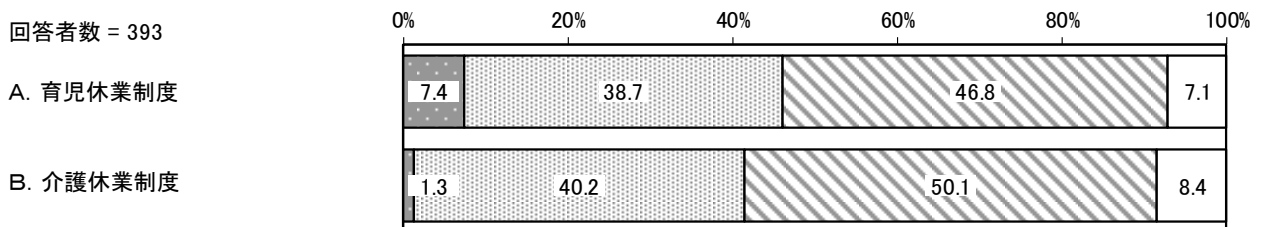
『A. 育児休業制度』では、「取得の対象となる者がいない」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「取得したことがない」の割合が 32.6%となっています。

『B. 介護休業制度』では、「取得の対象となる者がいない」の割合が 54.3%と最も高く、次いで「取得したことがない」の割合が 39.4%となっています。



【前回比較】

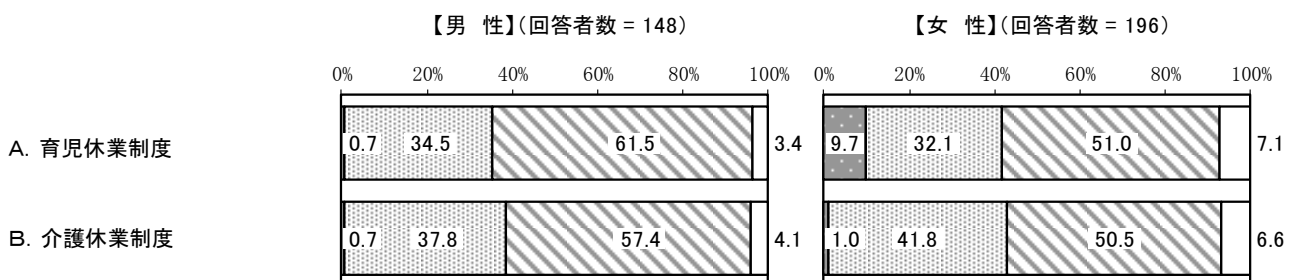
平成 28 年度調査と比較すると、『A. 育児休業制度』で「取得の対象となる者がいない」の割合が増加し、「取得したことがない」の割合が減少しています。



【性別】

性別で見ると、『A. 育児休業制度』では、男性に比べ、女性で「取得したことがある」の割合が高くなっています。

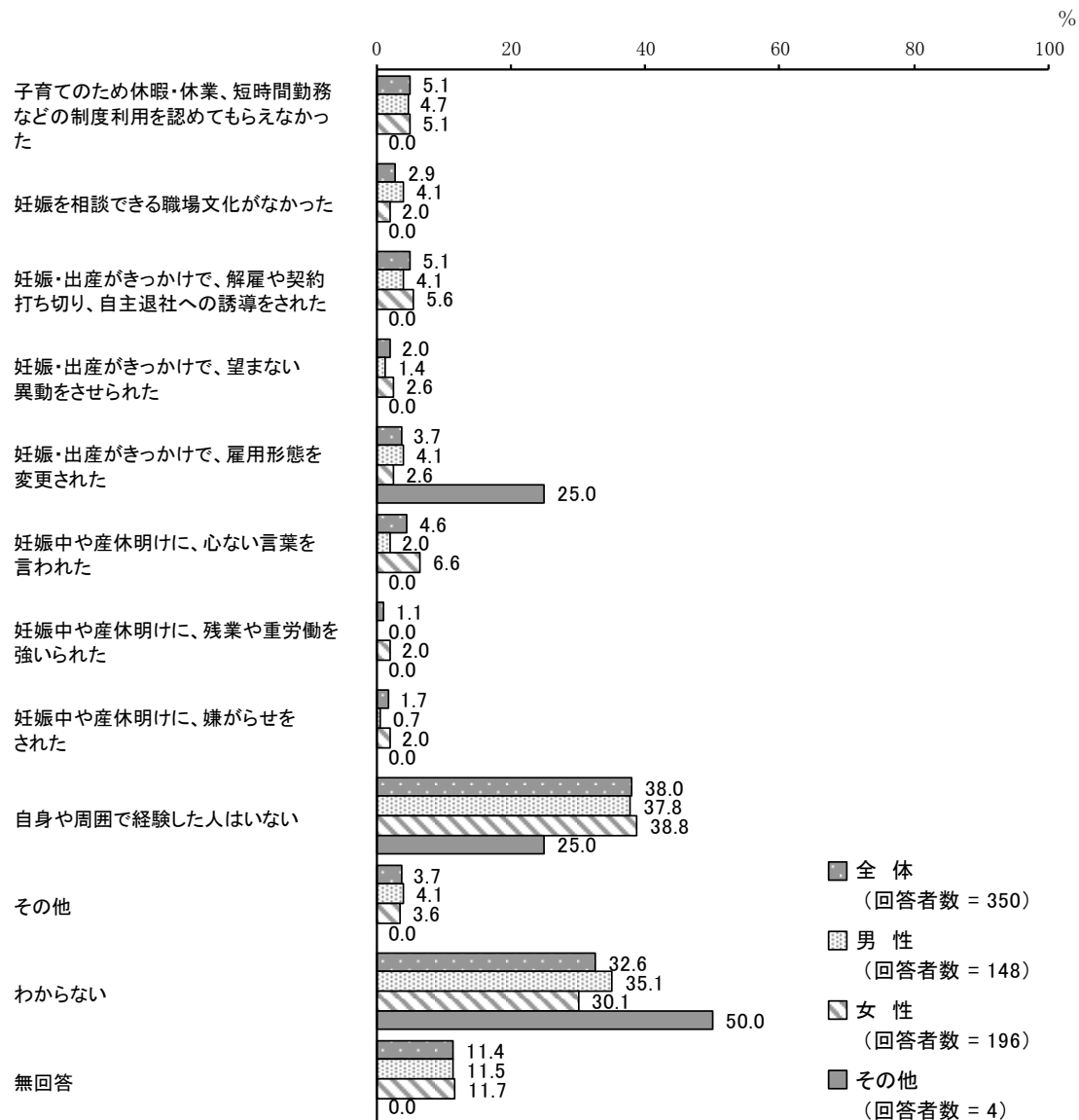
『B. 介護休業制度』では、女性に比べ、男性で「取得の対象となる者がいない」の割合が高くなっています。



問 14 あなた自身やあなたの周囲で、女性が職場において以下のような経験(マタニティ・ハラスメント)をしたことがありますか。(〇はいくつでも)

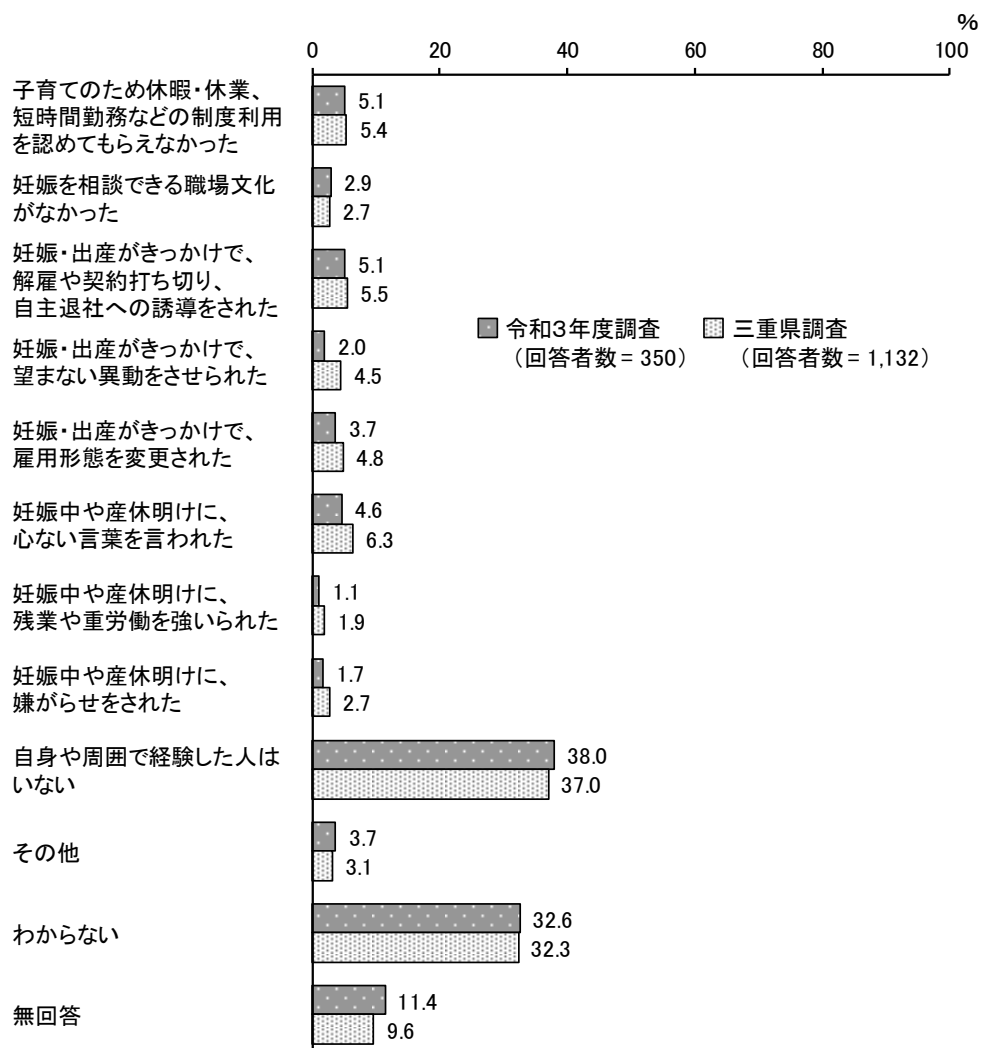
「自身や周囲で経験した人はいない」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 32.6%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。



【県 比較】

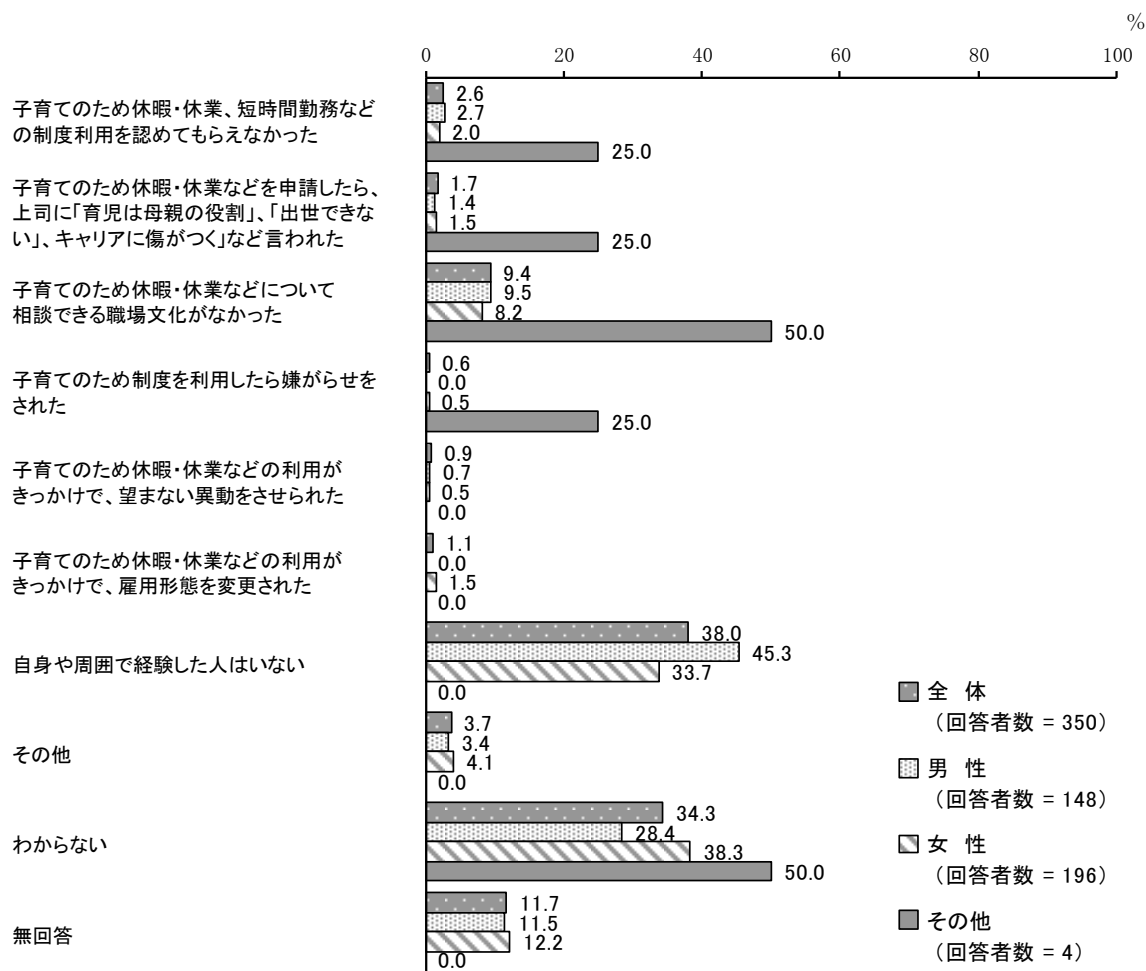
三重県調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



問 15 あなた自身やあなたの周囲で、男性が職場において以下のような経験(パタニティ・ハラスメント)をしたことがありますか。(〇はいくつでも)

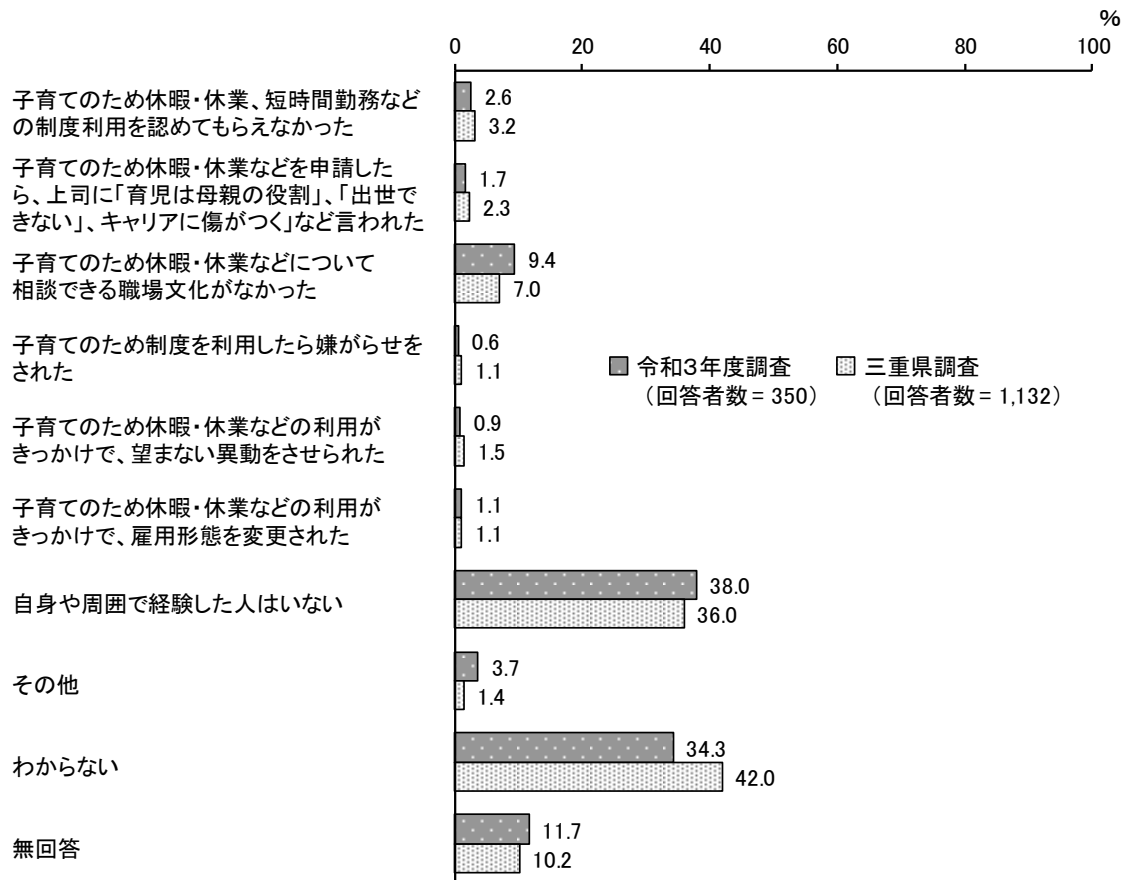
「自身や周囲で経験した人はいない」の割合が38.0%と最も高く、次いで「わからない」の割合が34.3%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「自身や周囲で経験した人はいない」の割合が高くなっています。



【県 比較】

三重県調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。

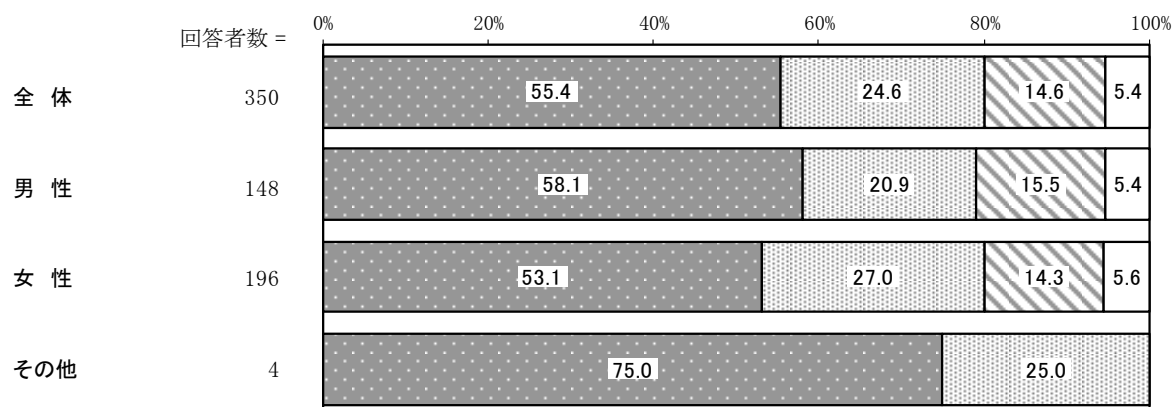


**問 16 もし現在よりも、仕事と子育ての両立がしやすい環境にあるとするならば、
どのようにお考えですか。(1つに○)**

「子どもができて、産前・産後休暇や育児休業等を利用しながらずっと働き続ける方がよい」の割合が55.4%と最も高く、次いで「子どもができたら一旦退職し、子育てが落ち着いたたら再び働く方がよい」の割合が24.6%、「わからない」の割合が14.6%となっています。

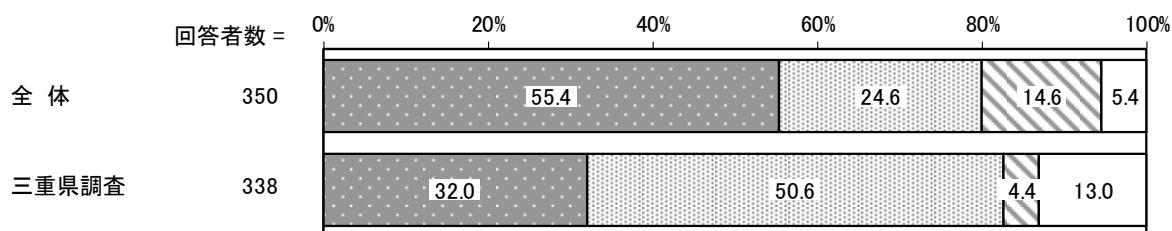
性別でみると、女性に比べ、男性で「子どもができて、産前・産後休暇や育児休業等を利用しながらずっと働き続ける方がよい」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「子どもができたら一旦退職し、子育てが落ち着いたたら再び働く方がよい」の割合が高くなっています。

- 子どもができて、産前・産後休暇や育児休業等を利用しながらずっと働き続ける方がよい
- ▨ 子どもができたら一旦退職し、子育てが落ち着いたたら再び働く方がよい
- ▧ わからない
- 無回答



【県 比較】

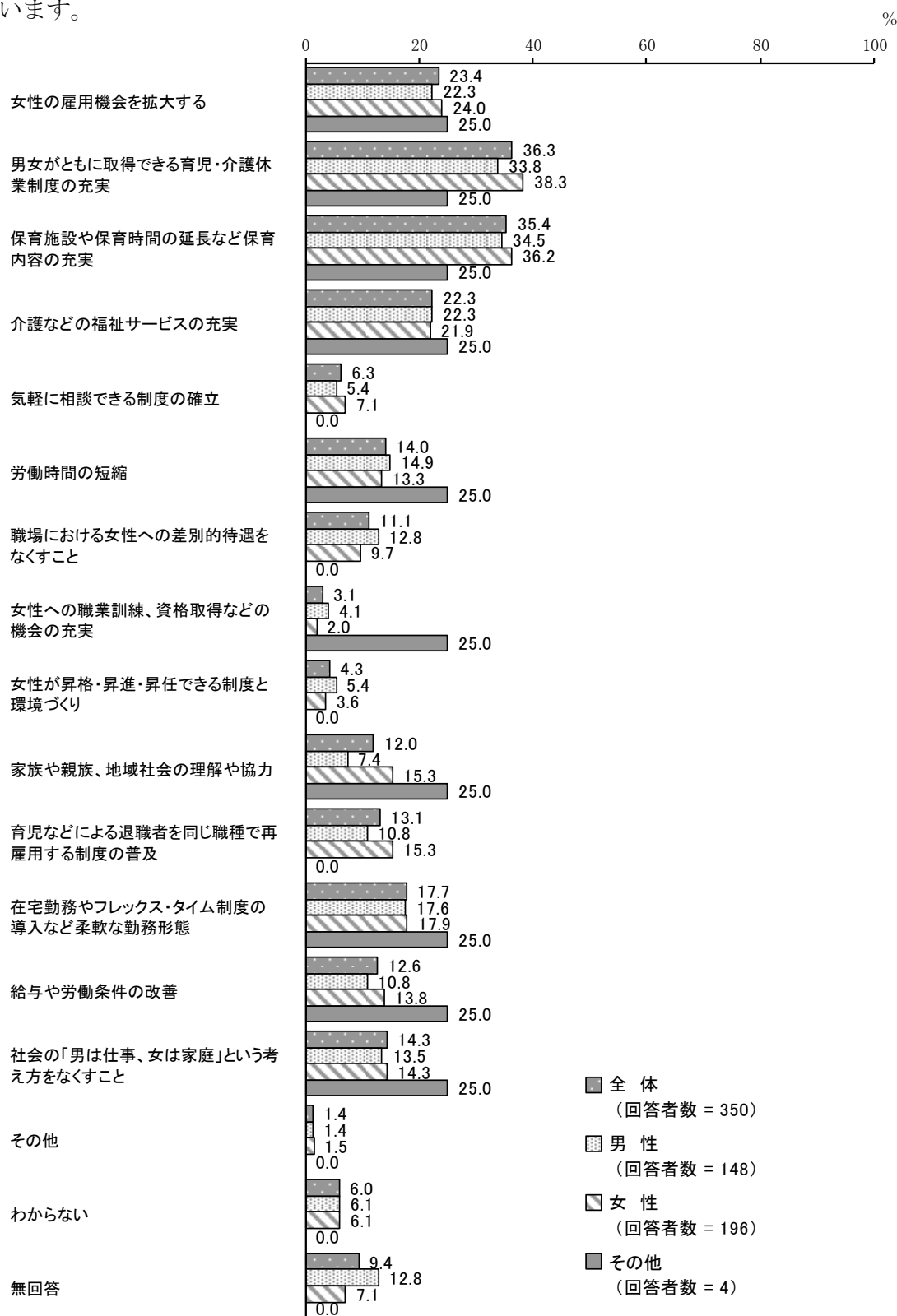
三重県調査と比較すると、「子どもができて、産前・産後休暇や育児休業等を利用しながらずっと働き続ける方がよい」の割合が高く、「子どもができたら一旦退職し、子育てが落ち着いたたら再び働く方がよい」の割合が低くなっています。



問 17 女性が働き続けるために、今後どのようなことが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

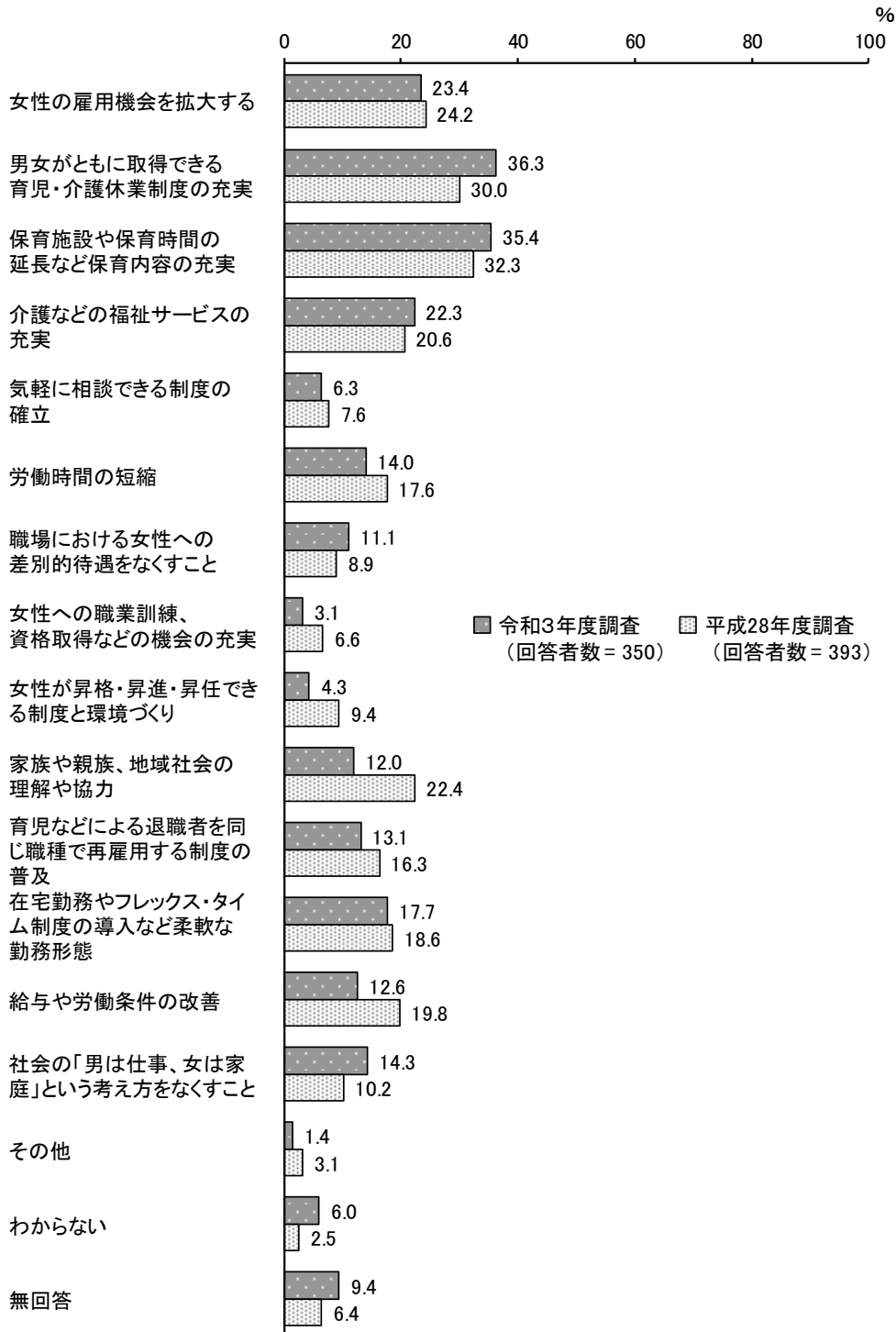
「男女がともに取得できる育児・介護休業制度の充実」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「保育施設や保育時間の延長など保育内容の充実」の割合が 35.4%、「女性の雇用機会を拡大する」の割合が 23.4%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「家族や親族、地域社会の理解や協力」の割合が高くなっています。



【前回比較】

平成28年度調査と比較すると、「男女がともに取得できる育児・介護休業制度の充実」の割合が増加し、「女性が昇格・昇進・昇任できる制度と環境づくり」「家族や親族、地域社会の理解や協力」「給与や労働条件の改善」の割合が減少しています。

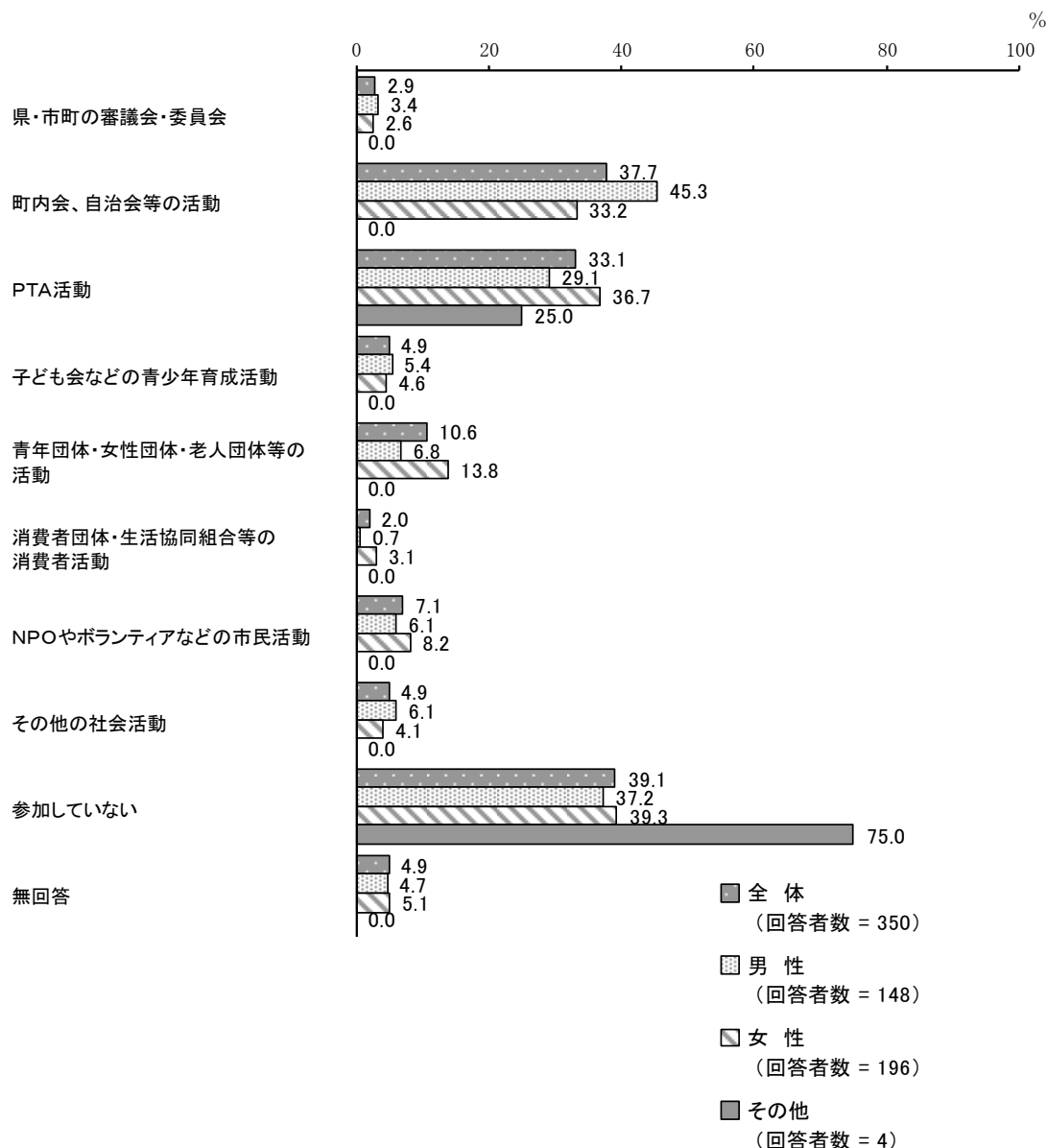


5 社会活動などについて

問 18 あなたは次のような活動をしていますか。または、活動していた経験はありますか。(あてはまるものすべてに○)

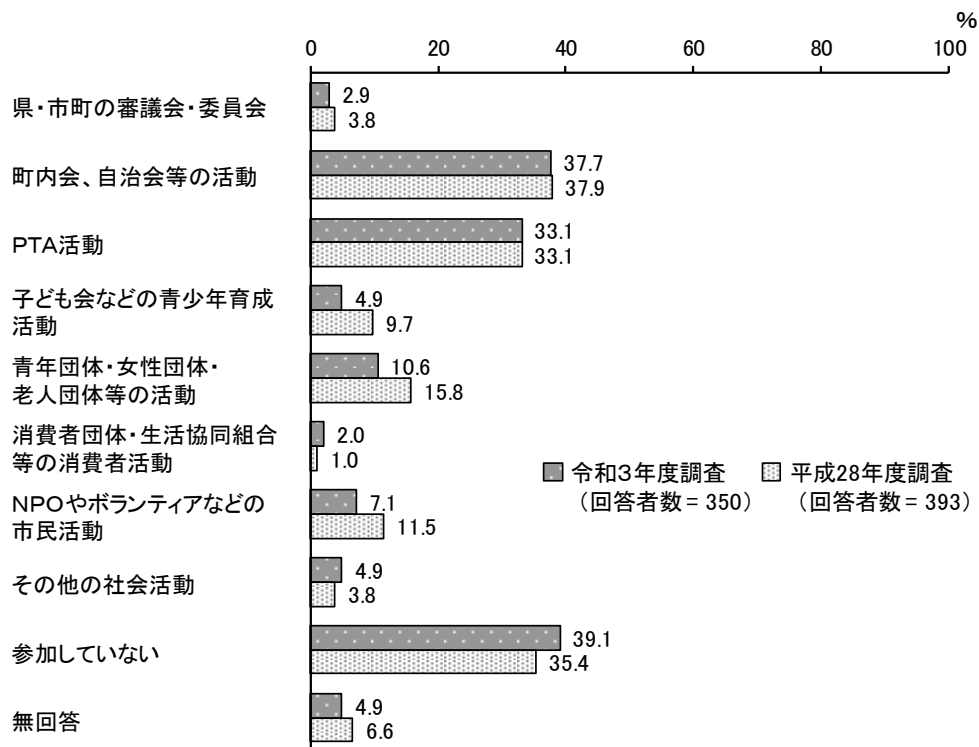
「参加していない」の割合が39.1%と最も高く、次いで「町内会、自治会等の活動」の割合が37.7%、「PTA活動」の割合が33.1%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「町内会、自治会等の活動」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「PTA活動」「青年団体・女性団体・老人団体等の活動」の割合が高くなっています。



【前回比較】

平成28年度調査と比較すると、「青年団体・女性団体・老人団体等の活動」の割合が減少しています。

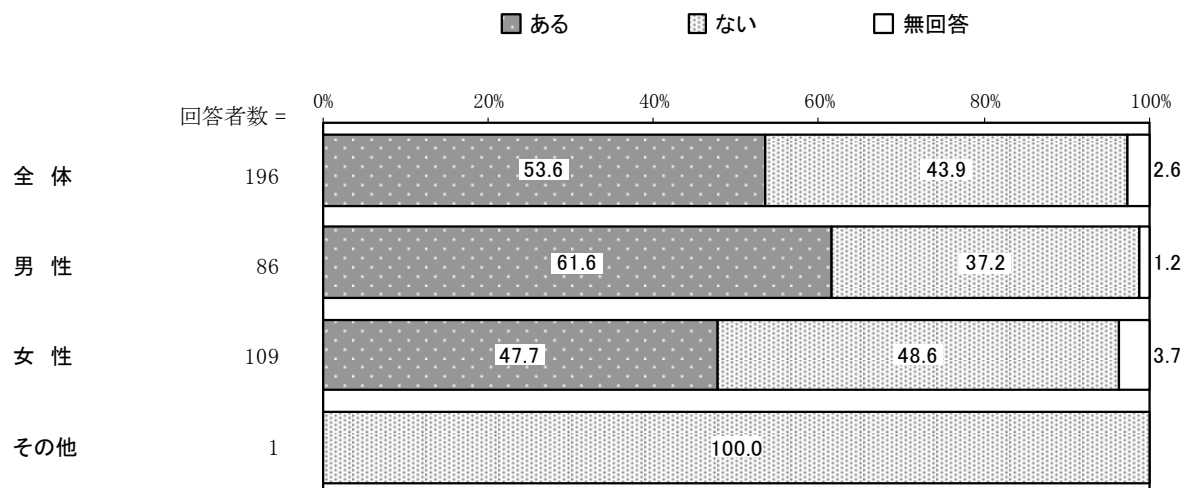


問 18-1 は、問 18 で「県・市町の審議会・委員会」～「その他の社会活動」と回答された方にお聞きします。

問 18-1 あなたはその活動において役員・役職などに就いたことはありますか。
(1つに○)

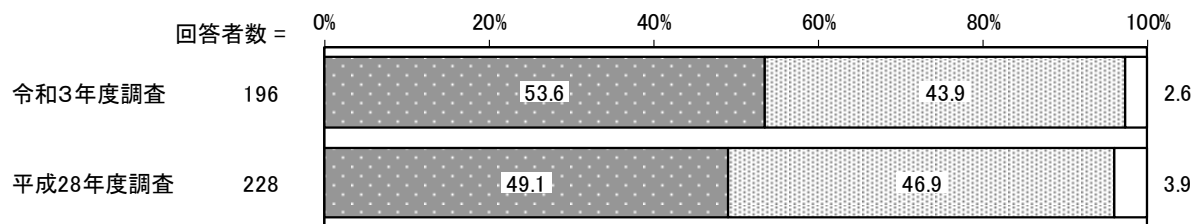
「ある」の割合が 53.6%、「ない」の割合が 43.9%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「ある」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「ない」の割合が高くなっています。



【前回比較】

平成 28 年度調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。

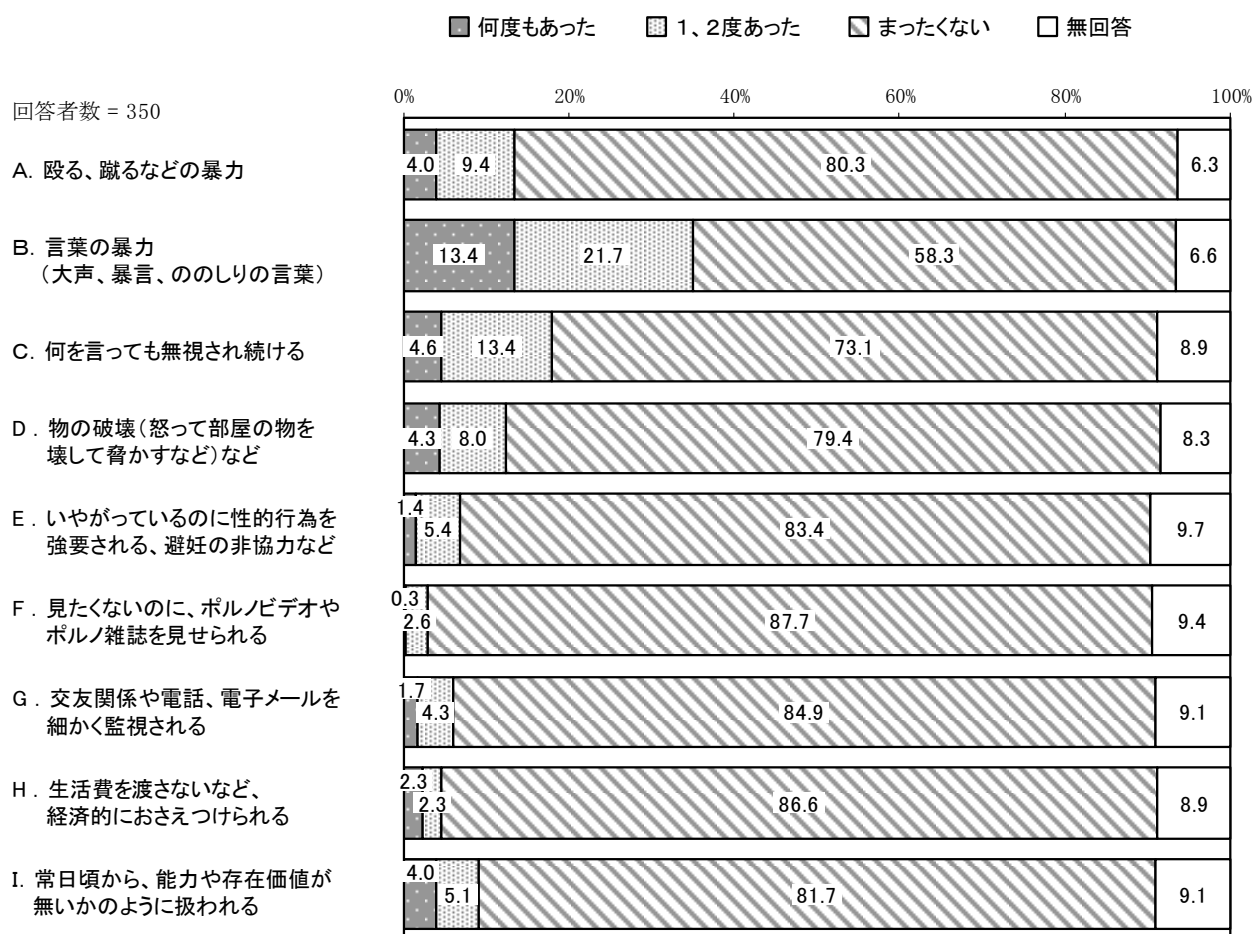


6 DVなどの暴力について

問 19 あなたはこれまでに、配偶者や恋人から次のA～Iのようなことをされた経験がありますか。(それぞれ1つに○)

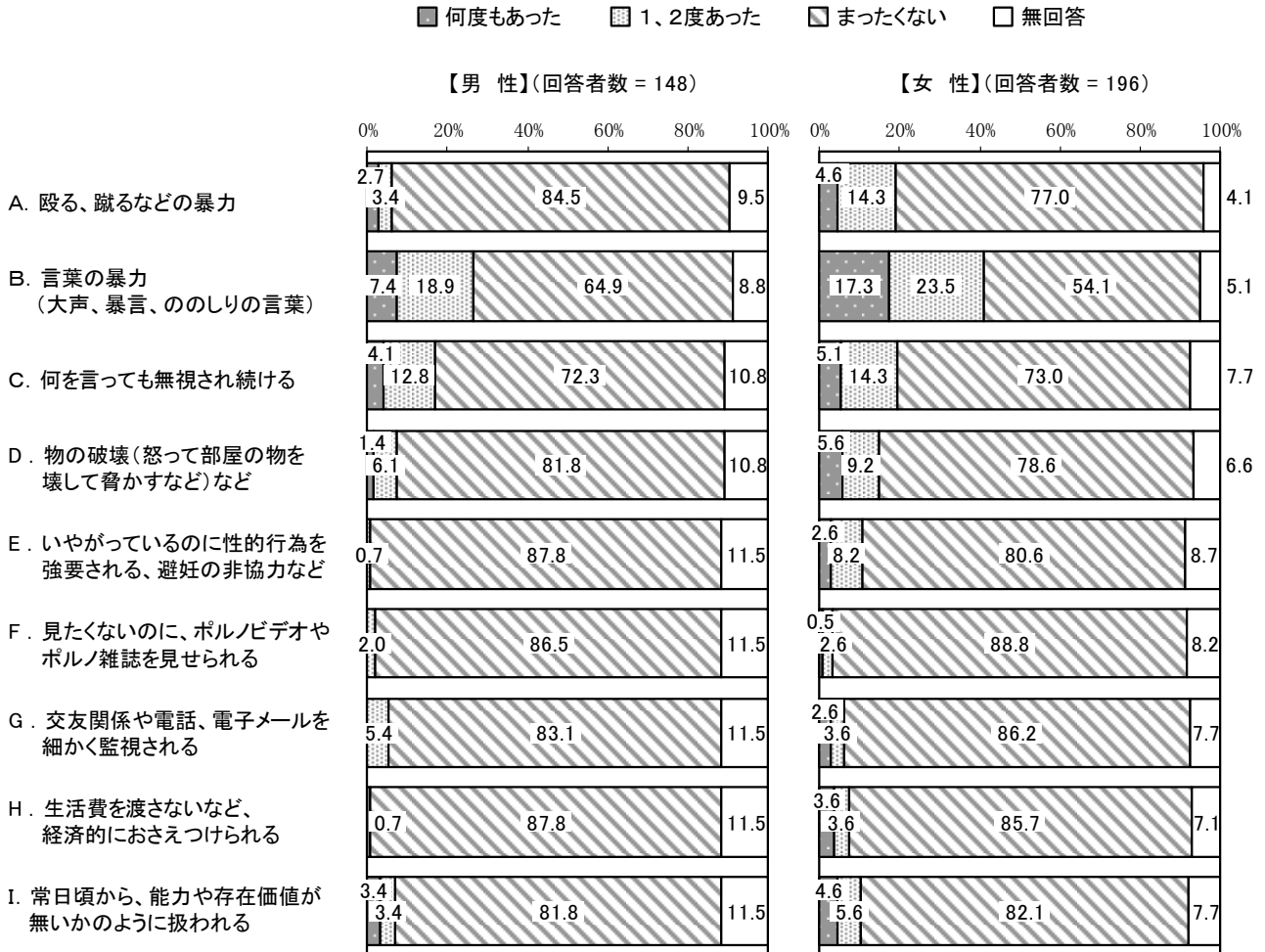
『F. 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる』で「まったくない」の割合が高く、約9割となっています。

一方、『B. 言葉の暴力(大声、暴言、ののしりの言葉)』で「何度もあった」「1、2度あった」の割合が高く、両者をあわせた“経験がある”の割合が3割半ばとなっています。また、『C. 何を言っても無視され続ける』で“経験がある”の割合が約2割となっています。



【性別】

性別でみると、『B. 言葉の暴力（大声、暴言、ののしりの言葉）』では、男性に比べ、女性で「何度もあった」の割合が高く、約2割となっています。また、『A. 殴る、蹴るなどの暴力』でも、女性で「1、2度あった」の割合が高く、1割半ばとなっています。

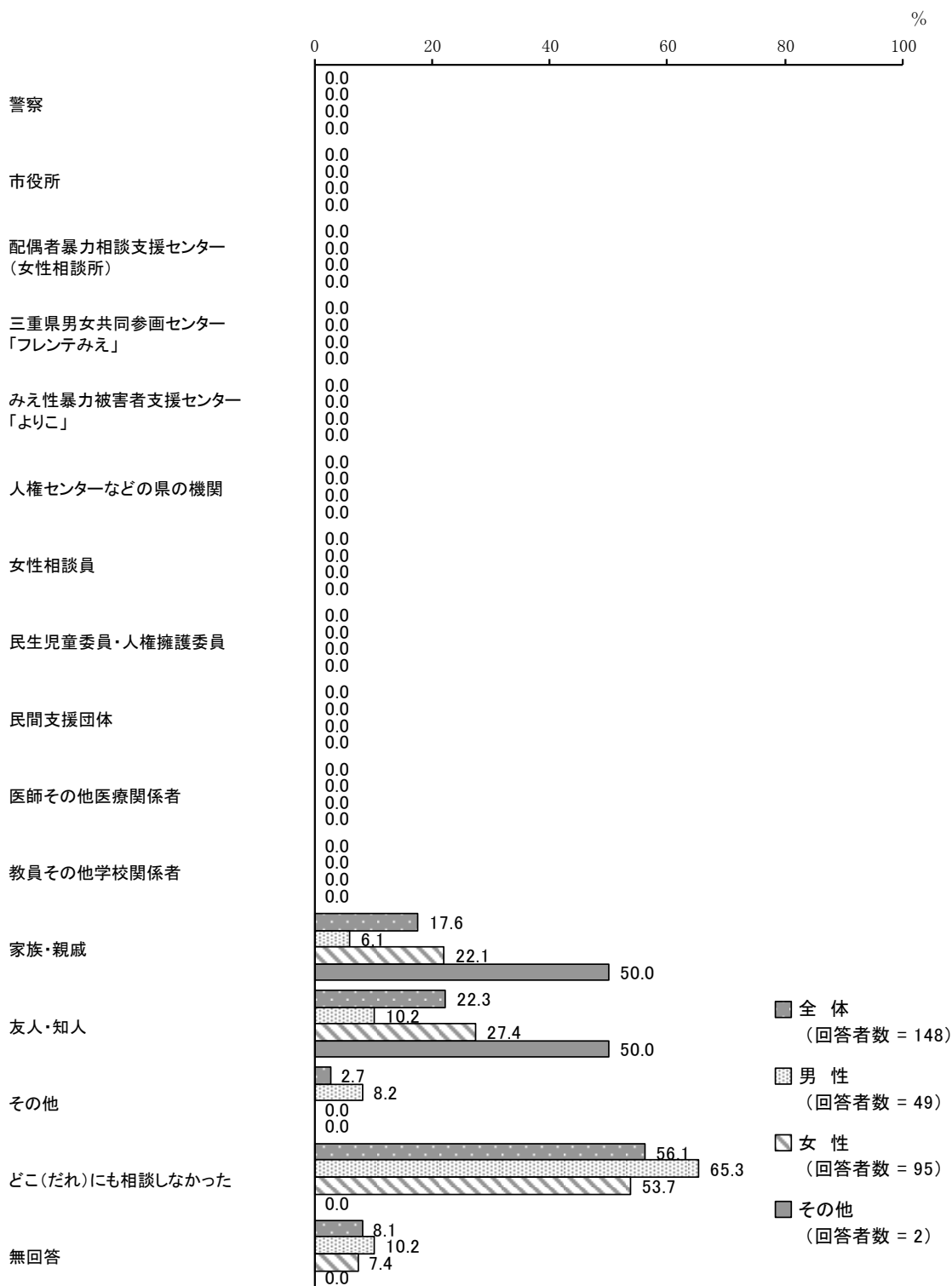


問19-1は、問19のA～Iのうち、「何度もあった」「1、2度あった」にひとつでも○をつけた方にお聞きします。

問19-1 あなたはこれまでに、問19であげたような配偶者や恋人からの行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。
(あてはまるものすべてに○)

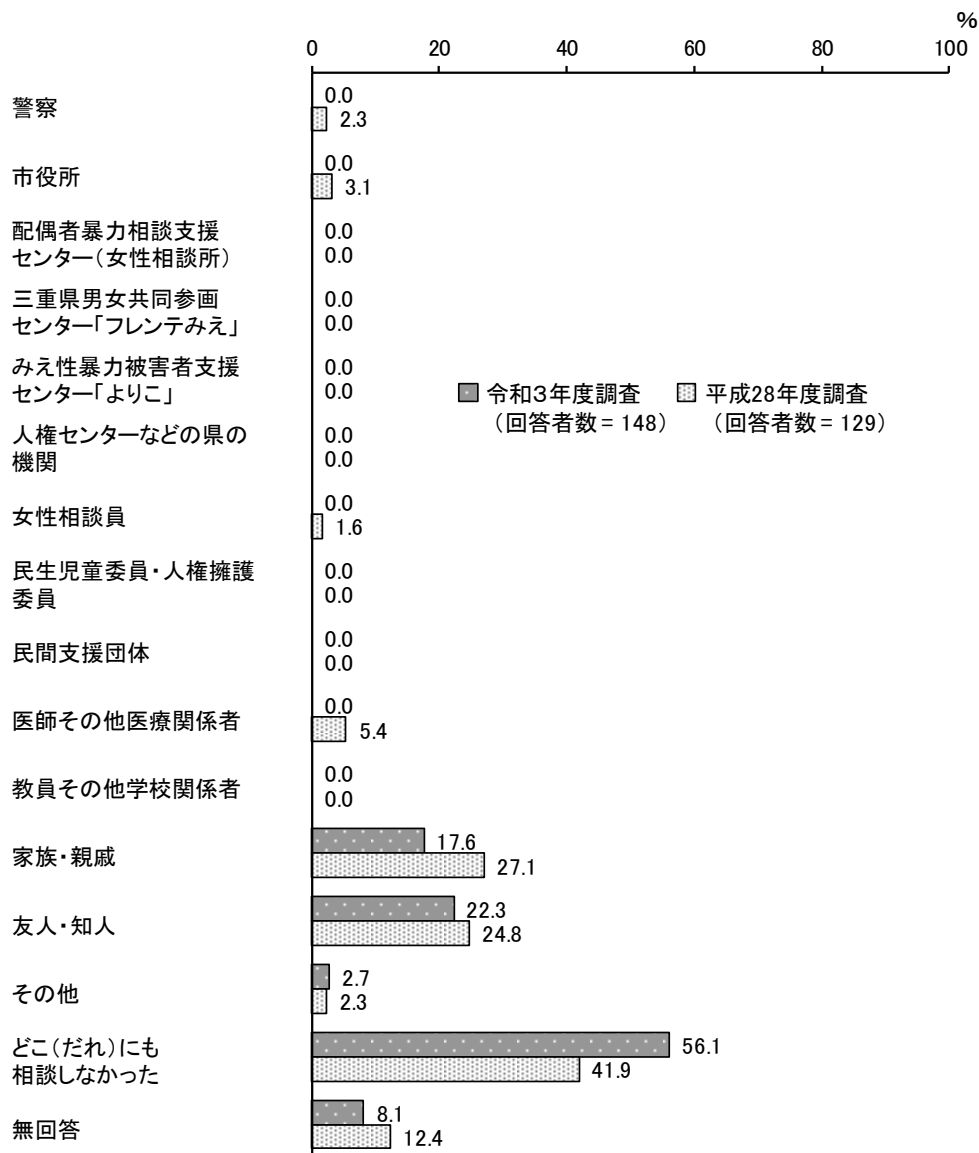
「どこ(だれ)にも相談しなかった」の割合が56.1%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が22.3%、「家族・親戚」の割合が17.6%となっています。

性別で見ると、女性に比べ、男性で「どこ(だれ)にも相談しなかった」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「家族・親戚」「友人・知人」の割合が高くなっています。



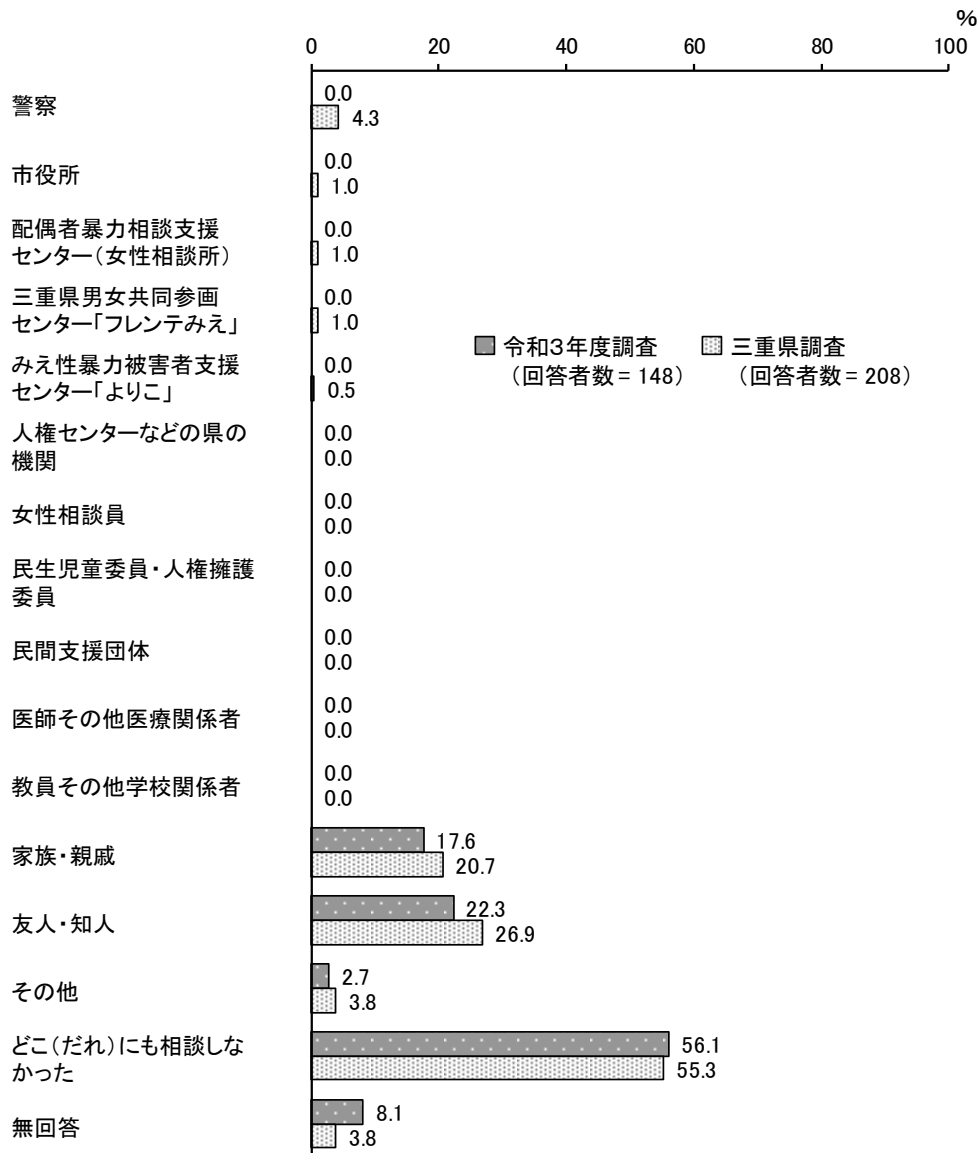
【前回比較】

平成28年度調査と比較すると、「どこ（だれ）にも相談しなかった」の割合が増加し、「家族・親戚」の割合が減少しています。



【県 比較】

三重県調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。

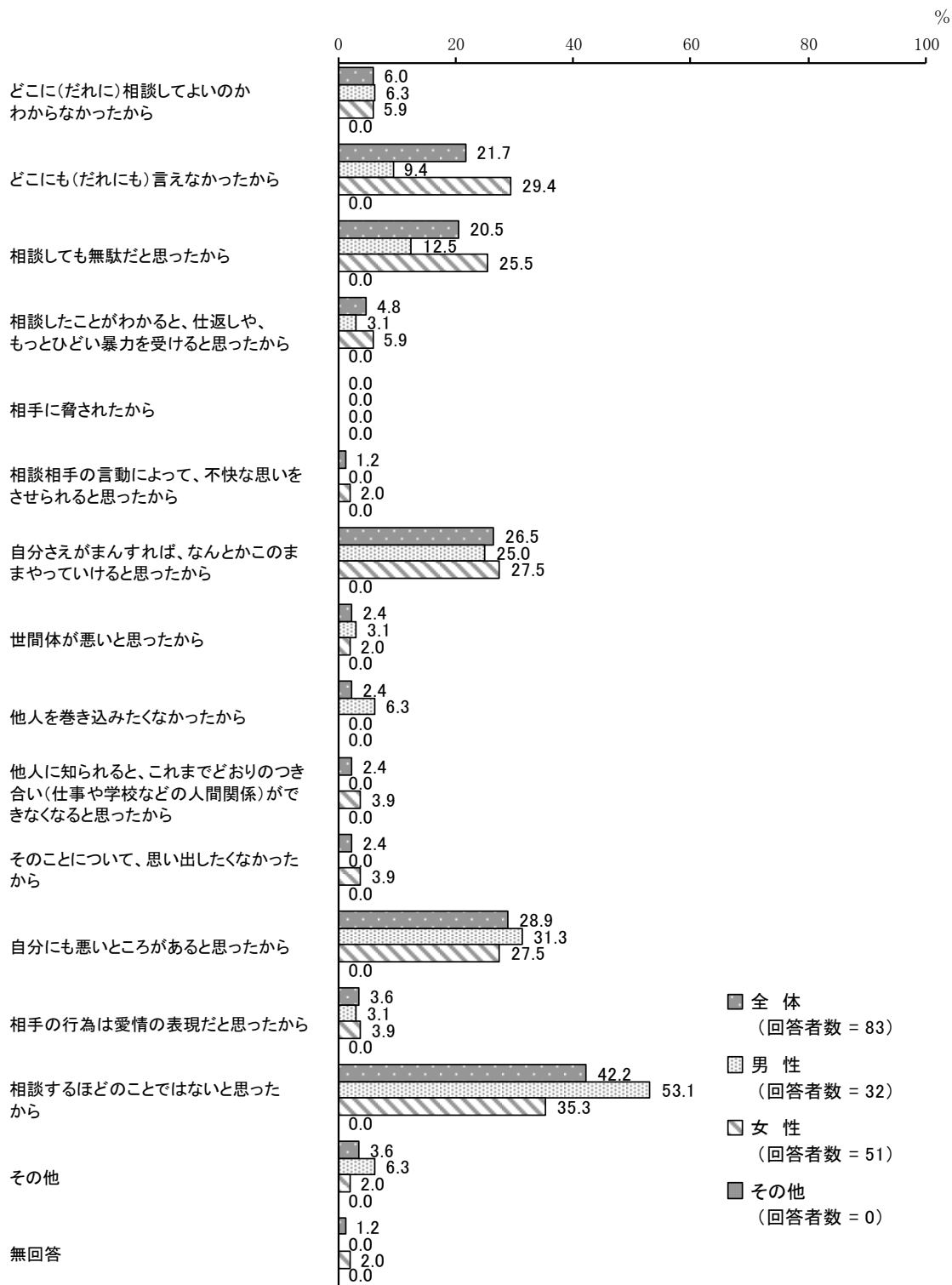


問 19-2 は、問 19-1 で「どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答された方にお聞きします。

問 19-2 相談しなかったのは、どのような理由からですか。（〇はいくつでも）

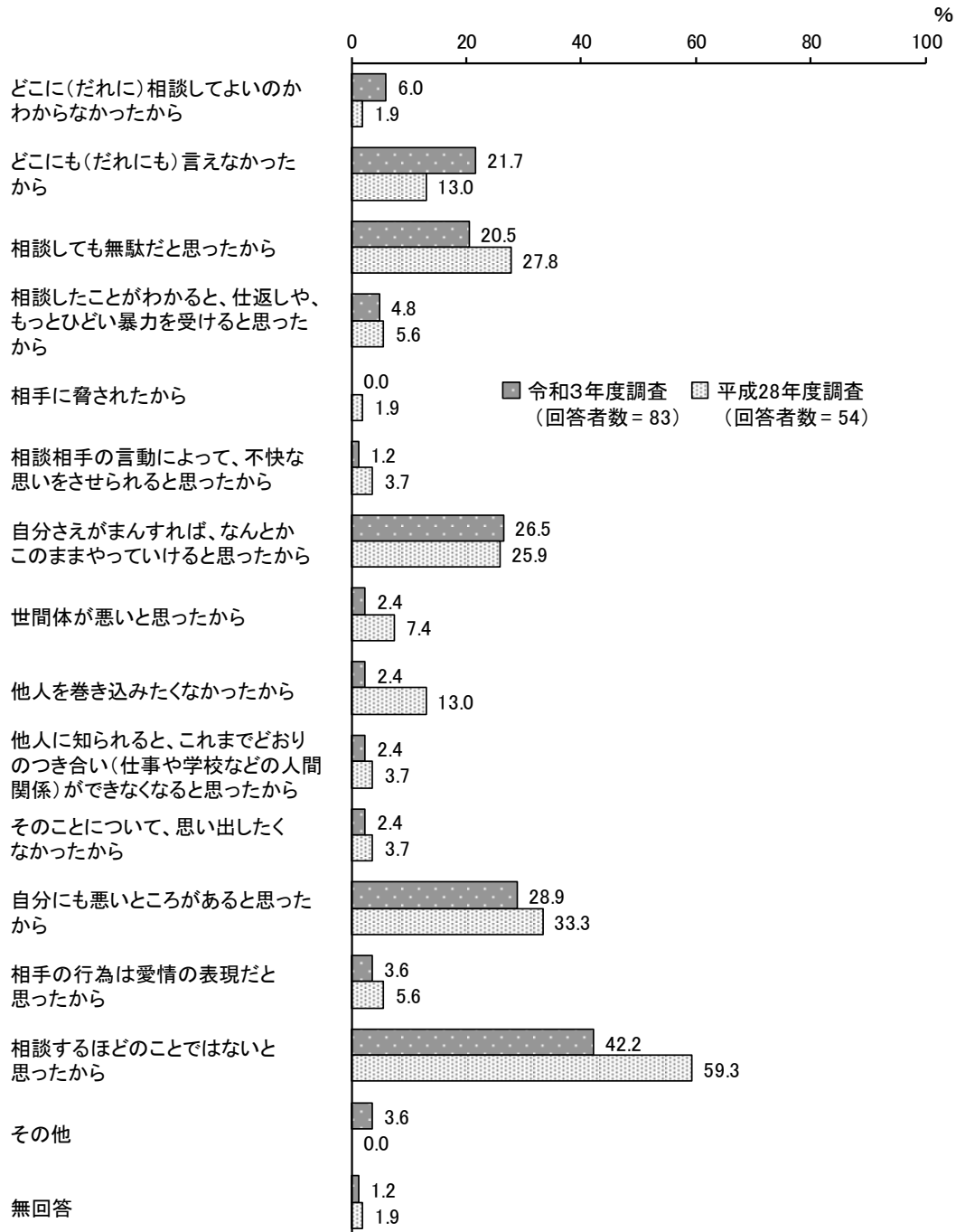
「相談するほどのことではないと思ったから」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」の割合が 28.9%、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけるといったから」の割合が 26.5%となっています。

性別で見ると、女性に比べ、男性で「他人を巻き込みたくなかったから」「相談するほどのことではないと思ったから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「どこにも（だれにも）言えなかったから」「相談しても無駄だと思ったから」の割合が高くなっています。



【前回比較】

平成 28 年度調査と比較すると、「どこにも（だれにも）言えなかったから」の割合が増加し、「相談しても無駄だと思ったから」「他人を巻き込みたくなかったから」「相談するほどのことではないと思ったから」の割合が減少してます。

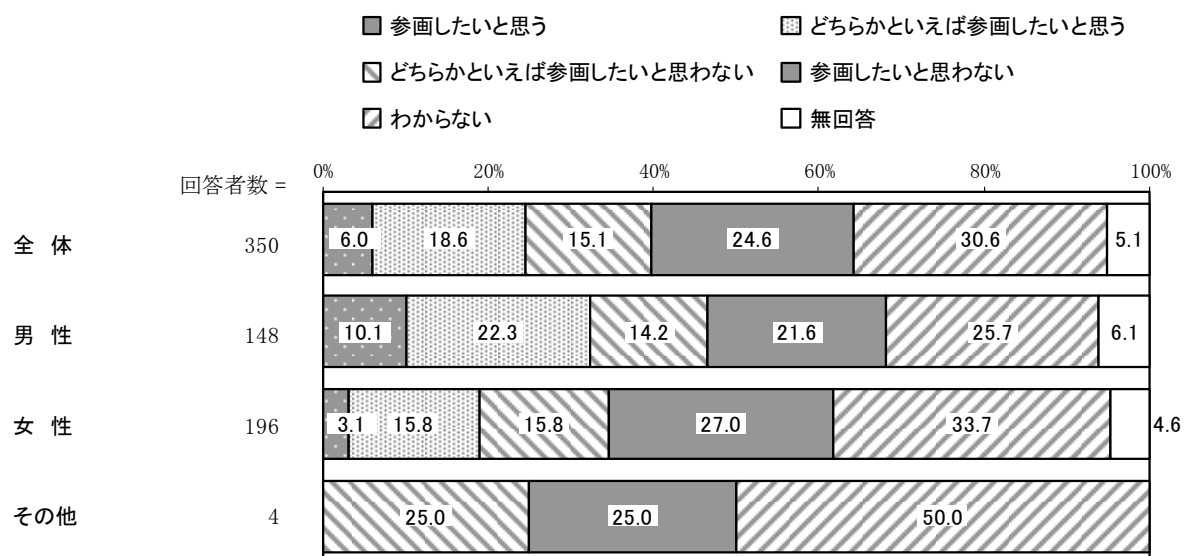


7 男女共同参画社会について

問 20 あなたは、地域・職場などにおける企画や方針決定の場へ参画したいと思いますか。(1つに○)

「参画したいと思う」と「どちらかといえば参画したいと思う」をあわせた“参画したいと思う”の割合が24.6%、「どちらかといえば参画したいと思わない」と「参画したいと思わない」をあわせた“参画したいと思わない”の割合が39.7%となっています。

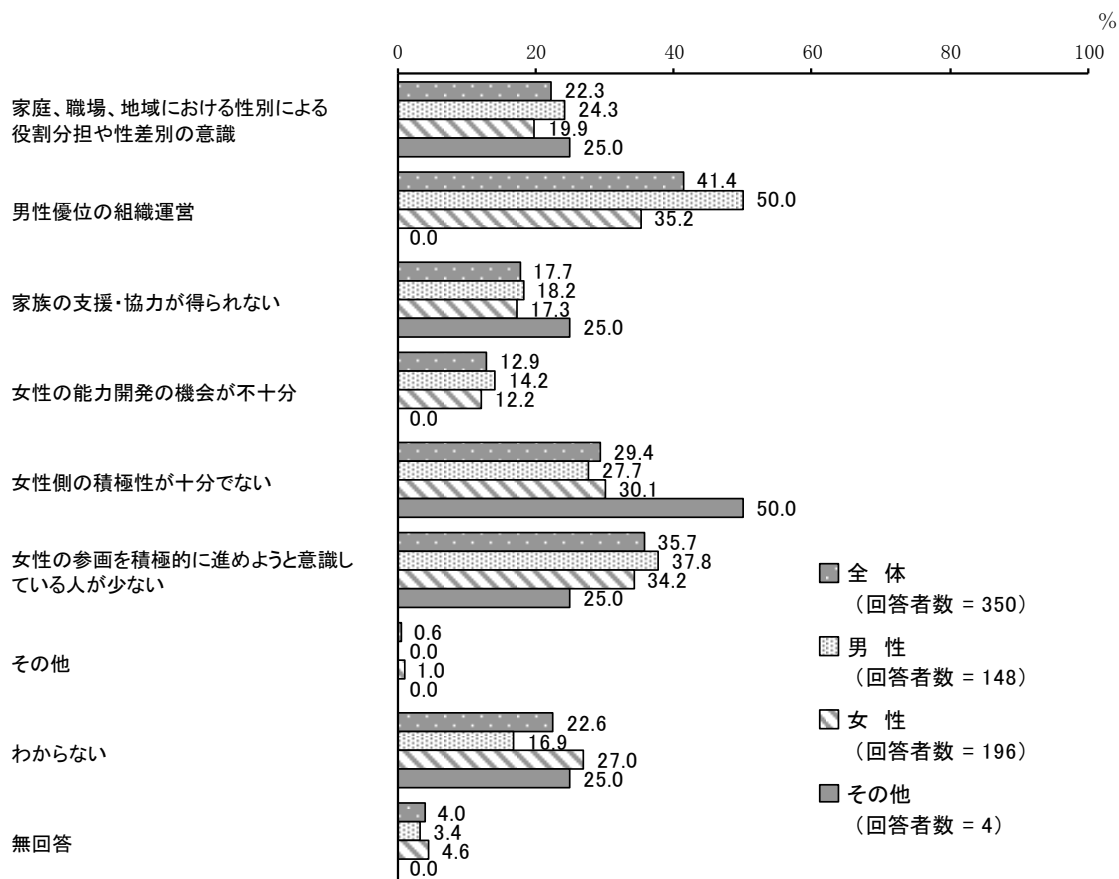
性別で見ると、女性に比べ、男性で“参画したいと思う”の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で“参画したいと思わない”の割合が高くなっています。



問 21 あなたは、地域・職場において、企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

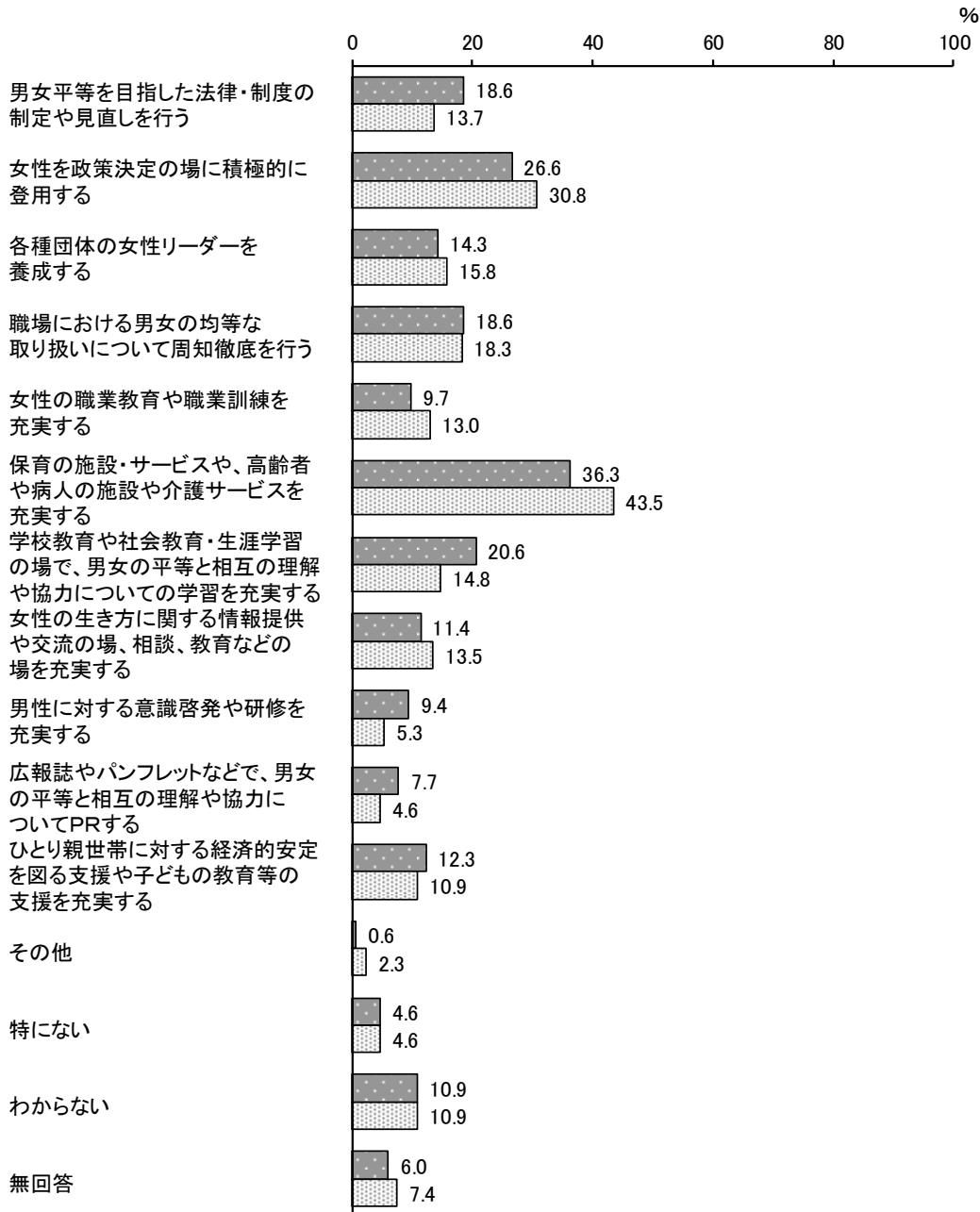
「男性優位の組織運営」の割合が41.4%と最も高く、次いで「女性の参画を積極的に進めよう」と意識している人が少ない」の割合が35.7%、「女性側の積極性が十分でない」の割合が29.4%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「男性優位の組織運営」の割合が高くなっています。



【前回比較】

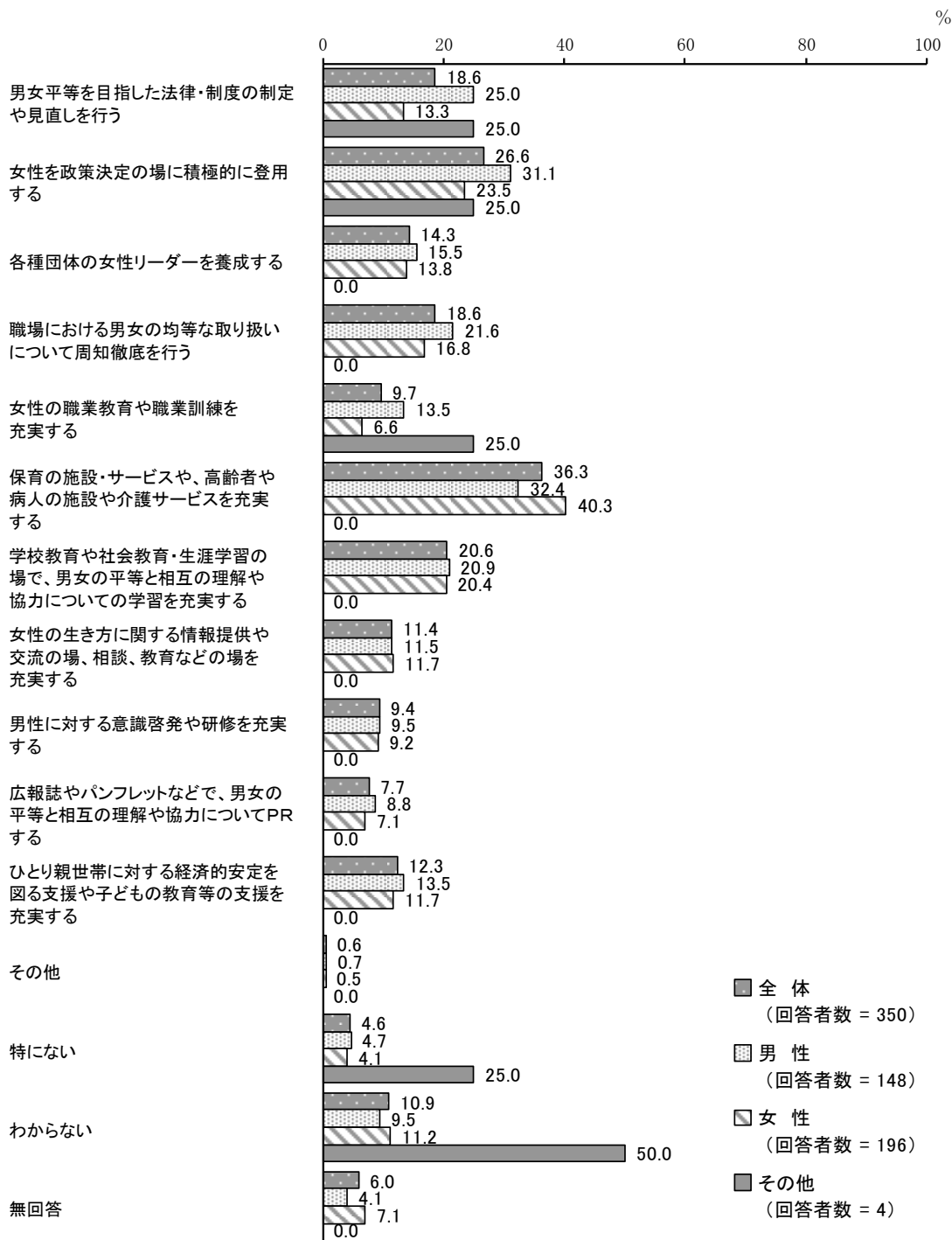
平成 28 年度調査と比較すると、「学校教育や社会教育・生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」の割合が増加し、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」の割合が減少しています。



問 22 あなたは、男女共同参画を推進するために、今後、志摩市はどのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(〇は3つまで)

「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」の割合が 36.3%と最も高く、次いで「女性を政策決定の場に積極的に登用する」の割合が 26.6%、「学校教育や社会教育・生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」の割合が 20.6%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う」「女性を政策決定の場に積極的に登用する」「女性の職業教育や職業訓練を充実する」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」の割合が高くなっています。

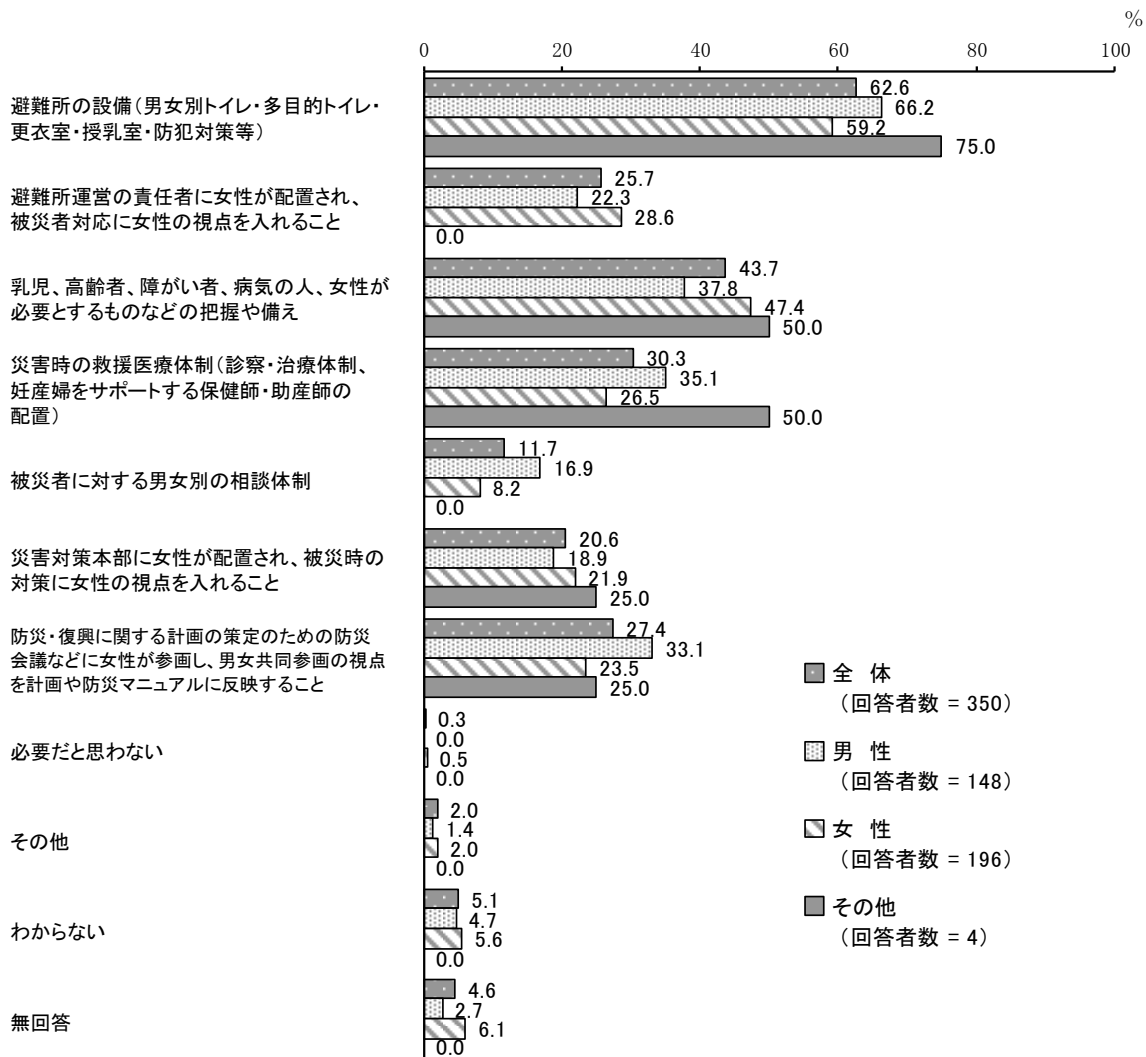


8 防災・災害復興対策について

問 23 防災・災害復興対策で、特に取り組む必要があると思うのはどれですか。
(○は3つまで)

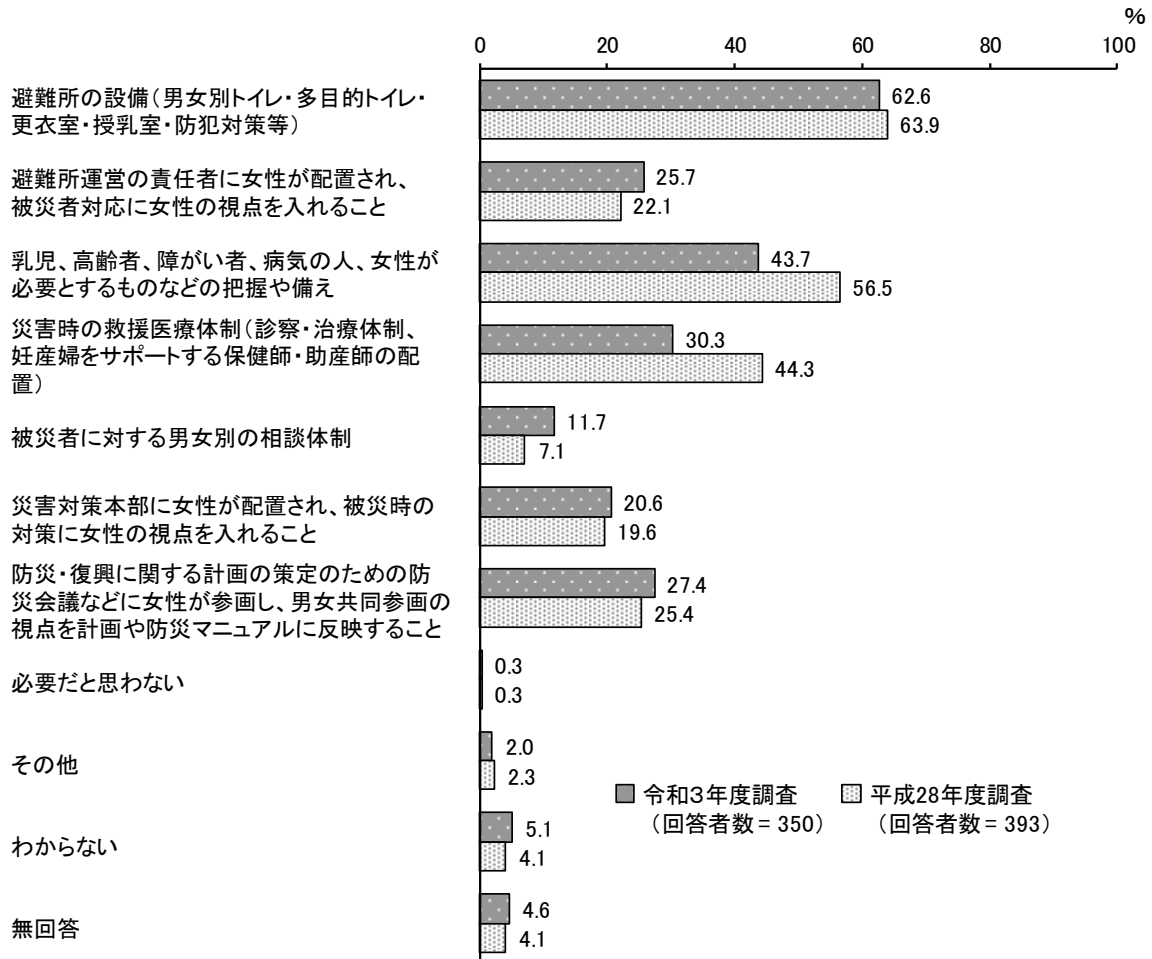
「避難所の設備（男女別トイレ・多目的トイレ・更衣室・授乳室・防犯対策等）」の割合が 62.6%と最も高く、次いで「乳児、高齢者、障がい者、病気の人、女性が必要とするものなどの把握や備え」の割合が 43.7%、「災害時の救援医療体制（診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）」の割合が 30.3%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「避難所の設備（男女別トイレ・多目的トイレ・更衣室・授乳室・防犯対策等）」「災害時の救援医療体制（診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）」「被災者に対する男女別の相談体制」「防災・復興に関する計画の策定のための防災会議などに女性が参画し、男女共同参画の視点を計画や防災マニュアルに反映すること」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対応に女性の視点を入れること」「乳児、高齢者、障がい者、病気の人、女性が必要とするものなどの把握や備え」の割合が高くなっています。



【前回比較】

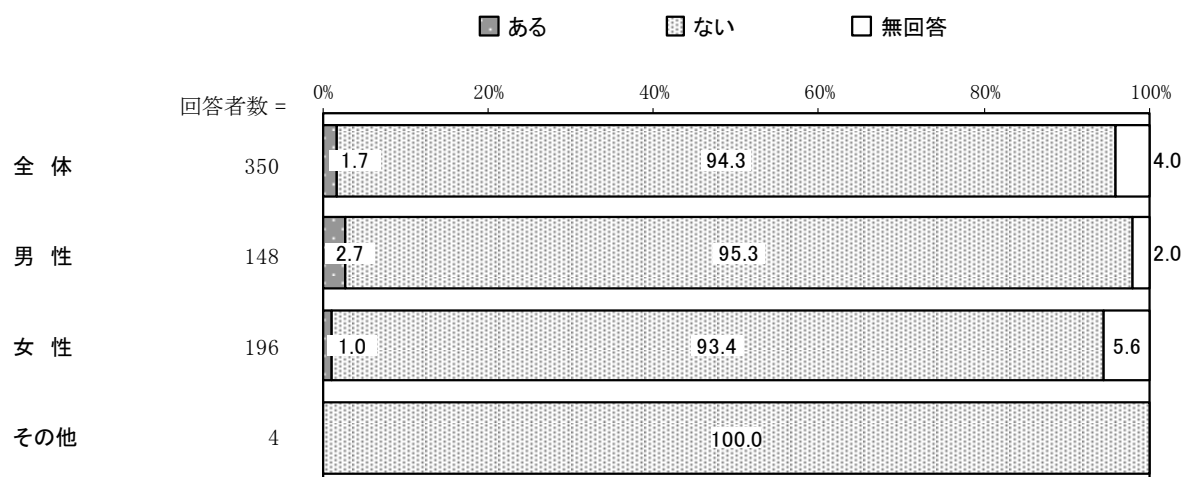
平成 28 年度調査と比較すると、「乳児、高齢者、障がい者、病気の人、女性が必要とするものなどの把握や備え」「災害時の救援医療体制（診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）」の割合が減少しています。



9 性のあり方の多様性について

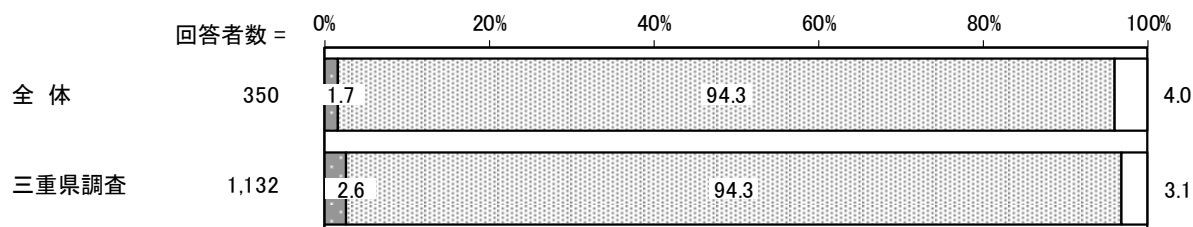
問 24 あなたは、今まで自分の性別に悩んだことはありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が1.7%、「ない」の割合が94.3%となっています。
性別でみると、大きな差異はみられません。



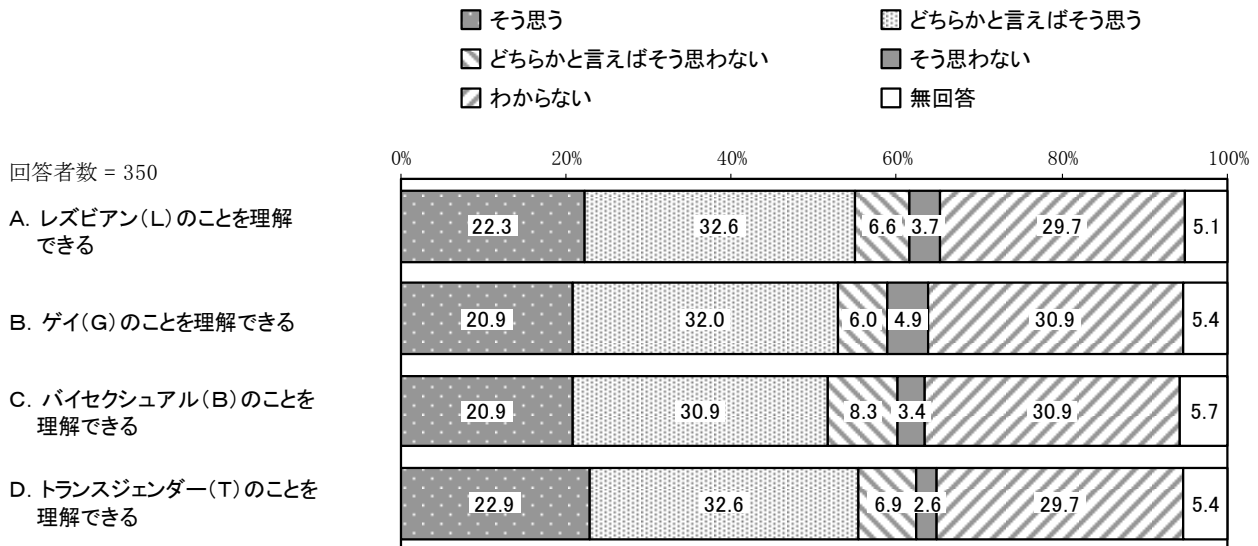
【県 比較】

三重県調査と比較すると、大きな差異はみられませんでした。



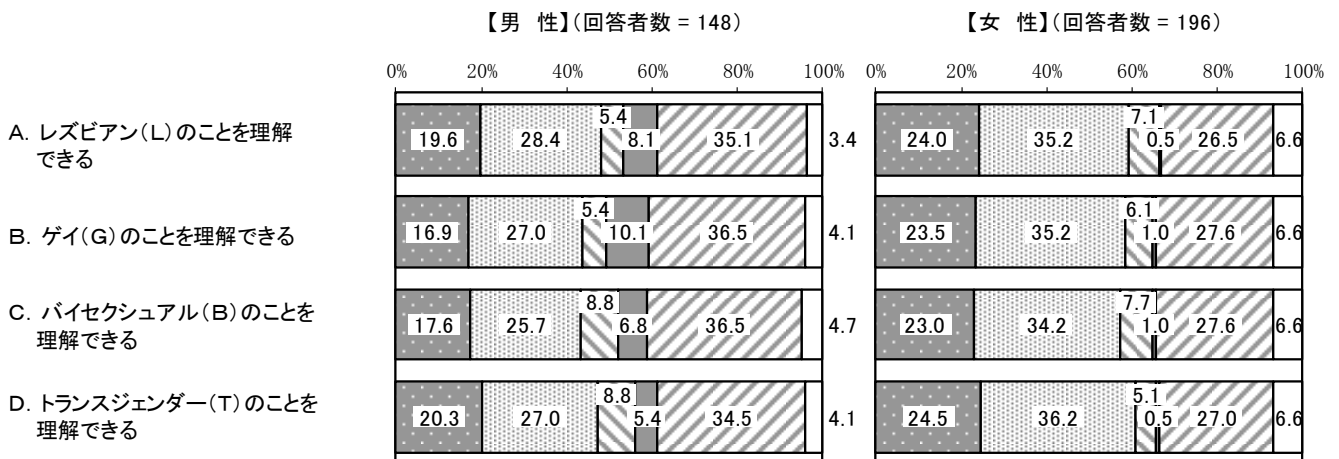
問 25 身近な人(家族、友人、知人)などから、LGBTなどの性的マイノリティ（少数者）であると打ち明けられた場合、理解できる（受け入れられる、今までどおり接するなど）と思いますか。（それぞれ1つに○）

すべての項目で「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が5割台、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が約1割となっています。



【性別】

性別でみると、すべての項目で、男性に比べ、女性で“そう思う”の割合が高く、女性に比べ、男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。

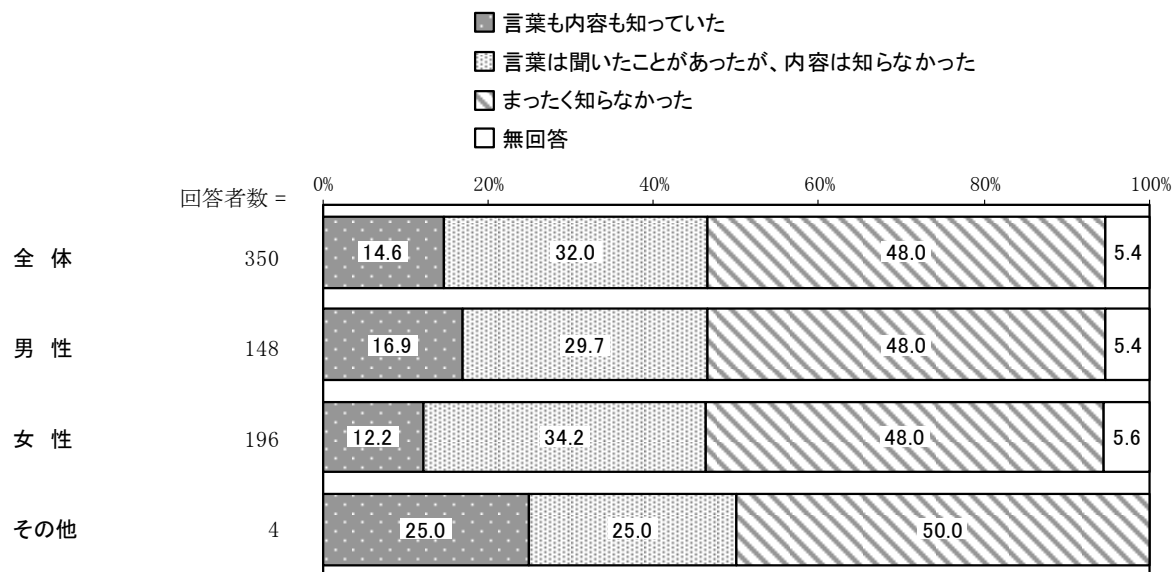


10 ダイバーシティ（多様性）推進について

問 26 あなたは、これまでに「ダイバーシティ」という言葉を知っていましたか。
(○は1つ)

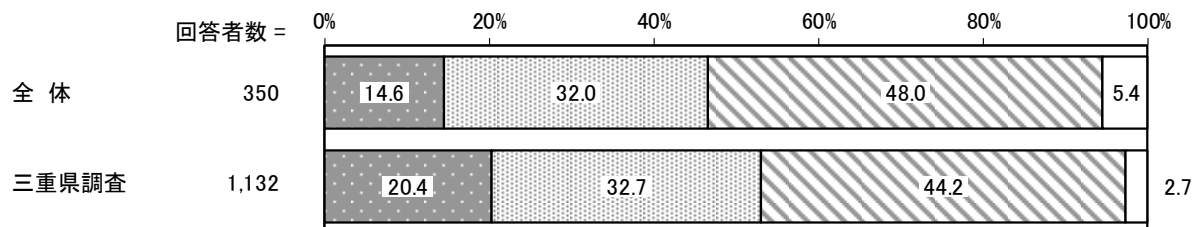
「まったく知らなかった」の割合が48.0%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあったが、内容は知らなかった」の割合が32.0%、「言葉も内容も知っていた」の割合が14.6%となっています。

性別で見ると、大きな差異はみられません。



【県 比較】

三重県調査と比較すると、「言葉も内容も知っていた」の割合が低くなっています。

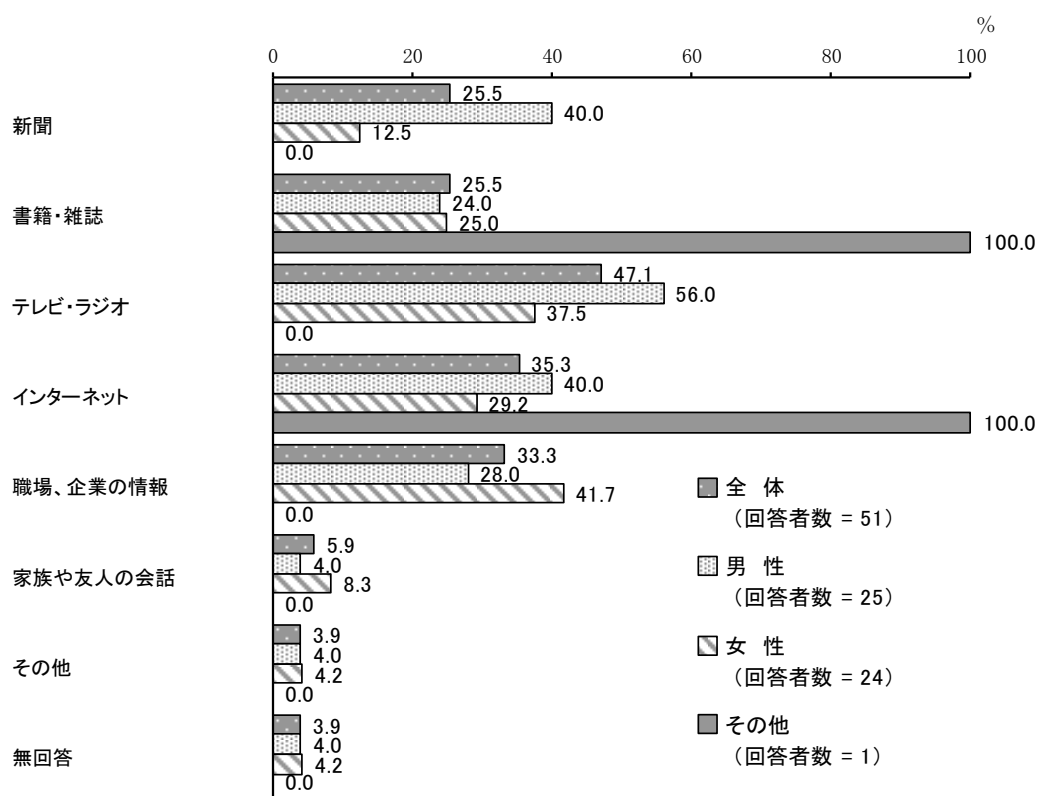


問 26-1 は問 26 で「言葉も内容も知っていた」に○印をつけた方にお聞きします。

問 26-1 あなたは、「ダイバーシティ」という言葉をどこで(何で)知りましたか。
(○はいくつでも)

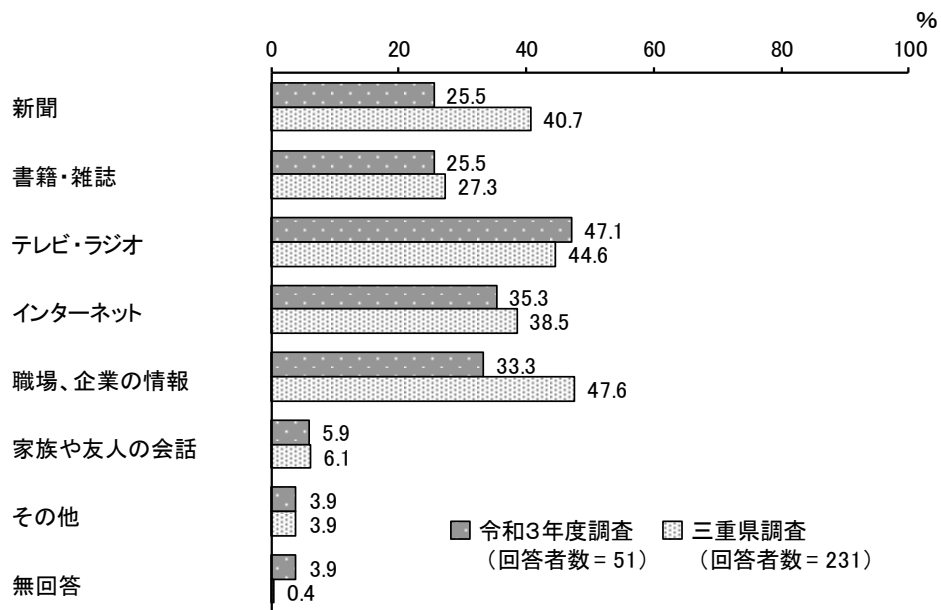
「テレビ・ラジオ」の割合が 47.1%と最も高く、次いで「インターネット」の割合が 35.3%、「職場、企業の情報」の割合が 33.3%となっています。

性別で見ると、女性に比べ、男性で「新聞」「テレビ・ラジオ」「インターネット」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「職場、企業の情報」の割合が高くなっています。



【県 比較】

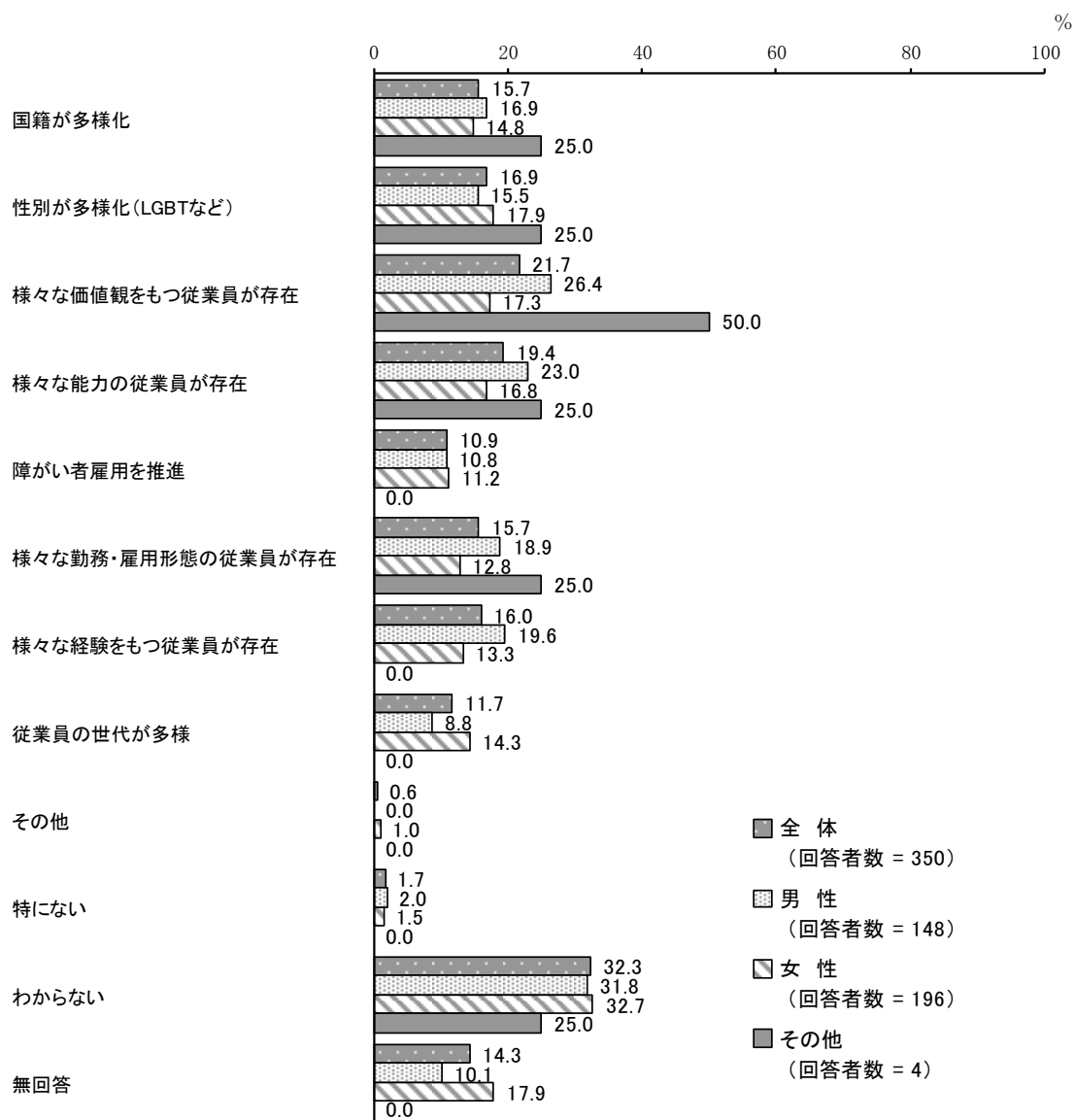
三重県調査と比較すると、「新聞」「職場、企業の情報」の割合が低くなっています。



問 27 ダイバーシティについて、特に重要と考えるのはどのようなことですか。
(○は3つまで)

「わからない」の割合が32.3%と最も高く、次いで「様々な価値観をもつ従業員が存在」の割合が21.7%、「様々な能力の従業員が存在」の割合が19.4%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「様々な価値観をもつ従業員が存在」「様々な能力の従業員が存在」「様々な勤務・雇用形態の従業員が存在」「様々な経験をもつ従業員が存在」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「従業員の世代が多様」の割合が高くなっています。



Ⅲ 調査票

志摩市男女共同参画に関するアンケート アンケートご協力のお願い

市民の皆さまには、日頃から市政全般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

志摩市では、平成 29 年度に策定した「第 3 次志摩市男女共同参画推進プラン」に基づき、性別に関係なく、互いの個性や能力を認め合いながら、あらゆる分野に自らの意志で参画し共に歩んでいける社会の実現を目指してさまざまな取り組みを実施してまいりました。

このたび、市民の皆様のお考えやご意見をお伺いしながら「第 4 次志摩市男女共同参画推進プラン」の策定を進めていくために、アンケートを実施させていただきます。調査票は、志摩市にお住まいの市民の皆様から、無作為に抽出した 1,000 人の方々にお送りさせていただいております。

皆さまからいただいたご意見は、事業を効果的に進めるうえでの資料とさせていただきますので、誠に恐縮でございますが、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名でご回答いただき、調査結果はコンピュータにより統計的に処理いたしますので、個別の回答等を公表してご迷惑をおかけすることは一切ございません。よろしくお願いいたします。

令和 3 年 7 月

【ご記入に当たってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・この調査は封筒の宛名のご本人が対象となります。
- ・なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただきますようお願いいたします。
- ・令和 3 年 6 月 30 日現在の内容でご記入ください。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的にご記入ください。
- ・設問によって、○をつけていただく数を () 内に指定していますので、ご注意ください。

◇調査票の回収について

回答は無記名のまま、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに 8 月 20 日（金）までに投函してください。

◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

志摩市役所 人権市民協働課
電 話 (0599) 44-0227
F A X (0599) 44-5260

1. 男女平等について

問1 次のA～Pのそれぞれの項目についてご存知ですか。

(それぞれ1つに○)

項 目	よく知っている	少し知っている	言葉を聞いたことがある程度	知らない
A. 男女共同参画社会基本法	1	2	3	4
B. 性別役割分担意識	1	2	3	4
C. 性的指向	1	2	3	4
D. 性自認	1	2	3	4
E. LGBT	1	2	3	4
F. SOGI	1	2	3	4
G. ジェンダー	1	2	3	4
H. エンパワーメント	1	2	3	4
I. ドメスティック・バイオレンス (DV)・デートDV	1	2	3	4
J. セクシュアル・ハラスメント	1	2	3	4
K. パワー・ハラスメント	1	2	3	4
L. モラル・ハラスメント	1	2	3	4
M. マタニティ・ハラスメント	1	2	3	4
N. パタニティ・ハラスメント	1	2	3	4
O. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	1	2	3	4
P. ワーク・ライフ・バランス	1	2	3	4

《語句説明》

【LGBT】

レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーの総称のこと。

【バイセクシュアル】

恋愛・性愛の対象が男女両方に向かう両性愛者のこと。

【トランスジェンダー】

生まれた時の性別と、自分自身が心で感じている性別や生きていきたい性別とで異なる性別を生きる人たちの総称。

【SOGI】

性的指向と性自認のこと。

【ジェンダー】

社会的・文化的につくられた性別のこと。

【エンパワーメント】

女性が力をつけ、連帯して行動することによって自分たちの置かれた不利な状況を変えていこうとする考え方のこと。

【ドメスティック・バイオレンス（DV）】

家庭内暴力。法律上の婚姻の有無を問わず、親密な関係にある配偶者等からの身体的・心理的暴力等を指す。

【デートDV】

恋人同士の間で起きる暴力のこと。

【セクシュアル・ハラスメント】

性的嫌がらせのこと。

【パワー・ハラスメント】

職場内の人間関係において発生するいじめや嫌がらせのこと。

【モラル・ハラスメント】

言葉や態度等によって行われる精神的な暴力のこと。

【マタニティ・ハラスメント】

妊娠・出産に関する嫌がらせのこと。

【パタニティ・ハラスメント】

育児休業等を申出・取得した男性労働者への嫌がらせのこと。

【リプロダクティブ・ヘルス/ライツ】

妊娠・出産というしくみを体にもつ、女性の一生を通した健康のこと。強制でなく安全で満足な性生活を営めること、また、いつ何人子どもを産むか、あるいは産まないかということを女性自身の意思で選択していく権利を、リプロダクティブ・ライツ（性と生殖の自己決定権）という。これらを総称して「性と生殖に関する健康及び権利」と訳されている。

【ワーク・ライフ・バランス】

仕事と生活の調和のこと。

問2 あなたは、次のA～Hの分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。

(それぞれ1つに○)

項目	男性の方が非常に優遇されている	どちらかと言えば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかと言えば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
A. 家庭のなかで	1	2	3	4	5	6
B. 職場のなかで	1	2	3	4	5	6
C. 学校のなかで	1	2	3	4	5	6
D. 地域のなかで	1	2	3	4	5	6
E. 社会通念や風潮において	1	2	3	4	5	6
F. 法律や制度上において	1	2	3	4	5	6
G. 政治（政策決定）の場で	1	2	3	4	5	6
H. 社会全体として	1	2	3	4	5	6

問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。（1つに○）

1. 同感する	2. どちらかと言えば同感する
3. どちらかと言えば同感しない	4. 同感しない
5. わからない	

2. 家庭生活について

問4は、結婚されている方にお聞きします。

問4 次のA～Pの項目について、あなたの家庭では夫婦の間でどのように行っていますか。
(それぞれ1つに○)

項 目	ほとんど妻がしている	妻が中心だが夫も手伝う	平等に分担している	夫が中心だが妻も手伝う	ほとんど夫がしている	夫婦ともほとんどしない (親、子ども、その他の人がしている)	その他 (該当する家事などがない等)
A. 食事の支度	1	2	3	4	5	6	7
B. 食事の後片付け	1	2	3	4	5	6	7
C. 家の掃除	1	2	3	4	5	6	7
D. 入浴の準備および風呂場の掃除	1	2	3	4	5	6	7
E. 日常の買い物	1	2	3	4	5	6	7
F. 日常の家計管理	1	2	3	4	5	6	7
G. 日常のゴミ捨て	1	2	3	4	5	6	7
H. 洗濯	1	2	3	4	5	6	7
I. 高額な商品の購入決定	1	2	3	4	5	6	7
J. 生活費の確保	1	2	3	4	5	6	7
K. 資産・預貯金の管理	1	2	3	4	5	6	7
L. PTAや地域の行事参加	1	2	3	4	5	6	7
M. 親戚とのつきあい	1	2	3	4	5	6	7
N. 近所とのつきあい	1	2	3	4	5	6	7
O. 育児(子どもの世話、教育、しつけ等)	1	2	3	4	5	6	7
P. 高齢の方や障がいのある方などの 介護・介助	1	2	3	4	5	6	7

問5 男性が家事・育児を行うことについて、どのようなイメージをお持ちですか。

(○はいくつでも)

1. 男性が家事・育児を行うことは当然である
2. 家事・育児を行う男性は時間の使い方が効率的で仕事もできる
3. 充実感が得られる
4. 子どもにいい影響を与える
5. 仕事との両立は、現実として難しい
6. 家事・育児は女性の方が向いている
7. 妻が家事・育児をしていないと誤解される
8. 周囲から冷たい目で見られる
9. 仕事をおろそかにしていると思われる
10. 男性は家事・育児を行うべきではない
11. その他 ()
12. わからない

問6 今後、男性が女性とともに家事、育児、介護、地域活動などに積極的に参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める
2. 仕事中心という社会全体の風潮を改める
3. 男性の仕事中心の生き方、考え方を改める
4. 妻が夫に経済力や出世を求めない
5. 育児や介護に関する休暇・休業制度や短時間勤務制度を利用しやすくする
6. 男性の男女共同参画に対する関心を高める
7. 夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話し合える社会
8. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす
9. 男性が家事などに参加することに対する男性自身および周囲の抵抗感をなくす
10. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設ける
11. 家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をする
12. その他 ()
13. わからない

3. 職業生活・女性の活躍について

問7 あなたは、現在収入を得る仕事(産前・産後休暇、育児・介護休業中も含む)をしていますか。(1つに○)

1. している

2. していない → 問8へ

問7-1は、問7で「1. している」と回答された方にお聞きします。

問7-1 あなたの働いているところでは、女性と男性は平等だと思いますか。(1つに○)

1. 平等だと思う

2. 女性の方が優遇されていると思う

3. 男性の方が優遇されていると思う

問7-2は、問7-1で「2. 女性の方が優遇されている」「3. 男性の方が優遇されている」と回答された方にお聞きします。

問7-2 あなたの働いているところでは、女性と男性は平等だと思わないのは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 採用時の条件

2. 賃金

3. 昇進・昇格

4. 能力評価

5. 希望の職種につく機会

6. 補助的な仕事しかやらせてもらえない

7. 結婚したり子どもが生まれたりすると勤め続けにくい雰囲気がある

8. 定年まで勤め続けにくい雰囲気がある

9. 教育・訓練を受ける機会に差がある

10. その他 ()

11. わからない

問8 女性の職業へのかかわり方について、あなたはどのような形が最も望ましいと思いますか。(1つに○)

1. 子どもが生まれた後も、職業を持ち続ける

2. 結婚するまでは職業を持つが、その後は持たない

3. 子どもができるまでは職業を持つが、その後は持たない

4. 子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ

5. 職業は一生持たない

6. その他 ()

7. わからない

問9 あなたは、現在の女性は働きやすい状況にあると思いますか。(1つに○)

- | | | |
|---------|-----------|----------|
| 1. そう思う | 2. そう思わない | 3. わからない |
|---------|-----------|----------|

問9-1は、問9で「2. そう思わない」と回答された方にお聞きします。

問9-1 そう思わない理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 働く場が限られているから | 2. 能力発揮の場が少ないから |
| 3. 労働条件が整っていないから | 4. 保育施設が整備されていないから |
| 5. 昇進・給与等に男女の差別的扱いがあるから | 6. 結婚・出産退職の慣行があるから |
| 7. 男は仕事、女は家庭という社会通念があるから | 8. 家族の理解、協力が得にくいから |
| 9. 職場の理解・協力が得にくいから | 10. その他() |

問10 あなたは職場での昇進や、キャリアアップをしたいと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. したい | 2. したくない | 3. わからない |
|--------|----------|----------|

問10-1 問10で「2. したくない」に○をつけた方にお聞きします。

問10-1 その理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 責任が重くなるのが嫌だから | 2. 時間外労働が増えるから |
| 3. 自分の能力に自信がないから | 4. 今のままで不満はないから |
| 5. 同僚からねたまれるのが嫌だから | 6. 仕事と家庭の両立が困難だから |
| 7. いつまでもこの会社で働き続けるつもりがないから | |
| 8. 転勤があるから | 9. メリットがないから |
| 10. その他() | |

問11 あなたは、政治・経済・地域社会などの各分野で女性の参画が進み、女性のリーダーが増えるとどのような影響があると思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 多様な視点が加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される |
| 2. 人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる |
| 3. 女性の声が反映されやすくなる |
| 4. 国際社会から好印象を得ることができる |
| 5. 男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる |
| 6. 男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる |
| 7. 労働時間の短縮など働き方の見直しが進む |
| 8. 男性の家事・育児などへの参画が進む |
| 9. 今より仕事以外のことが優先され、業務に支障を来すことが多くなる |
| 10. 男性のポストが減り、男性が活躍しづらくなる |
| 11. 保育・介護などの公的サービスの必要性が増大し、家計負担および公的負担が増大する |
| 12. その他() |
| 13. わからない |

問 12 あなたは、政治・経済・地域社会などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 女性がリーダーに必要な知識や経験などを得る機会が少ない
2. 女性自身がリーダーになることを希望しない
3. 女性の同僚からのやっかみ、嫌がらせ
4. 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しない
5. 長時間労働の改善が十分ではない
6. 企業などにおいては、管理職になると広域異動が増える
7. 保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではない
8. 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではない
9. その他()
10. わからない

問 13 あなたは、次の制度の内容についてご存知ですか。A、Bのそれぞれの項目について認知状況、取得状況を1つずつ選び〇をつけて下さい。(1つに〇)

《認知状況》

項 目	よく知っている	少し知っている	言葉を聞いたことがある程度	知らない
A. 育児休業制度	1	2	3	4
B. 介護休業制度	1	2	3	4

《取得状況》

項 目	取得したことがある	取得したことがない	取得の対象となる者がいない
A. 育児休業制度	1	2	3
B. 介護休業制度	1	2	3

問 14 あなた自身やあなたの周囲で、女性が職場において以下のような経験(マタニティ・ハラスメント)をしたことがありますか。(○はいくつでも)

1. 子育てのため休暇・休業、短時間勤務などの制度利用を認めてもらえなかった
2. 妊娠を相談できる職場文化がなかった
3. 妊娠・出産がきっかけで、解雇や契約打ち切り、自主退社への誘導をされた
4. 妊娠・出産がきっかけで、望まない異動をさせられた
5. 妊娠・出産がきっかけで、雇用形態を変更された
6. 妊娠中や産休明けに、心ない言葉を言われた
7. 妊娠中や産休明けに、残業や重労働を強いられた
8. 妊娠中や産休明けに、嫌がらせをされた
9. 自身や周囲で経験した人はいない
10. その他 ()
11. わからない

問 15 あなた自身やあなたの周囲で、男性が職場において以下のような経験(パタニティ・ハラスメント)をしたことがありますか。(○はいくつでも)

1. 子育てのため休暇・休業、短時間勤務などの制度利用を認めてもらえなかった
2. 子育てのため休暇・休業などを申請したら、上司に「育児は母親の役割」、「出世できない」、キャリアに傷がつく」など言われた
3. 子育てのため休暇・休業などについて相談できる職場文化がなかった
4. 子育てのため制度を利用したら嫌がらせをされた
5. 子育てのため休暇・休業などの利用がきっかけで、望まない異動をさせられた
6. 子育てのため休暇・休業などの利用がきっかけで、雇用形態を変更された
7. 自身や周囲で経験した人はいない
8. その他 ()
9. わからない

問 16 もし現在よりも、仕事と子育ての両立がしやすい環境にあるとするならば、どのようにお考えですか。(1つに○)

1. 子どもができて、産前・産後休暇や育児休業等を利用しながらずっと働き続ける方がよい
2. 子どもができたら一旦退職し、子育てが落ち着いたら再び働く方がよい
3. わからない

問 17 女性が働き続けるために、今後どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 女性の雇用機会を拡大する
2. 男女がともに取得できる育児・介護休業制度の充実
3. 保育施設や保育時間の延長など保育内容の充実
4. 介護などの福祉サービスの充実
5. 気軽に相談できる制度の確立
6. 労働時間の短縮
7. 職場における女性への差別的待遇をなくすこと
8. 女性への職業訓練、資格取得などの機会の充実
9. 女性が昇格・昇進・昇任できる制度と環境づくり
10. 家族や親族、地域社会の理解や協力
11. 育児などによる退職者を同じ職種で再雇用する制度の普及
12. 在宅勤務やフレックス・タイム制度の導入など柔軟な勤務形態
13. 給与や労働条件の改善
14. 社会の「男は仕事、女は家庭」という考え方をなくすこと
15. その他 ()
16. わからない

4. 社会活動などについて

問 18 あなたは次のような活動をしていますか。または、活動していた経験はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 県・市町の審議会・委員会 | 2. 町内会、自治会等の活動 |
| 3. PTA活動 | 4. 子ども会などの青少年育成活動 |
| 5. 青年団体・女性団体・老人団体等の活動 | 6. 消費者団体・生活協同組合等の消費者活動 |
| 7. NPOやボランティアなどの市民活動 | 8. その他の社会活動 |
| 9. 参加していない | |

問 18-1 は、問 18 で「1～8」と回答された方にお聞きします。

問 18-1 あなたはその活動において役員・役職などに就いたことはありますか。
(1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

※次ページの間 19 では、プライバシーに踏み込んだ質問がありますので、ご留意の上、ご回答いただける範囲でご記入ください。

5. DVなどの暴力について

問 19 あなたはこれまでに、配偶者や恋人から次のA～Iのようなことをされた経験がありますか。(それぞれ1つに○)

項 目	何度もあった	1、2度あった	まったくない
A. 殴る、蹴るなどの暴力	1	2	3
B. 言葉の暴力(大声、暴言、ののしりの言葉)	1	2	3
C. 何を言っても無視され続ける	1	2	3
D. 物の破壊(怒って部屋の物を壊して脅かすなど) など	1	2	3
E. いやがっているのに性的行為を強要される、避妊の非協力など	1	2	3
F. 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる	1	2	3
G. 交友関係や電話、電子メールを細かく監視される	1	2	3
H. 生活費を渡さないなど、経済的におさえつけられる	1	2	3
I. 常日頃から、能力や存在価値が無いかのように扱われる	1	2	3

問 19-1 は、問 19 の A～I のうち、「1. 何度もあった」「2. 1、2度あった」にひとつでも○をつけた方にお聞きします。

問 19-1 あなたはこれまでに、問 19 であげたような配偶者や恋人からの行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 警察	2. 市役所
3. 配偶者暴力相談支援センター(女性相談所)	
4. 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」	
5. みえ性暴力被害者支援センター「よりこ」	
6. 人権センターなどの県の機関	7. 女性相談員
8. 民生児童委員・人権擁護委員	
9. 民間支援団体	10. 医師その他医療関係者
11. 教員その他学校関係者	12. 家族・親戚
13. 友人・知人	14. その他 ()
15. どこ(だれ)にも相談しなかった	→ 問 19-2 へ

問 19-2 は、問 19-1 で「15. どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答された方にお聞きします。

問 19-2 相談しなかったのは、どのような理由からですか。（○はいくつでも）

1. どこに（だれに）相談してよいのかわからなかったから
2. どこにも（だれにも）言えなかったから
3. 相談しても無駄だと思ったから
4. 相談したことがわかると、仕返しや、もっとひどい暴力を受けると思ったから
5. 相手に脅されたから
6. 相談相手の言動によって、不快な思いをさせられると思ったから
7. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
8. 世間体が悪いと思ったから
9. 他人を巻き込みたくなかったから
10. 他人に知られると、これまでどおりのつき合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから
11. そのことについて、思い出したくなかったから
12. 自分にも悪いところがあると思ったから
13. 相手の行為は愛情の表現だと思ったから
14. 相談するほどのことではないと思ったから
15. その他（ ）

6. 男女共同参画社会について

問 20 あなたは、地域・職場などにおける企画や方針決定の場へ参画したいと思いますか。
（1つに○）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 参画したいと思う | 2. どちらかといえば参画したいと思う |
| 3. どちらかといえば参画したいと思わない | 4. 参画したいと思わない |
| 5. わからない | |

問 21 あなたは、地域・職場において、企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識
2. 男性優位の組織運営
3. 家族の支援・協力が得られない
4. 女性の能力開発の機会が不十分
5. 女性側の積極性が十分でない
6. 女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない
7. その他（ ）
8. わからない

問 22 あなたは、男女共同参画を推進するために、今後、志摩市はどのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(〇は3つまで)

1. 男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う
2. 女性を政策決定の場に積極的に登用する
3. 各種団体の女性リーダーを養成する
4. 職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底を行う
5. 女性の職業教育や職業訓練を充実する
6. 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する
7. 学校教育や社会教育・生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
8. 女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などの場を充実する
9. 男性に対する意識啓発や研修を充実する
10. 広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする
11. ひとり親世帯に対する経済的安定を図る支援や子どもの教育等の支援を充実する
12. その他 ()
13. 特にない
14. わからない

7. 防災・災害復興対策について

問 23 防災・災害復興対策で、特に取り組む必要があると思うのはどれですか。(〇は3つまで)

1. 避難所の設備（男女別トイレ・多目的トイレ・更衣室・授乳室・防犯対策等）
2. 避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対応に女性の視点を入れること
3. 乳児、高齢者、障がい者、病気の人、女性が必要とするものなどの把握や備え
4. 災害時の救援医療体制（診察・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置）
5. 被災者に対する男女別の相談体制
6. 災害対策本部に女性が配置され、被災時の対策に女性の視点を入れること
7. 防災・復興に関する計画の策定のための防災会議などに女性が参画し、男女共同参画の視点を計画や防災マニュアルに反映すること
8. 必要だと思わない
9. その他 ()
10. わからない

8. 性のあり方の多様性について

「好きになる相手、性的対象がだれであるか」、「自分の性別をどう認識するか」など、性のあり方は多様であり、一人ひとりが違います。

問 24 あなたは、今まで自分の性別に悩んだことはありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 25 身近な人(家族、友人、知人)などから、LGBTなどの性的マイノリティ(少数者)であると打ち明けられた場合、理解できる(受け入れられる、今までどおり接するなど)と思いますか。(それぞれ1つに○)

項 目	そう思う	ええどちらかと思えばそう思う	ないえどちらかと思えばそう思う	そう思わない	わからない
A. レズビアン(L)のことを理解できる	1	2	3	4	5
B. ゲイ(G)のことを理解できる	1	2	3	4	5
C. バイセクシュアル(B)のことを理解できる	1	2	3	4	5
D. トランスジェンダー(T)のことを理解できる	1	2	3	4	5

※LGBT…レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーの総称

9. ダイバーシティ(多様性)推進について

「女性活躍の推進をはじめ、例えば性別、年齢、障がいの有無、国籍など多様な背景を持った人々や価値観を受け入れ、誰もが活躍する『ダイバーシティ』の推進」が企業など社会の中で注目されています。

問 26 あなたは、これまでに「ダイバーシティ」という言葉を知っていましたか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1. 言葉も内容も知っていた | 2. 言葉は聞いたことがあったが、内容は知らなかった |
| 3. まったく知らなかった | |

問 26-1 問 26 で「1. 言葉も内容も知っていた」に○印をつけた方にお聞きします。

問 26-1 あなたは、「ダイバーシティ」という言葉をどこで(何で)知りましたか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|-------------|-------------|------------|------------|
| 1. 新聞 | 2. 書籍・雑誌 | 3. テレビ・ラジオ | 4. インターネット |
| 5. 職場、企業の情報 | 6. 家族や友人の会話 | 7. その他() | |

問 27 ダイバーシティについて、特に重要と考えるのはどのようなことですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 国籍が多様化 | 2. 性別が多様化(LGBT など) |
| 3. 様々な価値観をもつ従業員が存在 | 4. 様々な能力の従業員が存在 |
| 5. 障がい者雇用を推進 | 6. 様々な勤務・雇用形態の従業員が存在 |
| 7. 様々な経験をもつ従業員が存在 | 8. 従業員の世代が多様 |
| 9. その他() | |
| 10. 特にない | 11. わからない |

10. あなたご自身について

F 1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|------------------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. どちらともいえない、または答えたくない |
|-------|-------|------------------------|

F 2 あなたの年齢をお答えください。(令和3年6月30日現在)(1つに○)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | |

F 3 あなたが現在生活しているご家庭の家族構成をお答えください。(1つに○)

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1. 単身世帯(あなただけ) | 2. 1世代世帯(夫婦だけ) |
| 3. 2世代世帯(夫婦と子、夫婦と親、親と子など) | |
| 4. 3世代世帯(祖父母と夫婦と子、親と子と孫など) | |
| 5. その他() | |

F 4 あなたの職業形態をお答えください。(1つに○)

(産前・産後休暇、育児・介護休暇等を取得中の方も働いているものとお考えください。)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 正規従業員 | 2. 非正規従業員(フルタイム) |
| 3. 非正規従業員(短時間) | 4. 派遣社員・契約社員 |
| 5. 自由業・自営業(家族従業者を含む) | 6. 会社などの役員 |
| 7. 家事専業・家事手伝い | 8. 学生 |
| 9. 就労していない | 10. その他() |

F 5 あなたは結婚していますか。(1つに○)

- | |
|--|
| 1. 既婚・配偶者あり(配偶者の主な職業：正規従業員) |
| 2. 既婚・配偶者あり(配偶者の主な職業：非正規従業員(フルタイム・短時間)、派遣社員、契約社員) |
| 3. 既婚・配偶者あり(配偶者の主な職業：自由業、自営業(家族従業者を含む)、家事専業、家事手伝い) |
| 4. 既婚・配偶者あり(配偶者の主な職業：就労していない) |
| 5. 既婚・配偶者なし(死別・離別) |
| 6. 未婚 |

F 6 あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つに○)

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 浜島町 | 2. 大王町 | 3. 志摩町 |
| 4. 阿児町 | 5. 磯部町 | |

■ 男女共同参画に関して、ご意見がございましたらお聞かせください。

--

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

